

令和5年度版（令和4年度 事業実績）

元気はつらつ白書



岩手県 紫波町

元気はつらつ白書の構成

I 保健事業の体系【事業体系】
紫波町総合計画との関係 分野別保健事業の一覧
II 保健事業の報告－１【事業報告】
各種事業の目的・事業内容・結果
III 保健事業の報告－２【事業統計】
健康診査、がん検診の集計表 主な事業の実績のまとめ 等
IV 保健活動の参考資料【事業資料】
人口動態、関係組織の資料 等



各種保健事業の分析・評価



次年度以降の行動計画に反映



目次

I	保健事業の体系【事業体系】	
1	元気はつらつ白書の構成	1
2	保健事業の体系	4
II	保健事業の報告ー1【事業報告】	
1	母子保健事業	
(1)	妊産婦保健	
①	妊婦一般健康診査	8
②	妊産婦歯科健康診査	10
③	パパママ教室	12
(2)	幼児健康診査	
①	1歳6カ月児健康診査	14
②	3歳児健康診査	16
③	幼児歯科健康診査	18
(3)	子育て支援	
①	BabyCome☆4～5カ月広場	20
②	マタニティ・ママのほっと広場（乳幼児相談）	22
③	ぴよこちゃん教室（幼児教室）	24
④	離乳食教室	26
2	成人保健事業	
(1)	健康教育	28
(2)	健康相談	30
(3)	健康診査	32
(4)	がん検診	
①	胃がん検診	34
②	肺がん検診	36
③	大腸がん検診	38
④	前立腺がん検診	40
⑤	子宮頸がん検診	42
⑥	乳がん検診	44
(5)	特定健康診査・特定保健指導	
①	特定健康診査	46
②	特定健康診査（メタボリックシンドローム検査有所見者の状況）	48
③	特定保健指導	50
(6)	生活習慣病重症化予防事業	52
(7)	肝炎対策	54
3	栄養改善事業	
	栄養教室	56
4	元気づくり事業	
(1)	ウォーキング	58
(2)	元気はつらつメンバーズ	60
5	予防接種事業	
(1)	定期予防接種	
①	定期予防接種（A類疾病）	62
②	定期予防接種（B類疾病）	66
(2)	任意予防接種	68
6	町民医療事業	
	献血推進事業	70
7	後期高齢者保健事業	
(1)	後期高齢者健康診査事業	72
(2)	後期高齢者歯科健康診査事業	73

目次

Ⅲ 保健事業の報告－2【事業統計】

1 母子保健事業

(1) 妊娠届	76
(2) ぴよこちゃん教室（幼児教室）	77
(3) 妊産婦歯科健康診査	78
(4) 1歳6カ月児健康診査	80
(5) 3歳児健康診査	82
(6) 2歳6カ月歳児歯科健康診査	84
(7) 特定不妊治療費助成事業	85
(8) 授乳相談会	86

2 成人検診事業（高齢者検診を含む）

(1) 各種健康診査地区別受診状況（総合検診・婦人検診）	88
(2) 特定健康診査	90
(3) 若年者健康診査	94
(4) 成人歯科健康診査	98
(5) 胃がん検診	99
(6) 肺がん検診	100
(7) 大腸がん検診	102
(8) 前立腺がん検診	103
(9) 子宮頸がん検診	104
(10) 乳がん検診	105
(11) 骨粗鬆症検診	106

3 栄養改善事業

(1) 食生活改善事業	108
(2) 地区組織活動支援事業	110

5 予防接種事業

(1) 定期予防接種	112
(2) 任意予防接種	113

7 後期高齢者保健事業

(1) 後期高齢者健康診査事業	114
(2) 後期高齢者歯科健康診査事業	118

※ 番号は、「Ⅱ 保健事業の報告-1【事業報告】」の番号に対応

Ⅳ 保健活動の参考資料【事業資料】

1 人口動態

(1) 人口	120
(2) 出生	122
(3) 死亡	124

2 関係組織の資料

(1) 紫波町保健推進員に関する要綱	125
(2) 紫波町食生活改善推進員協議会会則	126

3 保健活動のあゆみ

4 成人検診事業の変遷

5 事業に係る根拠法令

6 第三次紫波町総合計画の進捗状況

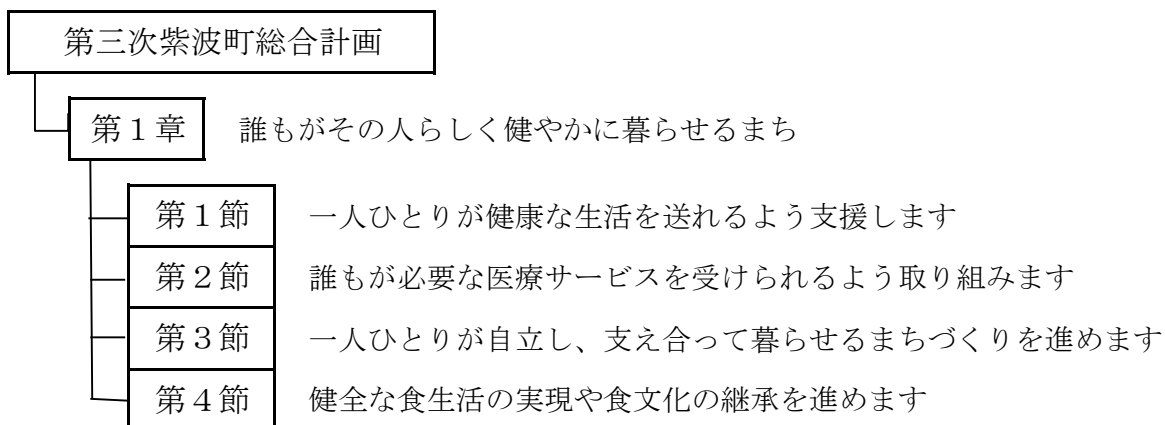
I 保健事業の体系

1 紫波町総合計画との関係

保健事業は、第三次紫波町総合計画の第1章の取り組みに位置づけられており、第三次紫波町総合計画の目的達成のため、様々な行動計画を策定し、事業を展開しています。

【主要な行動計画】

- 「第三次元気はつらつ紫波計画」
- 「第六次母子保健計画」
- 「第2期紫波町国民健康保険データヘルス計画」
- 「第8期元気はつらつ高齢者計画」



【第三次紫波町総合計画と各事業の関係】

第三次紫波町総合計画 第1章

	第1節		第2節	第3節	第4節	
乳幼児期	母子保健事業 (思春期保健) (妊産婦保健)		予防接種事業	町民医療事業		
学齢期						
青年・壮年期	成人保健事業	元気づくり事業				高齢者保健事業
老年期						

令和4年度 保健事業一覧

(1) 母子保健事業 ① 妊産婦保健事業 ・母子健康手帳交付 ・妊婦喫煙者個別指導 ・妊産婦一般健康診査(医療機関委託) ・妊婦歯科健康診査(医療機関委託) ・パパママ教室 ・妊産婦、新生児(乳児)訪問指導 ・授乳相談会 ② 乳幼児健康診査事業 ・乳児一般健康診査(医療機関委託) ・幼児歯科健康診査(医療機関委託) ・1歳6カ月児健康診査 ・3歳児健康診査 ③ 子育て支援事業 ・Baby Come ☆4～5カ月広場 ・妊婦&ママのほっと広場(乳幼児相談) ・ぴよこちゃん教室(幼児教室) ・心理相談 ・離乳食教室 ・2歳6カ月児教室 ④ 特定不妊治療費補助金事業	(2) 成人保健事業 ① 健康手帳交付 ② 健康教育 ・集団健康教育 ③ 健康相談 ④ 健康診査 ・若年者健康診査(35～39歳・単独事業) ・基本健康診査(生活保護受給者) ・肝炎ウイルス検査 ・成人歯科健康診査(医療機関委託) ・骨粗しょう症検診 ⑤ 訪問指導 ⑥ がん検診 ・胃、肺、大腸、乳、子宮頸がん ・前立腺がん(単独事業) (以上健康増進事業) ⑦ 特定健康診査、特定保健指導 ⑧ 生活習慣病重症化予防事業 ⑨ 肝炎対策事業
(3) 栄養改善事業 ① 栄養教室 ② 栄養改善普及講習会 ③ 食育支援事業 ④ 食生活改善推進員協議会育成と活動支援 ・健康食の普及活動 ・食生活改善推進員の研修	(4) 元気づくり事業 ① ウォーキング事業 ② 水中運動教室(新型コロナウイルス感染対策で中止) ③ 元気はつらつメンバーズ養成講座 ④ 元気づくり大会(新型コロナウイルス感染対策で中止)
(5) 予防接種事業 ① 定期予防接種事業 ・乳幼児等を対象とする予防接種(A類) ・高齢者インフルエンザ予防接種(B類) ・高齢者肺炎球菌予防接種(B類) ② 任意予防接種事業 ・小児インフルエンザ予防接種 ・おたふくかぜワクチン予防接種	(6) 町民医療事業 ① 休日救急当番医制事業 ② 二次救急医療事業 ③ 市町村医師養成事業 ④ 献血推進事業
(7) 高齢者保健事業 ① 後期高齢者健康診査 ② 後期高齢者歯科健康診査 ③ 結核検診 ④ 介護予防事業	

I 保健事業の体系【事業体系】

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

1 母子保健事業

(1) 妊産婦保健

① 妊産婦一般健康診査

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	なし

妊娠早期から出産後まで定期的な妊産婦及び胎児の健康管理を行い、安心して安全な出産を迎えるための健康診査です。

事業の内容

目 的	妊産婦・胎児の疾病予防や異常の早期発見・早期治療によって、安心して安全な出産を支援すること
対 象 者	妊産婦
実施場所	委託医療機関
内 容	① 妊産婦一般健康診査受診票の交付(母子健康手帳交付時) ② 委託医療機関での妊婦健康診査14回と子宮頸がん検診1回 及び産婦健康診査2回 ③ 契約外の医療機関で健診を受診した場合は、償還払いで経費を公費負担する

事業の結果

- 1 195人の妊婦に対して、延べ2,652枚の妊婦一般健康診査受診票を交付しました。
- 2 妊婦一般健康診査受診票の利用枚数は2,349枚、利用人数は295人でした。
- 3 子宮頸がん検診受診票の発行枚数は177枚、利用人数は172人でした。
- 4 産婦一般健康診査の利用枚数は303枚でした。
- 5 妊婦一般健康診査の結果、有所見者の実人数は18人(延32人)でした。要治療者の所見で、最も多いのは切迫早産と貧血、次いで便秘症と尖圭コンジローマでした。

事業の分析

妊婦健康診査の過去5年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診票交付枚数を、平成21年度から14枚と増やしたことが、妊婦健康診査にかかる経済的負担の軽減につながっています。
- 2 有所見者の割合は、10%前後で推移しています。健康診査所見の内訳は、過去5年間においては切迫早産が最も多く、妊娠中の過ごし方について啓発していく必要があります。
- 3 交付数や利用数は横ばいとなっています。

妊婦一般健康診査受診票の利用枚数と有所見状況

単位：人、枚、%

年度	交付延数 ※	利用延数 ※	利用者数	有所見者		所見の内訳（件数の多い順）		
				人数	割合	1	2	3
H30	2,857	2,420	297	35	11.8	切迫早産	貧血	体重増加、高血圧
R元	2,628	2,087	280	28	10.0	切迫早産	感冒、便秘症	便秘症/胃腸炎
R2	2,690	2,213	216	29	10.4	貧血/便秘	切迫早産	アレルギー
R3	3,027	2,440	281	42	14.9	切迫早産	便秘	貧血
R4	2,652	2,349	295	32	10.9	切迫早産/貧血	便秘症/尖圭コンジローマ	妊娠悪阻/頭痛

産婦一般健康診査受診票の利用枚数と診察結果状況

単位：人、枚、%

年度	交付延数 ※	利用延数 ※	利用者数	有所見者		診察結果の内訳	
				人数	割合	要指導	要治療
R4	390	303		4	1.3	1	3

※ 妊婦一般健康診査受診票は妊娠届出時に交付し、出産までの間に利用します。
そのため、年度を超えて利用する場合もあり、交付枚数と利用枚数に差があります。

事業の方向性

- 1 妊産婦が自ら健康管理ができるように、妊娠初期から産後まで定期的に健康診査を受診するよう勧奨していきます。
- 2 特に若い世代に対して、妊娠届を早期に提出することの重要性を継続して周知していく必要があります。
- 3 産婦健康診査の所見内容を乳児訪問時に確認ができる体制を整えていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

1 母子保健事業

(1) 妊産婦保健

② 妊婦歯科健康診査

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	妊婦歯科健康診査受診率
目標値 (R4)	30%
当該年度実績値	54.8%

妊娠中は心身の様々な変化やつわりの影響などから生活リズムが崩れやすく、歯周疾患が起こりやすい時期であるため、妊婦歯科健康診査を実施し、歯周疾患の予防につなげています。

事業の内容

目 的	① 歯周疾患の予防 ② 妊娠期から子どもの口腔衛生への意識を高め、乳幼児のう歯発生予防する
対 象 者	妊婦
実施場所	町内歯科医院
内 容	① 歯科（歯周疾患）健康診査 ② う歯、歯周疾患予防に関する歯科保健指導

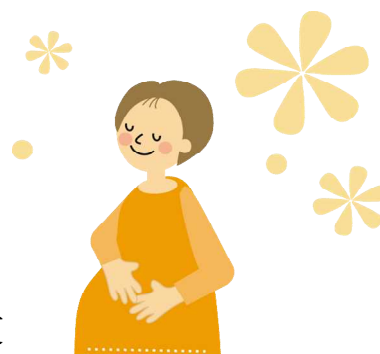
事業の結果

- 1 受診人数は97人で、増加傾向です。
- 2 受診者の61.9%が早期受診勧奨者で、う歯や歯周疾患の発見が目立っています。

妊産婦歯科健康診査受診状況（単位：人・％）

年度	受診人数	早期受診指示者の割合
H30	81	77.8
R元	81	81.5
R2	86	68.6
R3	92	66.0
R4	97	61.9

※令和元年度以降、対象者を妊産婦から妊婦に変更



事業の分析

過去5年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診者のうち6割以上の人、う歯や歯周疾患のために早期受診が必要な状況ですが、早期受診が必要な者の割合が毎年減少しており、口腔衛生の意識が高まっていることも考えられます。
- 2 未処置歯のある割合をみると、年齢が低いほど割合が高い傾向にあります。歯肉出血や歯周ポケットは各年代で半数以上に所見がみられています。妊娠中のみでなく、生涯を通じた歯周疾患予防の知識を普及していく必要があります。

平成30～令和4年度妊産婦歯科健康診査の受診人数と所見の内訳

年齢区分	受診者数	未処置歯あり		歯肉出血所見あり		歯周ポケット所見あり	
		(人)	割合	(人)	割合	(人)	割合
20歳以下	7	6	85.7%	4	57.1%	4	57.1%
21～25歳	45	26	57.8%	33	73.3%	25	55.6%
26～30歳	152	86	56.6%	106	69.7%	84	55.3%
31～35歳	141	73	51.8%	109	77.3%	83	58.9%
36～40歳	80	39	48.8%	56	70.0%	53	66.3%
41歳以上	12	6	50.0%	5	41.7%	6	50.0%
計	437	236	54.0%	313	71.6%	255	58.4%

※平成29年度以降、新CPI基準による判定に切り替わったため、平成29年度からの5年間の積み上げ値になります。

事業の方向性

- 1 妊娠をきっかけとして歯科健康診査や口腔衛生の大切さを再認識できるように周知します。
- 2 乳歯形成は胎児期から始まるため、妊婦の口腔衛生への意識を高めることは、乳幼児のう歯発生の予防につながります。今後も、母子健康手帳交付時に受診勧奨していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

1 母子保健事業

(1) 妊産婦保健

③ パパママ教室

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	夫婦で参加した割合
目標値 (R4)	75%
当該年度実績値	91%

妊娠や分娩、育児についての正しい知識を普及し、妊婦同士の交流の場を設ける事業であり、新たな命を育むうえでとても重要な教室です。

事業の内容

目 的	① 妊娠・分娩・育児の正しい知識の普及を図る ② 妊娠や出産に対する不安の軽減を図る ③ 親となる心構えができるように支援する
対 象 者	妊婦及びその夫
実施場所	はつらつホール
内 容	赤ちゃんを迎える生活の心構え・沐浴について 妊婦疑似体験・赤ちゃんの抱き方 講師：下川 玉枝氏（助産師） 妊娠中の食事 講師：町栄養士

事業の結果

- 1 4回実施し、延べ22名が参加しました。夫婦揃っての参加が定着しています。夫の同伴率は約9割です。
- 2 夫の「妊婦疑似体験」は、妊婦の大変さを理解する良い機会となっており好評です。また「赤ちゃんの抱っこ体験」は、実際に乳児を抱いた経験のない参加者の不安の解消に役立っています。
- 3 新型コロナウイルス感染症対策として、沐浴指導は実演のみで実施。参加者は、疑問点を確認しながら参加していました。

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 教室は、親になる意識を高め、「夫婦で一緒に子育て」することの大切さを周知する場として機能しています。
- 2 夫の同伴率は令和元年度以降、8割を超えています。

パパママ教室の変遷と参加状況

単位：人・％

年度	年間開催回数	コース数	教室 総参加数	1回あたり 平均参加数	参加数内訳(延)				妊娠 届出数
					妊婦	受講率	夫	同伴率	
						(分母は妊娠届出数)		(分母は参加妊婦数)	
H24	10	2	93	9.3	55	24.3	38	69.1	226
H25			123	12.3	72	33.6	51	70.8	214
H26			71	7.1	43	21.7	28	66.7	198
H27			75	7.5	45	22.1	30	66.7	204
H28			87	8.7	49	26.2	37	75.5	187
H29			77	7.7	44	23.4	33	75.0	188
H30			73	7.3	43	12.1	30	70.0	206
R元	8	1	60	7.5	32	14.5	28	88.0	172
R2	7		55	7.8	29	12.0	26	89.7	175
R3	5		31	6.2	17	8.5	14	82.4	190
R4	4		42	10.5	22	11.5	20	90.9	192

※20年度からは日曜日の開催を年1回、21～23年度までは2回へ増やした。

24～30年度からは、全日程を土曜日開催。令和元年度からは2コースのうち1コースのみ土曜日開催。令和3年度からは内容をまとめ1コースとして平日に実施。

※妊娠届出数は1月～12月の届出数である。

事業の方向性

- 1 安心して参加していただけるよう、新型コロナウイルス感染予防対策に努め、事業を行っていきます。
- 2 参加者の満足度を今後も高めていけるよう努めます。
- 3 教室のニーズの把握に努め、適切な回数や内容を行っていきます。

Ⅱ 保健事業の報告-1

1 母子保健事業

(2) 幼児健康診査

① 1歳6カ月児健康診査

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	1歳6カ月児健康診査受診率
目標値（R4）	96.0%
当該年度実績値	96.3%

1歳6カ月児健康診査は、歩行等の運動発達や、言語等の精神発達が獲得される時期に行われるととても重要な健康診査です。

事業の内容

目 的	① 生活習慣の自立・むし歯予防・栄養等の指導により、幼児期の健康の保持、増進を図ること ② 運動や精神発達の遅滞を早期に発見し、適切な支援を行うこと ③ 子どもの成長を保護者が確認し、育児不安が軽減されるように支援すること
対 象 者	1歳6カ月児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	① 計測 ② 問診・育児相談 ③ 診察 ④ 栄養相談（希望者のみ） ⑤ 歯科診察、ブラッシング指導、フッ素塗布（個別健診）

事業の結果

- 1 実施回数は6回、受診者は209人、受診率は96.3%（前年度95.6%）です。
- 2 有所見者の内訳は、身体面54名（25.8%）精神面16名（7.7%）です。
精密検査は6名です。
- 3 健診満足度は90.5%が「満足」「ほぼ満足」と回答しています。

1歳6カ月児健康診査受診状況 単位：人・%

年度	対象者数	受診者数	受診率
H30	239	228	95.4
R元	217	204	94.0
R2	236	233	98.7
R3	204	195	95.6
R4	217	209	96.3

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診率は概ね95%以上、有所見者割合は3割となっています。
- 2 近年は「言語の遅れ」の所見が上位を占めています。今後も、言語の遅れや精神・運動発達について丁寧に確認する必要があります。身体面においては、「アレルギー疾患」が多い傾向です。
- 3 アレルギー疾患の所見では、食物アレルギー、気管支喘息、次いでアトピー性皮膚炎の順に多い状況です。

1歳6カ月児健康診査 有所見者 単位：％

年度	受診率	有所見者割合	所見者内訳（件数の多い順）		
			1	2	3
H25	97.7	41.2	アレルギー疾患	言語の遅れ	皮膚疾患
H26	97.9	26.9	言語の遅れ	アレルギー疾患・泌尿器	心臓
H27	99.6	37.9	アレルギー疾患	言語の遅れ	泌尿器
H28	96.4	29.3	アレルギー疾患	言語の遅れ	泌尿器
H29	100	34.3	言語の遅れ	泌尿器	アレルギー疾患
H30	95.4	32	言語の遅れ	アレルギー疾患	栄養所見
R元	94	28.9	言語の遅れ	精神発達の遅れ	整形外科
R2	98.7	28.8	言語の遅れ	アレルギー疾患	整形外科
R3	95.6	23.6	言語の遅れ	栄養所見	皮膚疾患
R4	96.3	33.5	アレルギー疾患	言語の遅れ	整形外科

事業の方向性

- 1 この時期は、歩行や言語等様々な発達の伸びが期待される時期であり健康診査でそれらの成長発達の状態を確認することが重要です。
未受診者については、その把握に努め、受診を促します。
- 2 健康診査を通して、保護者が子どもの発達を確認できるように支援していきます。また、子どもの発達だけでなく、保護者の子育てに関する不安や悩みに対しても支援していきます。
- 3 歯科健康診査は今後も個別健診を継続していきます。

Ⅱ 保健事業の報告- 1

1 母子保健事業

(2) 幼児健康診査

② 3歳児健康診査

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	3歳児健康診査受診率
目標値 (R4)	96.5%
当該年度実績値	92.6%

3歳児健康診査は、幼児期において、身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期に行われる健康診査です。

事業の内容

目 的	① 発達状況や疾病の有無を診察し、歯科、視力、聴力、尿検査等総合的な健康診査により適切な支援を行なうこと ② 個別相談により保護者が子どもの成長と発達を確認し、不安が解消されるように支援すること
対 象 者	3歳6ヵ月児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	① 内科診察 ② 尿検査 ③ 視力、聴力検査 ④ 各種相談

事業の結果

- 健康診査は6回実施し、受診者は251人、受診率は92.6%でした。
- 診察所見を見ると、身体所見では「アレルギー疾患」「皮膚疾患」の有所見者の割合が高く、精神所見では「情緒面」の有所見者が高いという状況です。
- アンケート調査の結果、健康診査に「満足した人」と「ほぼ満足した人」の割合の合計は97.3%でした。
また、「発達の確認ができた人」の割合は88.5%、「悩みを相談できた人」の割合は94.6%でした。

3歳児健康診査受診状況 単位：人・%

年度	対象者数	受診者数	受診率
H30	240	228	95.0
R元	232	227	97.8
R2	274	261	95.3
R3	275	262	95.3
R4	271	251	92.6



事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 有所見者の内訳を見ると、毎年アレルギー疾患の所見が多く、気管支喘息、食物アレルギー次いでアトピー性皮膚炎を治療している幼児が多い状況です。
- 2 平成25年から比べると受診者数はほぼ横ばいですが、有所見者数はそれぞれ減少傾向にあります。

3歳児健康診査 内科診察結果 単位：人、本、%

年度	受診者数	健康管理上注意すべきもの（一部）有所見者数				
		アレルギー疾患	栄養疾患	眼科疾患	泌尿器科疾患	言語障害
H25	267	35	8	4	9	27
H26	240	27	3	9	17	14
H27	242	27	9	11	10	27
H28	263	30	6	8	3	27
H29	248	13	11	13	8	21
H30	228	21	3	10	5	19
R元	227	11	7	11	3	20
R2	261	13	1	9	3	9
R3	262	14	0	9	1	12
R4	251	16	3	2	3	8

事業の方向性

- 1 3歳児健康診査は幼児期最後の集団健康診査であり、疾患の早期発見や心身の発達を確認する大切な健康診査です。確実に受診するよう受診勧奨を行い、受診率の向上と維持に努めます。
- 2 歯科健康診査は今後も個別健診を継続していきます。

Ⅱ 保健事業の報告- 1

1 母子保健事業

(2) 幼児健康診査

③ 幼児個別歯科健康診査

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	むし歯のない3歳児の割合
目標値 (R4)	89.0%
当該年度実績値	90.7% (受診した者のうちむし歯のない者の割合)

健康な体をつくるために、乳幼児期からむし歯予防の正しい知識を持つことが重要です。

事業の内容

目的	① 幼児期からの健康な体をつくるため、むし歯予防に対する認識の強化を図る ② 歯科保健について個別に相談できる場を提供し、正しいブラッシング方法等について学習する ③ 保護者のむし歯・歯周疾患予防の認識の強化を図る
対象者	① 1歳6か月児とその保護者 ② 2歳6か月児とその保護者 ③ 3歳6か月児とその保護者
実施場所	町内歯科医療機関
内 容	① 歯科健康診査 ② ブラッシング指導・フッ素塗布 ③ 各種相談

事業の結果

- 1 各集団健診の実施時期に合わせて、個別歯科健康診査の案内をしています。
- 2 令和元年度までは集団で実施をしていましたが、新型コロナウイルス感染症対応のために、個別での実施に切り替わりました。
受診率は集団で実施していた年度と比較すると、減少傾向にあります。

幼児個別歯科健康診査受診状況

単位：人、%

年度	1歳6か月児		2歳6か月児		3歳6か月児	
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
H30	228	95.4	211	89.1	228	95.0
R1	204	94.0	242	98	227	97.8
R2	212	89.8	212	89.8	233	85.0
R3	178	87.3	216	81.5	219	79.6
R4	183	84.3	183	85.5	215	79.3

※R1までは集団で実施

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 むし歯有病率は、年齢が高くなるほど上昇しています。1歳6カ月から2歳の1年間で、有病率は大幅に上昇しています。離乳が完了するこの時期にお菓子やジュース類の摂取量が多くなる為だと考えられます。
- 2 「歯と食事のアンケート調査」の結果、多くの幼児が、幼児期初期から100%ジュースや乳酸飲料などの甘い飲み物を飲んでいることが分かりました。むし歯や肥満の危険性について更に周知する必要があります。
- 3 2歳台の歯科健康診査時、約2割の幼児が甘い飲み物を毎日飲んでいる状況でした。年齢が高くなるにつれて仕上げみがきをしている者の割合は上昇しています。

むし歯有病率の年次推移

単位：人、%

年度	1歳6か月児歯科健康診査			2歳6か月児歯科健康診査			3歳6か月児歯科健康診査		
	受診者数	有病者数	有病率	受診者数	有病者数	有病率	受診者数	有病者数	有病率
H25	211	3	1.4	222	20	9.0	267	44	16.5
H26	238	3	1.3	221	27	12.2	240	54	22.5
H27	232	3	1.3	253	19	7.5	242	61	25.2
H28	215	4	1.9	238	21	8.8	263	45	17.1
H29	213	2	0.9	233	14	6.0	248	39	15.7
H30	228	1	0.4	211	15	7.1	228	31	13.6
R元	204	4	2.0	242	10	4.1	227	36	15.9
R2	212	8	3.8	212	14	6.6	233	24	10.3
R3	178	1	0.6	216	13	6.0	219	23	10.5
R4	183	0	0.0	183	6	3.3	215	20	9.3

事業の方向性

- 1 各集団健診など機会を捉えて受診勧奨をしていきます。
- 2 幼児期からのむし歯予防は生涯を通じたむし歯・歯周疾患の予防につながります。幼児期から規則正しい生活習慣を整えていくことができるよう知識の普及を図っていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

1 母子保健事業

(3) 子育て支援

① BabyCome☆ 4～5 カ月広場

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	消防署と連携した救命救急法の健康教育実施回数
目標値 (R4)	12回
当該年度実績値	0回

3～4 カ月児健康診査が個別健康診査に変更になったことをうけて開始した事業です。同じ誕生月の児と保護者が交流できる貴重な機会です。

事業の内容

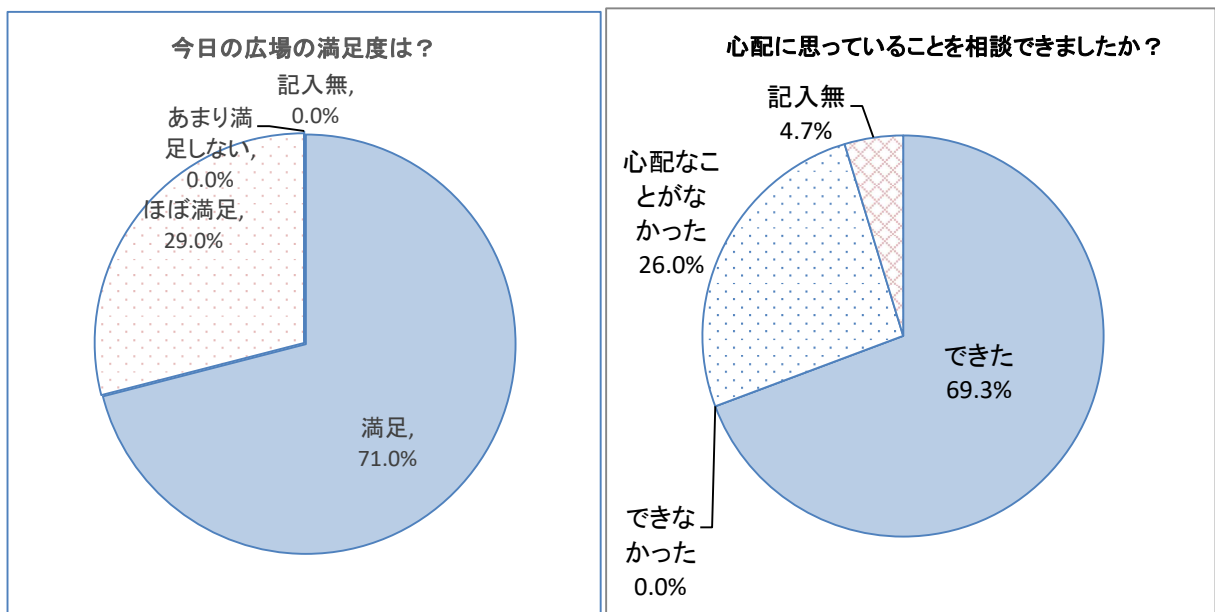
目 的	① 保護者が子どもの成長や発達を確認できる。 ② 健やかな発育を促すための親子の関わり方や育児方法、離乳食の進め方と乳幼児の事故予防について学ぶ機会とする。 ③ 親同士の交流を図ることで、育児不安を軽減できるよう支援する。 ④ 保護者自身がリフレッシュできる場とする。
対 象 者	生後4～5カ月の乳児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	計測、離乳食の進め方について、絵本の読み聞かせ、乳幼児の事故予防について（保健師）

事業の結果

- アンケート調査の結果、広場について「満足」「ほぼ満足した」と回答した割合は、100%でした。
- 満足した理由としては、「相談を聞いてもらえて安心できた」「同月齢の子と会って刺激になった。交流できてよかった」などがあげられました。また、離乳食についても「離乳食の進め方が確認できた」という意見が多くありました。
- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施しました。参加率は65%と前年度（71%）より減少しており、新型コロナウイルス感染症予防のために参加を見合わせた人がいるためと推測されます。

事業の分析

- 1 アンケートの結果、69.3%の保護者が心配に思っていることを相談できたと回答しています。また、相談できなかったと回答した人は0%であり今後も相談しやすい環境を整えていきたいと思えます。
- 2 アンケートの結果、離乳食のすすめ方については72%が「理解できた」27.6%が「何となく理解できた」と回答しており、離乳食を学ぶ良い機会となっています。
- 3 絵本の読み聞かせについては86.6%が「楽しかった」と回答。乳幼児の事故予防は90.6%が「事故や予防法について知ることができた」と回答。保護者のリフレッシュと安全意識の向上に繋がったと考えます。



事業の方向性

- 1 子どもの成長・発達を確認できるよう支援し、育児不安を軽減できるように支援していきます。
- 2 健やかな発育を促すための親子の関わり方や育児方法、離乳食の進め方、乳幼児の事故予防について学ぶ機会とします。
- 3 保護者自身がリフレッシュできる場となるように努めていきます。

Ⅱ 保健事業の報告-1

1 母子保健事業

(3) 子育て支援

② マタニティ・ママのほっと広場(乳幼児相談)

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	特になし

妊娠中の悩みや子育ての不安や悩みを早期に解消し、より良い母子関係を築くことができるよう支援する事業です。

事業の内容

目 的	① 妊娠中の心身の悩みについて、個別相談を行い、不安を解消する場を提供すること ② 個々のニーズに応じて、計測や育児、栄養に関する個別相談を行い保護者が子どもの成長・発達を確認すること ③ 遊びや絵本の触れ合いコーナーで親子が学習できる場を提供すること ④ 親同士が交流できる場を提供すること
対 象 者	乳幼児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	身体計測、育児相談(保健・栄養)、栄養コーナー ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度は完全予約制で実施し、1組の利用時間は最大30分までとする。 ※ボランティアによる絵本読み聞かせコーナー、歯科コーナーは中止 ※午後は離乳食教室を同日開催

事業の結果

- 1 延べ参加人数は94人、実参加人数は44人です。延べ参加人数は、昨年度と比較して40人増加しました。開催回数は9回でした。
- 2 相談内容の内訳は、保健相談が76人、栄養相談が36人でした。このほかに、受付段階では相談を希望しない場合でも、実際に面接すると様々な悩みや不安を相談するケースが多くありました。
- 3 妊娠中の相談は0人でした。

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 人当たりの平均参加回数は2回前後となっています。継続して参加する親子が多く、参加者同士の交流の場となっています。
令和3年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため完全予約制で実施し、1組の利用時間は最大30分までとしたため、参加人数が減少しています。
- 2 相談内容では、体重増加に関する悩みが多く、ミルクの量や離乳食の進め方、内容などの細やかな指導が必要となります。継続支援が必要な場合は、翌月も参加するよう勧めています。

ママのほっと広場実施状況（乳児・幼児） 単位：人、%、回

年度	参加 延人数	参加者内訳				参加 実人数	一人当たり 参加回数
		乳児		幼児			
		人数	割合	人数	割合		
H25	610	398	65. 2	212	34. 8	202	3. 0
H26	675	400	59. 3	275	40. 7	174	3. 9
H27	617	313	50. 7	304	49. 3	167	3. 7
H28	548	302	55. 1	246	44. 9	137	4. 0
H29	356	174	48. 9	182	51. 1	113	3. 2
H30	266	157	59. 0	109	41	68	3. 9
R元	315	178	56. 5	137	43. 5	101	3. 1
R2	114	69	60. 5	45	39. 4	46	2. 5
R3	54	44	81. 5	10	18. 5	27	2. 0
R4	94	80	85. 1	14	14. 9	44	2. 1

※R2は、妊婦が1名参加しています。

事業の方向性

- 1 子育てについての不安や悩みを相談し、子どもの成長・発達を確認できるよう支援していきます。
- 2 母親が個々に持つ悩み・不安は多様化しており、精神面の支援が必要な方もいます。必要時、家庭訪問や電話連絡などにより支援を継続します。
- 3 同じ月齢の子どもを持つ母親同士が気軽に会話ができ、交流が図れる場にしていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－1

1 母子保健事業

(3) 子育て支援

③ ぴよこちゃん教室（幼児教室）

関連する行動計画	第六次母子保健計画
評価項目	幼児教室の実施回数
目標値（R4）	20回
当該年度実績値	8回

親子の触れ合いや遊びを通じて、よりよい親子関係を築くことができるよう支援します。

事業の内容

目的	① 親子の触れ合いや遊びを通して、子どもの心身の発達に応じた親の関わりの必要性を伝え、より良い親子関係が築けるよう支援すること ② 親同士の交流の場を設けること
対象者	① 心身の障害や発達の遅れのある幼児と親 ② 親子の関わりに支援が必要な幼児と親
実施場所	はつらつホール
内容	① 季節行事を中心とした親子の触れ合い、成長発達を促す遊び ② 保護者の育児の悩みへの対応や知識の普及、個別面談を通じた成長発達の振り返り

事業の結果

- 開催回数は8回で、延べ参加人数は40人（4組の親子）、幼児の参加は1回あたり2.5人でした。
- 新型コロナウイルス感染症対応のため中止していましたが、令和4年7月から教室を再開しました。

幼児教室の参加理由

支援の対象	参加理由	親子（組）
子ども	言葉の遅れ	0組
	発達全体の遅れ	4組
	多動傾向	1組
	運動発達の遅れ	0組
母親（再掲）	育児不安・関わりの弱さ	2組

※うち1組は、未参加のまま終了

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 新型コロナウイルス感染症対応のため、令和2年度から中止（年度途中の中止も含む）していたため、開催回数・参加人数が減少しています。
- 2 令和3年度は年度途中から2歳6か月児を対象とした2歳児教室が新型コロナウイルス感染症対応のため中止になったこともあり、発達相談や幼児教室につながる機会が減少しました。支援が必要な対象を把握する機会、保護者が相談する機会が減少した影響は、今後数年継続することが考えられるため、各健診での細やかな確認、保育施設等とより連携して、必要な支援を行えるよう努めていく必要があります。
- 3 幼児への発達支援に加え、保護者の関わり方や育児の悩みなどに助言・支援が必要な場合も増えています。

幼児教室および発達相談開催状況

単位：人

年度	幼児教室			発達相談	
	開催回数	参加延人数	スタッフ数	参加延人数	
H25	20	223	88	81	
H26	20	205	79	71	
H27	20	241	101	87	
H28	19	276	110	96	※台風のため1回中止
H29	20	258	107	103	
H30	18	452	88	100	
R元	19	374	111	105	
R2				96	※コロナ対応のため中止
R3	4	22	20	77	※コロナ対応のため年度途中から中止
R4	8	40	31	83	※7月から再開

事業の方向性

- 1 発達支援が必要な対象者を把握し、必要な支援に早期からつなげていくことができるよう、機会を捉えて働きかけていきます。
- 2 子どもの発達と親子の関わり・触れ合いを重視した内容としていきます。母親に対して、子どもへの声かけや関わり方について具体的に伝え、支援していきます。

Ⅱ 保健事業の報告-1

1 母子保健事業

(3) 子育て支援

④ 離乳食教室

関連する行動計画	母子保健計画
評価項目	なし

離乳食についての不安や悩みを解消できるよう支援する事業です。

事業の内容

目 的	① 月齢に応じた離乳食の進め方と目安量を確認する ② 薄味の大切さの理解を促す ③ 離乳食全般に関わる不安や悩みを軽減できるよう、親同士の交流の場を設ける
対 象 者	生後7～8カ月頃の乳児とその保護者
実施場所	はつらつホール
内 容	① 計測 ② 離乳食の進め方についてのお話 ③ 試食 ④ 離乳食相談

事業の結果

- 1 年間12回開催し、参加人数は延べ37人でした。
- 2 不安や悩み、心配事が多い第1子の保護者の参加が約8割、第2子以上の保護者は約2割参加し、育児全般の確認をしています。
- 3 満足度については、アンケートの結果、「満足」が86.1%、「やや満足」が13.9%でした。
教室の内容については、全員が「理解できた」と回答しています。

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 参加率は減少傾向で、平成29年度以降20%を下回っています。
- 2 参加者が少人数のため、個人の進み具合に合わせた個別相談に十分な時間を確保できたことで、悩みや不安の解消につながっています。
- 3 だし汁や減塩味噌汁の試食により、薄味の大切さを実感でき、また、実物の離乳食で量や形態の確認が出来ています。
- 4 同じ悩みを持つ親同士、交流が深まるきっかけにもなっており、子育ての情報交換の場にもなっています。

離乳食教室の実施状況

単位：人・%

年度	年間開催回数	参加者数	参加率	参加保護者の状況			
				第1子	割合	第2子以上	割合
H25	12	61	28.0	47	77.0	14	23.0
H26	12	56	25.1	40	71.4	16	28.6
H27	12	41	20.0	32	78.0	9	66.7
H28	12	45	22.0	26	58.0	19	42.0
H29	12	26	13.0	19	73.0	7	27.0
H30	12	38	19.0	23	59.0	16	41.0
R元	12	32	16.5	24	75.0	8	25.0
R2	8	21	17.2	14	66.7	7	33.3
R3	12	28	14.1	22	78.6	6	21.4
R4	12	37	16.4	27	75.0	9	25.0

事業の方向性

- 1 離乳食期は不安や悩みが多い時期でもあるため、不安や悩みが解消されるよう継続して事業を行っていきます。
- 2 実物の離乳食やだし汁と味噌汁の試飲は継続して実施します。
- 3 同じ月齢の子どもを持つ親同士が気軽に交流が図れる場にしていきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(1) 健康教育

関連する行動計画	元気はつらつ高齢者計画
評価項目	開催回数、参加者数
目標値 (R4)	30回、500人
当該年度実績値	57回、843人

集団健康教育

健康づくりの知識と実践方法を普及させるため、町内各地区において集団を対象に健康教育事業を行います。

事業の内容

目 的	生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進のための行動を実践できるようにする。
対 象 者	40歳以上の町民（65歳以上は介護予防事業として実施）
実施場所	各地区公民館、自治公民館等
実施期間	通年
内 容	① 一般的な健康知識 ④ 歯周疾患予防 ② 病態別予防知識 ⑤ 栄養改善 ③ 時事健康課題 ⑥ 介護予防の知識 など

事業の結果

- 1 40歳から64歳を対象とする健康増進事業として、生活習慣病の予防などをテーマにした健康教育を8回（23人）実施しました。
- 2 介護予防事業では介護予防普及啓発事業として57回（843人）、介護予防活動支援事業として35回（507人）の健康教育を実施しました。

単位：回、人

区 分	内 容	対 象	回数	延参加人数
健康増進事業 (目的：生活習慣病等の予防)	病態別 骨粗しょう症 薬の知識 栄養関係 肝炎の知識 など	40～64歳	8	23
介護予防事業 (目的：要介護 状態の予防など)	介護予防 普及啓発事業	40～64歳	57	44
		65歳以上		799
	介護予防活動 支援事業	40～64歳	35	27
		65歳以上		480

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

- 1 健康教育は、高齢者を対象とする「いこいの家」で主に実施されています。コロナ禍以降、実施回数が減少しましたが、徐々に取り戻しつつあります。
- 2 壮年期を対象とした健康教育（健康増進事業）も、コロナ禍以降、減少しています。
- 3 介護予防普及啓発事業では、運動機能向上を目的としたシルバーリハビリ体操や栄養改善についての内容を多く実施しています。

	年度	H30	R元	R2	R3	R4
健康増進事業	回 数	32	29	4	3	8
	参加延人数	491	445	71	12	23
介護予防普及啓発事業	回 数	125	158	52	37	57
	参加延人数	2,039	2,478	605	543	843
介護予防活動支援事業	回 数	127	77	37	14	35
	参加延人数	1,855	1,118	500	304	507

事業の方向性

- 1 自ら健康管理できるよう、その時期や対象者に合わせた内容で健康教育を実施していきます。
- 2 壮年期を対象とした健康教育については、地区の集まりは少ないため、大幅な見直しをする必要があり、検討課題です。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(2) 健康相談

関連する行動計画	第8期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	総合健康相談開催数、参加者数
目標値 (R4)	9回、180人
当該年度実績値	0回、0人

健康相談

町民一人ひとりが健康で元気に生活できるように健康相談を行い、自分の健康状態を確認し、健康管理を自ら行えるよう支援します。

事業の内容

目 的	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、健康管理のための行動を実践できるようにする。
対 象 者	40歳以上の町民（65歳以上は介護予防事業の一般高齢者施策）
実施場所	はつらつホール、地区公民館、自治公民館等
実施期間	通年
内 容	① 重点健康相談(高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗鬆症予防、女性の健康、病態別) ② 総合健康相談(一般的な健康に関する内容)

事業の結果

- 1 介護予防事業における健康相談は、97回（1,442人）実施しました。
- 2 64歳以下を対象とする重点健康相談・総合健康相談は実施しませんでした。

単位：回、人

事業名	回数	参加者数
重点健康相談	0	0
総合健康相談	0	0

単位：回、人

事業名	回数	対象	参加者数	
介護予防事業における健康相談	97	65歳未満	73	1,442
		65歳以上	1,369	

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

- 1 壮年期世代を対象とする健康相談は、各地区で行われている健康相談（いこいの家）に参加した人に対して行っています。参加者の固定化や高齢化により、65歳未満の参加者は減少傾向にあります。
- 2 平成20年度から特定保健指導が始まったことにより、40～74歳の生活習慣病予防に関する相談は、主に特定保健指導の場で行なわれています。それに伴い、重点健康相談の場を設定する機会が減少しています。

健康増進事業における健康相談

単位：回、人

年度		H30	R 元	R 2	R 3	R 4
総合健康相談	開催回数	1	0	0	0	0
	参加者数	2	0	0	0	0
重点健康相談	開催回数	0	1	0	0	0
	参加者数	0	38	0	0	0

介護予防事業における健康相談

単位：回、人

年度		H30	R 元	R 2	R 3	R 4
開催回数		288	272	112	58	97
参加者数	65歳未満	352	309	83	54	73
	65歳以上	4, 527	3, 818	1, 325	901	1, 369

事業の方向性

- 1 他の事業と同時に実施するなど、様々な機会に相談の場を設定しく必要があります。特に壮年期世代を対象とした健康相談の場を工夫することが必要です。
- 2 高齢者を中心とした健康相談では、一般的な健康状態の確認にとどまらず、介護予防の視点を持った関わりが重要になります。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(3) 健康診査

関連する行動計画	第8期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	成人歯科健康診査受診者数
目標値（R4）	120人
当該年度実績値	91人

成人歯科健康診査

成人の8～9割の人が歯周病に感染しているといわれており、健康で丈夫な歯を1本でも多く保つためには、定期的な健康診査と正しい歯磨きの習慣が重要です。

事業の内容

目 的	① 歯周疾患を予防すること ② 口腔内清掃の習慣化を図ること
対 象 者	40歳から70歳の町民
実施場所	町内歯科医院（12か所）
実施期間	令和4年6月～令和5年2月
内 容	① 歯科健康診査 ② う歯及び歯周疾患予防に関する歯科保健指導

事業の結果

- 1 令和4年度の受診者数は、91人でした。（前年度は53人）
- 2 令和4年度は、40歳の町民の未受診者に1月に個別通知を行いました。
- 3 受診者のうち、男性の割合は19.8%、女性の割合は80.2%でした。

成人歯科健康診査の受診者数

単位：人

年度	総数	男女別		年代別		
		男	女	40代	50代	60歳以上
H30	73	7	66	35	14	24
R元	97	28	69	48	16	33
R2	22	7	15	8	9	5
R3	53	12	41	38	5	10
R4	91	18	73	37	17	37

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

- 1 新型コロナウイルス感染症のため、受診者数は大きく減少しましたが、回復の傾向にあります。
- 2 受診者のうち、66人(73%)は何らかの治療（う歯・歯槽膿漏など）が必要という結果になりました。コロナ禍での受診控えによる影響等も考えられます。

（1）令和4年度成人歯科健康診査の受診人数と健診結果

年齢区分	受診者数	健康		健診の勧め		要受診	
		(人)	割合	(人)	割合	(人)	割合
40～49歳	37	4	11%	7	19%	26	70%
50～59歳	17	1	6%	3	18%	13	76%
60～70歳	37	0	0%	10	27%	27	73%
合計	91	5	5%	20	22%	66	73%

（2）所見の内訳(所見の内容は重複します。)

年齢区分	受診者数	う歯所見あり		歯槽膿漏所見あり	
		(人)	割合	(人)	割合
40～49歳	37	15	41%	21	57%
50～59歳	17	8	47%	9	53%
60～70歳	37	18	49%	20	54%
合計	91	41	45%	50	55%

事業の方向性

- 1 勧奨の仕方を工夫し、受診者を増やします。
- 2 受診者の有所見者の割合が高いことから、若い年齢のうちから自分の口腔衛生に関心を持ち正しい行動が身に付くよう、様々な機会を利用して啓発していく必要があります。

Ⅱ 保健事業の報告-1

2 成人保健事業

(4) がん検診

① 胃がん検診

関連する行動計画	第三次はつらつ計画
評価項目	胃がん検診 受診率
目標値 (R8)	50.00%
当該年度実績値	9.80%

胃がんは、食生活や生活習慣等の変化により、罹患率や死亡率は減少傾向を示していますが、がんの部位別では罹患数も死亡数も、大腸・肺に次いで3番目に多いがんです。

参考：がんの統計2023（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	胃がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	40歳以上の町民
実施場所	はつらつホール
実施期間	6月～8月（12日間） ※R3年度より1日増
内 容	胃エックス線検査

事業の結果

- 1 受診者数は1,118人で、前年度より増加しました。
- 2 受診率は9.8%とコロナ禍前に回復傾向ですが、目標値に比べると低い水準で推移しています。
- 2 精密検査の受診率は86.0%で、昨年度より19.3ポイント上昇しました。

胃がん検診受診状況

単位：人、%

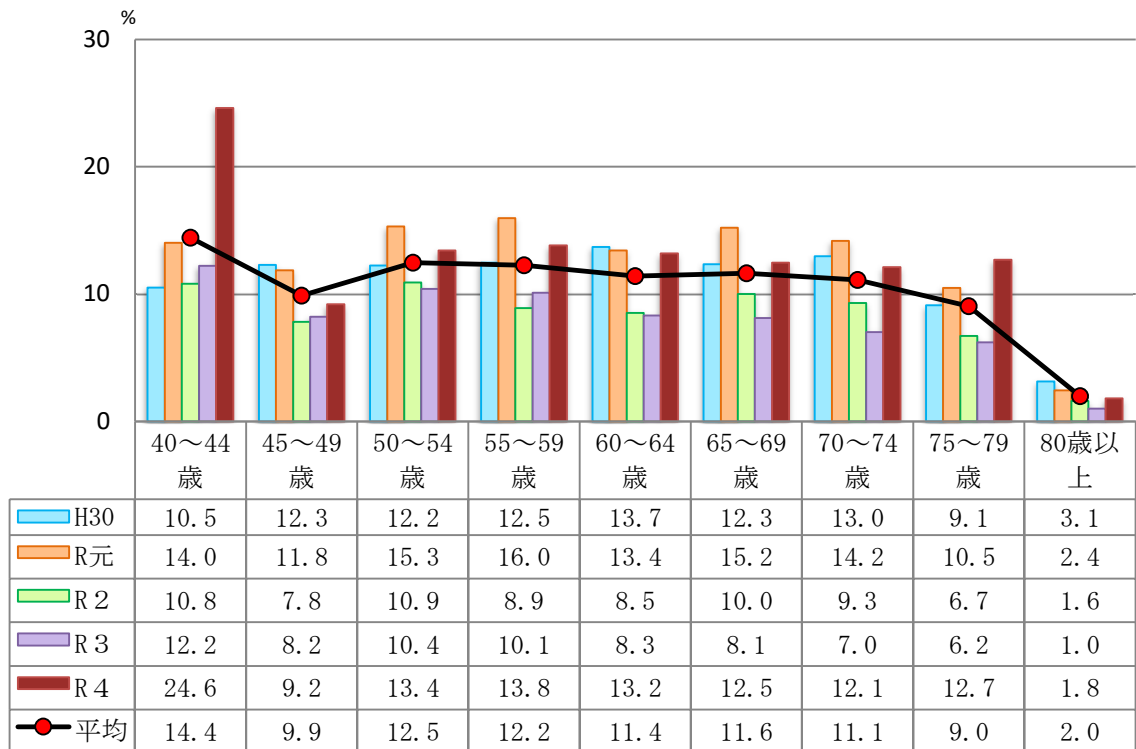
年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検受診数 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 (e)	がん発見率 (e)/(b)
H30	11,177	1,087	9.7	53	45	84.9	1	0.09
R元	11,175	1,201	10.7	54	48	88.9	1	0.08
R2	11,292	787	7.0	44	35	79.5	0	—
R3	11,402	691	6.1	27	18	66.7	0	—
R4	11,411	1,118	9.8	57	49	86.0	2	0.18

事業の分析

事業結果から、次のように分析します。

- 1 平成30年に単独検診となったことで検診日数が大幅に減り、受診率が低下し、コロナ禍でR2～3年はさらに受診率が低下しました。
- 2 40歳は無料で検診が受けられる体制をとっていますが、40代後半の受診率が減少傾向にあります。
- 3 他のがん検診に比べ、一時検診・精密検査ともに受診率は低い傾向です。

年齢階級別 胃がん検診受診率の推移



※平成30年度から総合検診から切り離し、単独検診で実施。

事業の方向性

- 1 受診率向上の為、受診しやすい検診体制の確保に努めます。
また、受診履歴のある人に問診票を送付するなど、継続受診者を増やすよう、周知の方法を工夫していきます。
- 2 精密検査を確実に受診するよう、引き続き受診勧奨を行います。

Ⅱ 保健事業の報告－１

２ 成人保健事業

(４) がん検診

② 肺がん検診

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	肺がん検診受診率
目標値（R8）	50.0%
当該年度実績値	29.6%

肺がんは、がん死因の中で最も死亡率が高く、罹患率は大腸がんに次いで２位となっています。肺がんの最も重要な危険因子は、喫煙と言われています。

参考：がんの統計2023（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	肺がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	40歳以上の町民
実施場所	はつらつホール
実施期間	５～６月（15日間）、11月（４日間）
内 容	胸部X線撮影、喀痰検査(50歳以上希望者)

事業の結果

- 1 受診者数は3,372人、受診率は29.6%です。
- 2 肺がん検診の対象者を40歳以上に拡大しました。
また、喀痰検査は、50歳以上の希望者に拡大したため、受診人数は30人に増加しました。
- 3 精密検査の受診率は93.2%で、90%以上の高い受診率となりました。

肺がん検診受診状況

単位：人、％

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検 受診数 (d)	精検 受診率 (d)/(c)	がん 発見者数 (e)	がん 発見率 (e)/(b)	喀痰検査 受診者数
H30	2,909	1,260	43.3	34	29	85.3	1	0.08	6
R元	2,793	1,124	40.2	26	23	88.5	0	－	4
R2	2,794	278	9.9	7	6	85.7	0	－	2
R3	2,766	855	30.9	27	26	96.3	0	－	3
R4	11,411	3,372	29.6	118	110	93.2	4	0.12	30

※がん発見者数は、年度を越えて診断名が確定することもあり、前年の白書に計上した数字と異なる場合もある。

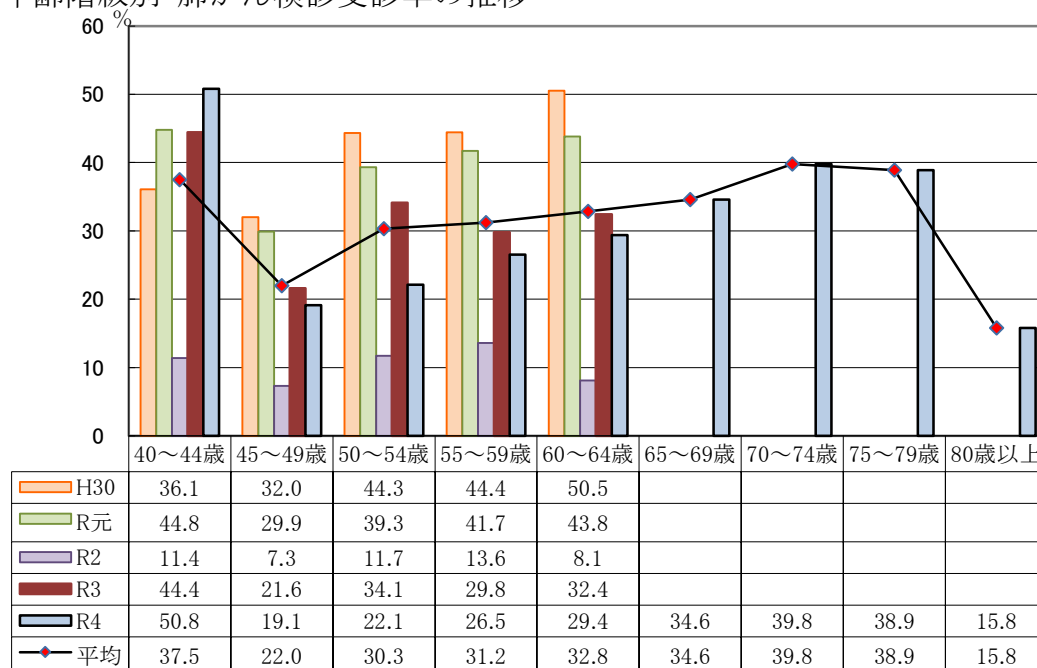
※R3までの肺がん検診対象年齢は40～64歳。（65歳以上は結核検診の対象）

事業の分析

事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診率の平均を見ると、40～44歳以外は、年齢が高くなるにつれて高くなっています。若い世代から継続して受診していくよう周知を図る必要があります。
- 2 過去5年間で肺がん発見者は5名でした。対象年齢を拡大したことにより70歳以上で肺がんが発見されています。

年齢階級別 肺がん検診受診率の推移



事業の方向性

- 1 対象の年代に検診の重要性について周知し、受診勧奨を行います。
- 2 肺がんの発生と喫煙は密接に関係しています。そのため、喫煙習慣改善に関する啓発活動を今後も継続していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－1

2 成人保健事業

(4) がん検診

③ 大腸がん検診

関連する行動計画	第三次元気はつらつ紫波計画
評価項目	大腸がん検診受診率
目標値（R8）	50.0%
当該年度実績値	24.9%

大腸がんは日本人が最も多く罹患するがんです。死亡率は肺がんに次ぎ2番目に高くなっています。生活習慣や食生活の変化から、近年、大腸がんが急増しています。

多くの場合、早期発見・早期治療によりほぼ完治することが可能ながんです。

参考：がんの統計2023（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	大腸がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	40歳以上の町民
実施場所	はつらつホール
実施期間	5～6月(15日間)、11月（4日間）
内 容	便潜血反応検査（2日法）

事業の結果

- 1 受診者数は2,846人で前年度より増加しました。
- 2 初めて検診対象となる40歳の者385人に無料クーポンを交付し、33人が受診しました。
- 3 今年度も前年度受診者全員に大腸がん検診容器を配付しました。
申し込みの手間を省くことができ、受診率の向上につながりました。
- 4 精密検査の受診率は86.0%で、昨年度より増加しました。
がんの発見者数は15人で、過去5年で最も高い発見率となりました。

大腸がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検受診数 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 (e)	がん発見率 (e)/(b)
H30	11,177	3,260	29.2	200	152	76.0	7	0.21
R元	11,175	3,212	28.7	195	163	83.6	7	0.22
R2	11,292	2,066	18.3	119	104	87.4	6	0.29
R3	11,402	2,824	24.8	155	119	76.8	11	0.39
R4	11,411	2,846	24.9	157	135	86.0	15	0.53

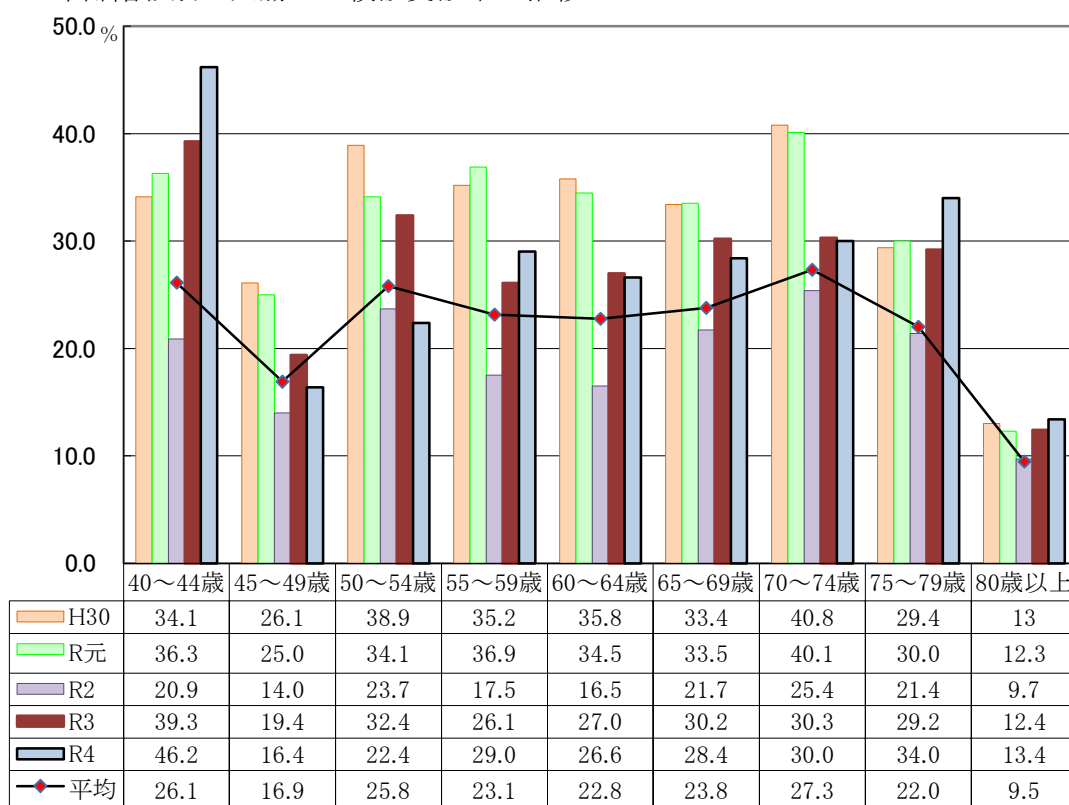
※がん発見者数は、年度を越えて診断名が確定することもあり、前年の白書に計上した数字と異なる場合もある。

事業の分析

事業結果から、次のように分析します。

- 40歳に対し、無料で受けられる体制をとり、また個別受診勧奨を実施した結果、40代前半の受診率は増加しています。しかしながら、40代後半の受診率が減少傾向にあり、受診継続の啓発が必要です。
- がん検診の中で、がん発見者数が多い検診の一つですが、精密検査の受診率が低い年もあります。早期発見・治療のために、精密検査の受診も必要であることを引き続き周知していく必要があります。

年齢階級別 大腸がん検診受診率の推移



事業の方向性

- 若い世代にも検診の必要性を理解してもらい、年に1度は検診を受診してもらえるよう、周知を図っていきます。
- 大腸がんの発見は60歳から増え始めるため、高齢者にも引き続き受診勧奨をしていく必要があります。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(4) がん検診

④ 前立腺がん検診

関連する行動計画	なし
----------	----

前立腺がんは、男性が最も多く罹患するがんです。

特に、60歳以上の年代になると、前立腺がん罹患率が高くなります。

参考：がんの統計2023（国立がん研究センター）

事業の内容

目 的	前立腺がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	50歳以上の町民（男性）
実施場所	はつらつホール
実施期間	5月～6月（15日間）、11月（4日間）
内 容	血液検査(PSA検査)

事業の結果

- 1 受診者数は661人、受診率は15.7%で、前年度より増加しました。
- 2 精密検査の受診率は58.3%で、60%を下回っています。
- 3 前立腺がんの発見はありませんでした。

前立腺がん検診受診状況

単位：人、%

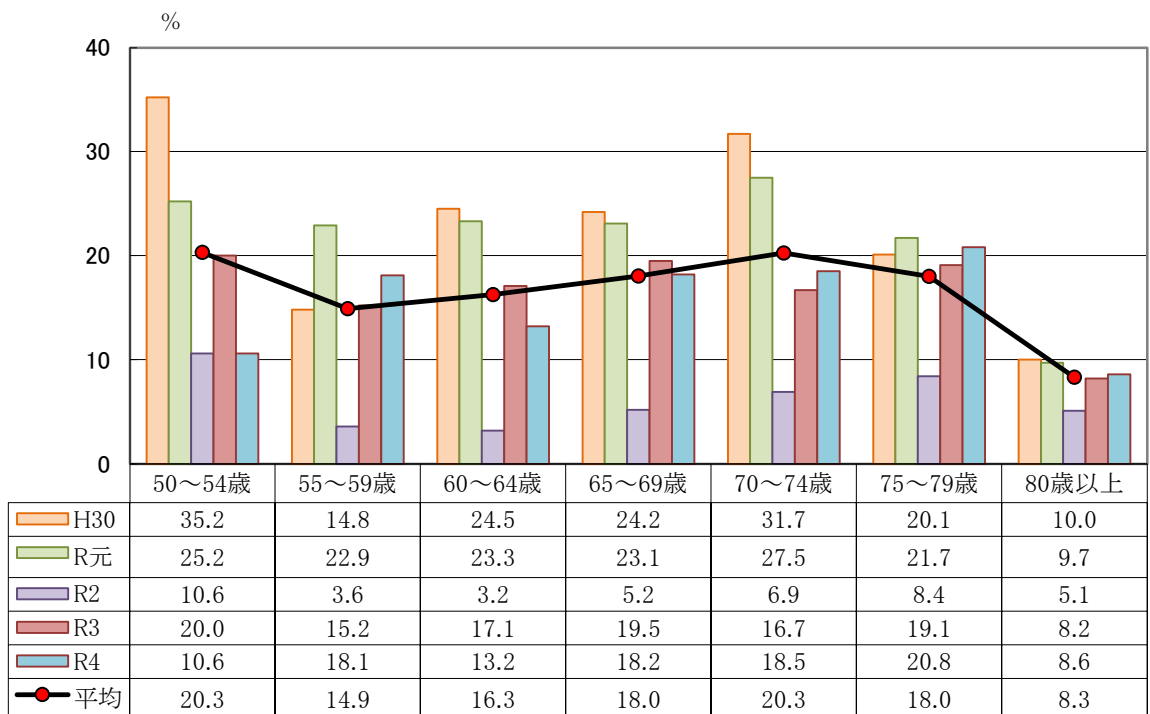
年度	対象者数 (a)	受診者数 (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検受診数 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 (e)	がん発見率 (e)/(b)
H30	3,993	861	21.6	40	20	50.0	2	0.22
R元	4,040	837	20.7	38	32	84.2	4	0.48
R2	4,115	246	6.0	16	13	81.3	1	0.41
R3	4,201	652	15.5	29	21	72.4	2	0.31
R4	4,223	661	15.7	24	14	58.3	0	0.00

事業の分析

事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診率は80代以降の年代以外は、各年代で15%以上となっています。
- 2 毎年、検診のみ受診し、精密検査対象となっても検査を受けない人が数名みられます。その方への対応をとっていく必要があると思われます。

年齢階級別 前立腺がん検診受診率の推移



事業の方向性

- 1 男性が最も多く罹患するがんですが、国の定める「がん検診の実施に関する指針」の対象ではないため、実施については検討していく必要があります。
- 2 精密検査を受けない人への対策を検討していく必要があります。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(4) がん検診

⑤ 子宮頸がん検診

関連する行動計画	第3次元気はつらつ計画
評価項目	子宮頸がん検診受診率
目標値（R8）	50%
当該年度実績値	27.5%

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因とされ、20～30歳代に罹患者が増えています。早期は自覚症状がないので検診が重要です。

事業の内容

目 的	子宮頸がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	20歳以上の奇数歳の女性
実施場所	はつらつホール
実施期間	1月（8日間）
内 容	子宮頸部細胞診

事業の結果

- 総受診者数は1,053人で、奇数歳受診者は1,040人でした。
受診率は27.5%で、昨年度と横ばいです。
- 新規対象者となる21歳・146人に対して無料クーポン券を送付し、12人が受診しました。（受診率8.2%）
- 精密検査の受診率は92.6%で、昨年度より上昇しました。

子宮頸がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数 ※1 (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検者数 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 ※2 (e)	がん発見率 (e)/(b)
H30	3,789	1,282	33.8	35	32	91.4	2	0.16
R元	3,755	1,148	30.6	24	24	100.0	2	0.17
R2	3,757	950	25.3	12	10	83.3	0	0.00
R3	3,764	1,031	27.4	14	11	78.6	0	0.00
R4	3,777	1,040	27.5	14	13	92.9	0	0.00

※1 奇数歳受診者のみ計上

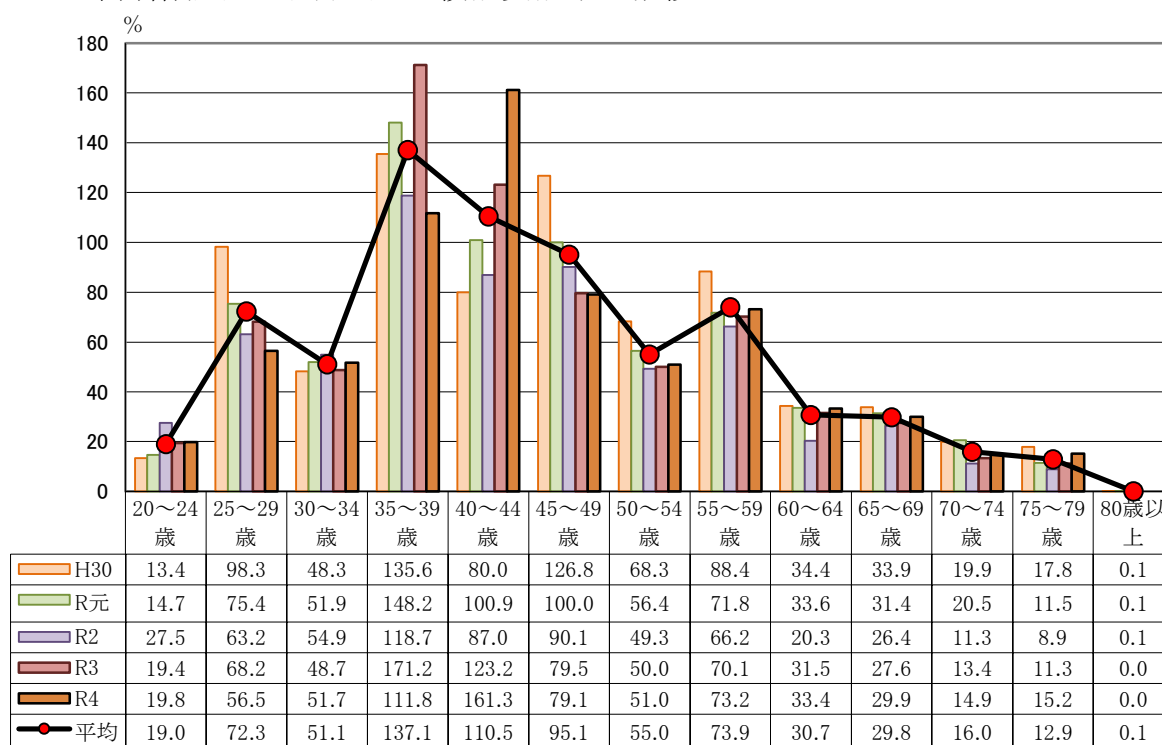
※2 子宮頸部がんのみ計上、子宮体部がんは含まない。

事業の分析

事業結果から、次のように分析します。

- 1 受診率にばらつきはありますが、対象者全員への個別通知を行っていることから、25～59歳では受診率平均50%以上を維持しています。
- 2 20～24歳代の受診率が低い状況です。新規対象者には、無料となるクーポン券を発行していますが、利用率は低い状況です。
受診しやすい検診体制の整備が必要と思われます。

年齢階級別 子宮頸がん検診受診率の推移



※検診対象者は、厚生労働省「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に示された推計対象者数で算定。そのため実際の受診人数が推計対象者数を上回ることがある

事業の方向性

- 1 検診案内を個別通知していることで、対象者全員に周知することができ、検診受診の動機づけに効果的であったと考えられます。
今後も継続して受診勧奨をしていきます。
- 2 若年層や未受診者に対して、子宮頸がん検診の重要性の周知行くとともに、受診ハードルが下がるように案内を工夫していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(4) がん検診

⑥ 乳がん検診

関連する行動計画	第3次元気はつらつ計画
評価項目	乳がん検診受診率
目標値（R8）	50%
当該年度実績値	28.4%

乳がんは女性に一番多いがんで、40～50歳代をピークに発症や死亡が増加しており日本人女性のおよそ9人に1人が生涯で乳がんにかかる危険性があります。

事業の内容

目 的	乳がんの早期発見・早期治療により死亡率を減少させること
対 象 者	40歳以上の奇数歳の女性（30歳代は、超音波検査）
実施場所	はつらつホール
実施期間	1月（8日間）
内 容	乳房X線撮影検査

事業の結果

- 1 総受診者数は986人、奇数歳受診者は977人で、受診率は28.4%でした。
- 2 新規対象者となる41歳（184人）に対して無料クーポン券を送付し、58人が受診しました。（受診率31.5%）
- 3 精密検査の受診率は90.9%で、がんの発見者数は4人でした。

乳がん検診受診状況

単位：人、%

年度	対象者数 (a)	受診者数※ (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検受診者 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 (e)	がん発見率 (e)/(b)
H30	3,394	1,200	35.4	22	21	95.5	4	0.3
R元	3,393	1,062	31.3	20	20	100.0	3	0.3
R2	3,403	862	25.3	19	16	84.2	1	0.1
R3	3,420	924	27.0	24	21	87.5	4	0.4
R4	3,435	977	28.4	22	20	90.9	4	0.4

30代超音波検査受診状況

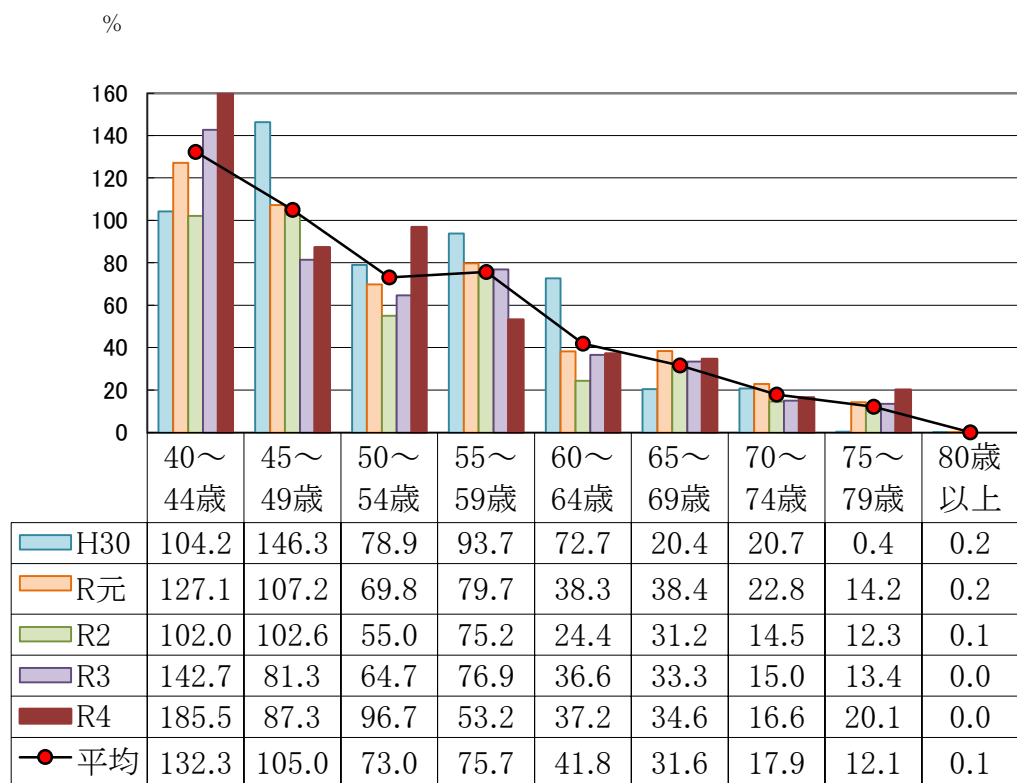
年度	対象者数 (a)	受診者数※ (b)	受診率 (b)/(a)	要精検数 (c)	精検受診者 (d)	精検受診率 (d)/(c)	がん発見者数 (e)	がん発見率 (e)/(b)
H30	205	166	81.0	1			0	－
R元	190	155	81.6	5			0	－
R2	177	128	72.3	2	2	100.0	1	0.8
R3	176	159	90.3	5	5	100.0	2	1.3
R4	184	132	71.7	2	1	50.0	0	－

事業の分析

事業結果から、次のように分析します。

- 1 年齢と共に受診率は低下傾向です。
乳がんは、40歳代後半から各年代で発見されているため、特に受診推奨年代の60歳代までは受診率が下がらないように受診勧奨を行う必要があります。

年齢階級別 乳がん検診受診率の推移



※検診対象者は、厚生労働省「今後の我が国におけるいがん検診事業評価の在り方について」に示された推計対象者数で算定。そのため実際の受診人数が推計対象者数を上回ることがある

事業の方向性

- 1 対象者への個別案内を継続し、さらに受診勧奨年代の40～60歳代への周知を重ねていきます。
- 2 検診時期や日程など受診しやすい検診体制の確保に努めます。
- 3 乳がん検診の普及啓発に併せて、自己触診によるセルフケアの大切さについても周知していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－１

２ 成人保健事業

(５) 特定健康診査・特定保健指導

① 特定健康診査

関連する行動計画	紫波町国民健康保険データヘルス計画
評価項目	特定健康診査受診率
目標値（Ｒ４）	59.0%
当該年度実績値	50.4%

特定健康診査の結果をもとに、自分の生活習慣を見直し改善していくことが生活習慣病の予防につながります。

事業の内容

目 的	① メタボリックシンドロームの予防及び早期発見をすること ② 保健指導対象者を抽出すること	
対 象 者	40～74歳の国民健康保険加入者	
実施場所	＜集団＞はつらつホール ＜個別＞契約医療機関	
実施期間	＜集団＞５～６月（15日間）、11月（４日間） ＜個別＞７～12月	
内 容	＜必須項目＞ ① 服薬歴・喫煙習慣の状況等 ② 理学的検査（身体診察） ③ 身体計測（腹囲・BMI等） ④ 血圧測定 ⑤ 肝機能（AST・ALT・γ-GTP） ⑥ 脂質検査（中性脂肪・HDL-C・LDL-C） ⑦ 血糖検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c） ⑧ 尿検査（尿糖・尿タンパク） ⑨ 腎機能検査（血清クレアチニン）	＜詳細項目＞ ① 貧血検査 ② 心電図検査 ③ 眼底検査 ※集団では全員実施 個別では医師が必要と認めた場合 ※集団では、推定塩分摂取量測定も追加実施

事業の結果

- 令和５年３月末時点における総受診者数は2,742人で、そのうち対象者は2,433人、受診率は50.42%でした。（集団・個別・人間ドック・データ提供含）
※ 対象者は、受診者のうち年度内に国保資格の異動がない者
- 特定保健指導の対象者は、積極的支援が80人（3.3%）、動機づけ支援は240人（9.9%）でした。

特定健康診査受診者数と特定保健指導対象者の割合

単位：人、%

年度	特定健康診査 受診者数			積極的支援対象者						動機づけ支援対象者					
				合 計		男		女		合 計		男		女	
	合計	男	女	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
H30	3,152	1,378	1,774	91	2.9	65	4.7	26	1.5	358	11.4	206	14.9	152	8.6
R元	3,058	1,353	1,705	78	2.6	52	3.8	26	1.5	299	9.8	185	13.7	114	6.7
R 2	1,469	623	846	22	1.5	22	3.5	－	－	180	12.3	98	15.7	82	9.7
R 3	2,475	1,081	1,394	79	3.2	56	5.2	23	1.6	258	10.4	156	14.4	102	7.3
R 4	2,433	1,050	1,383	80	3.3	56	5.3	24	1.7	240	9.9	136	13.0	104	7.5

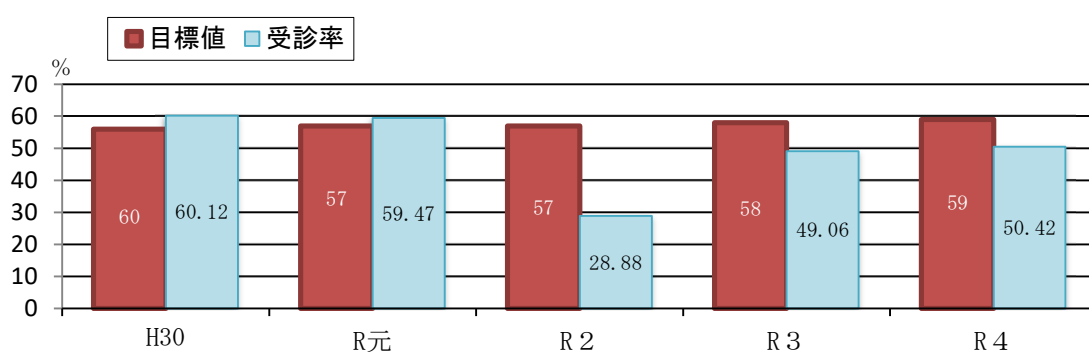
*令和４年度データは令和５年３月末現在

事業の分析

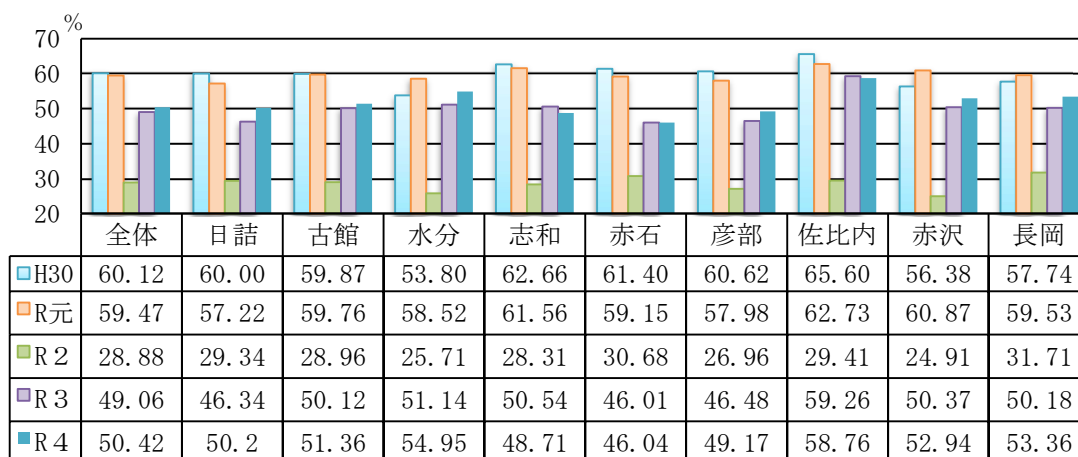
過去5年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 コロナ禍の影響で受診率が落ち込みましたが、徐々に取り戻してきています。
- 2 地区別に見ると、9地区中6地区で、受診率が5割以上に回復してきています。

特定健康診査受診率



地区別受診率の推移



事業の方向性

- 1 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予防や健診の重要性について、住民に広く周知し、受診率の向上につなげます。
- 2 対象者の受診歴の把握に努め、未受診者に対しては、医療機関での個別健康診査や追加検診の受診勧奨を行います。

Ⅱ 保健事業の報告－１

２ 成人保健事業

(５) 特定健康診査・特定保健指導

② 特定健康診査（メタボリックシンドローム有所見者の状況）

関連する行動計画	紫波町国民健康保険データヘルス計画
評価項目	特定健康診査受診率
目標値（R4）	59.0%
当該年度実績値	50.42%

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満であることに加えて、血糖・血圧・血清脂質のうちの２つ以上に異常がある状態です。このような状態になると、脳卒中や心筋梗塞、糖尿病を引き起こしやすくなります。

事業の内容

目的	内臓脂肪型肥満に起因する糖尿病、脂質異常症、高血圧症等を早期に発見し、重症化を予防する。生活習慣を見直す動機付け。
対象者	40～74歳の国民健康保険加入者
実施場所	はつらつホール
実施期間	5～6月（15日間）、11月（4日間）
内容	メタボリックシンドローム診断基準 検査項目 ・腹囲 ・中性脂肪、HDLコレステロール ・収縮期血圧、拡張期血圧 ・空腹時血糖、HbA1c

事業の結果

- 1 腹囲高値の人が781人（33.4%）、BMI高値の人は783人（33.5%）でした。受診者の３割以上が腹囲高値・BMI高値となっています。
- 2 ヘモグロビンA1cが6.0%以上の人は466人（20.0%）、中性脂肪値が150mg/dl以上の人は794人（33.9%）です。
- 3 収縮期血圧が130mmHg以上、または拡張期血圧が85mmHg以上の人の割合は、1,440人（61.6%）で、受診者の６割以上を占めています。

メタボリックシンドローム診断基準該当者の割合

年度	受診総数	腹囲	BMI	空腹時血糖	ヘモグロビンA1c	中性脂肪	HDL-C	血圧
		男≧85 女≧90	25以上	110mg/dl以上	6.0%以上	150mg/dl以上	40mg/dl未満	収縮期≧130 又は拡張期≧85
H30	3,105	1,020 (32.9%)	973 (31.3%)	133 (4.3%)	910 (29.3%)	965 (31.1%)	164 (5.3%)	1,756 (56.6%)
R元	2,954	971 (32.9%)	976 (33.0%)	113 (3.8%)	628 (21.3%)	914 (30.9%)	144 (4.9%)	1,644 (55.7%)
R2	476	154 (32.4%)	176 (37.0%)	19 (4.0%)	77 (16.2%)	141 (29.6%)	11 (2.3%)	269 (56.5%)
R3	2,331	779 (33.4%)	768 (32.9%)	93 (4.0%)	501 (21.5%)	822 (35.3%)	78 (3.3%)	1,469 (63.0%)
R4	2,339	781 (33.4%)	783 (33.5%)	65 (2.8%)	466 (20.0%)	794 (33.9%)	84 (3.6%)	1,440 (61.6%)

*判定値は、メタボリックシンドローム診断基準であり、特定保健指導対象者選定基準とは異なります。

*集団健診受診者のみのデータ、年度内資格異動者も含まれます。

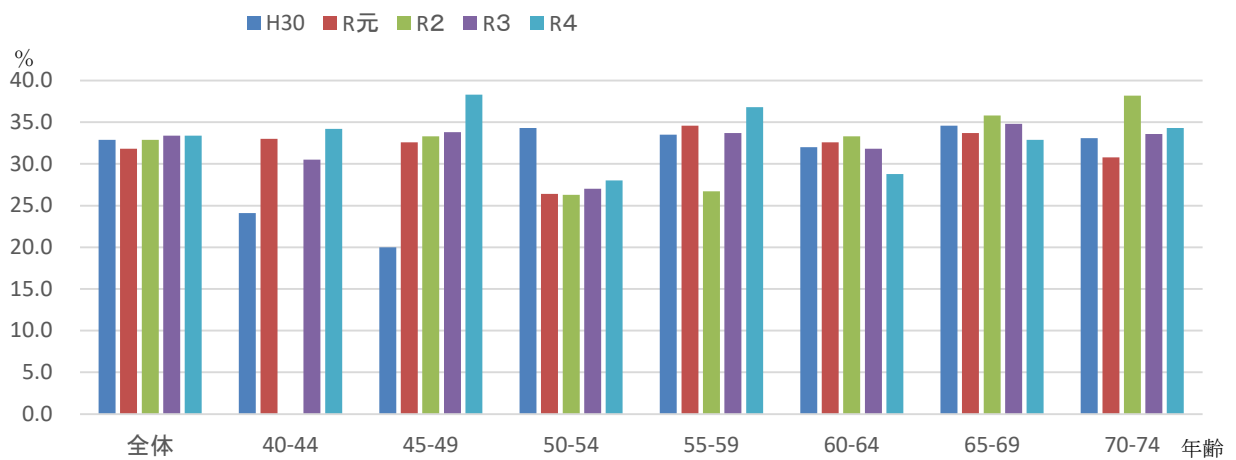
*BMI値は、メタボリックシンドローム診断基準にはないが、参考資料として掲載。

事業の分析

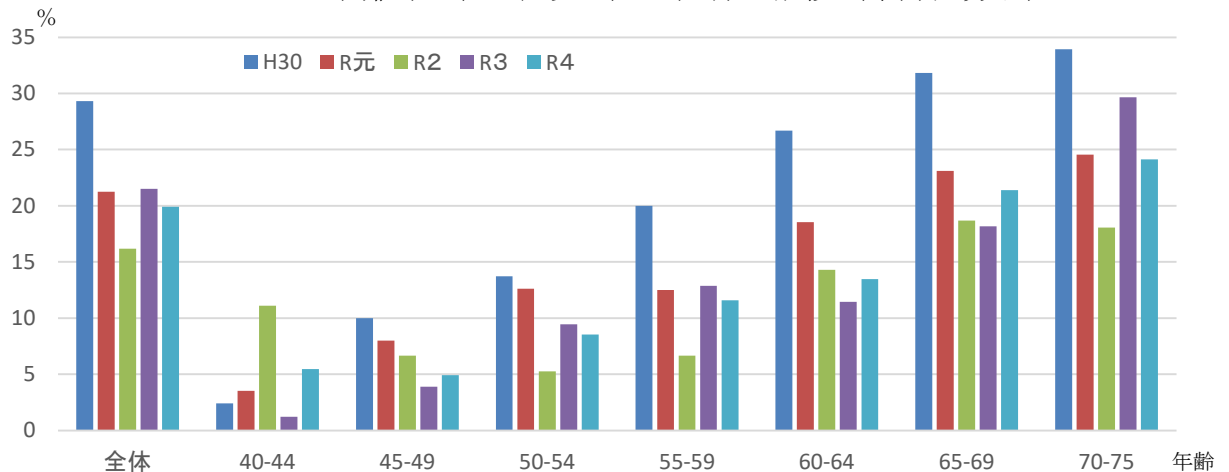
過去5年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 集団健診受診者のうち3割以上が腹囲高値者となっており、特に40～50代の腹囲高値者が増加傾向です。
- 2 ヘモグロビンA1c高値者は年齢と共に増加する傾向です。

腹囲高値者の割合の推移(年齢区分別)



ヘモグロビンA1c高値者（6.0%以上）の割合の推移（年齢区分別）



事業の方向性

特定健康診査の結果を基に、生活習慣の改善に取り組み、メタボリックシンドロームを予防するよう啓発していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(5) 特定健康診査・特定保健指導

③ 特定保健指導

関連する行動計画	紫波町国民健康保険データヘルス計画
評価項目	特定保健指導実施率
目標値（R4）	50.0%
当該年度実績値	13.1%

メタボリックシンドローム該当者や予備群の人が、自らの健康状態と問題点を認識し、生活習慣の改善ための行動ができるように支援します。

事業の内容

目的	① 生活習慣病に移行させないこと ② 健康のために自己管理ができるように支援すること		
対象者	特定健康診査の結果、選定・階層化により積極的支援・動機づけ支援となった人		
実施場所	はつらつホール	実施期間	令和4年8月～令和5年3月
内 容	岩手県予防医学協会に業務委託して実施（一部直営にて実施） 対象者の希望日時に合わせ、個別面接・指導による支援を実施		
	〈積極的支援〉		〈動機づけ支援〉
	初回面接 1ヵ月目支援 電話 2ヵ月目支援 レター 3ヵ月目支援 個別面接 3ヵ月後の評価		初回面接 3ヵ月後の評価

事業の結果

- 1 前年度に引き続き、岩手県予防医学協会に業務委託して実施しました。一部、直営でも実施しました。
- 2 特定保健指導の名称を「お体メンテナンス相談会」として対象者に通知しました。参加者は、積極的支援8人、動機付け支援44人で、前年度より増加しました。

特定保健指導の実施率（令和4年度）

単位：人・％

健診受診者	積極的支援 (a)			動機づけ支援 (b)			計 (a+b)		
	該当人数	実施人数	実施率	該当人数	実施人数	実施率	該当人数	実施人数	実施率
2,742	80	3	3.8	240	39	16.3	320	42	13.1

特定保健指導の実施率

単位：％

	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
実施率	16.7	24.3	14.5	20.4	12.5	24.1	1.0	2.4	13.1
目標値	35.0	40.0	50.0	60.0	20.0	25.0	30.0	40.0	50.0

* 令和4年度データは令和5年3月末現在

* 特定保健指導該当者のうち、国保資格異動がない者の人数を基に算出しているため、実際の参加者数よりは少ない。

事業の分析

過去9年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 特定保健指導の実施率は、平成27年度の24.3%を最高とし、いずれの年度も目標に達していない状況が続いています。
- 2 参加者腹囲改善率は、近年、5割以上の改善がみられています。

腹囲数値改善率

単位：人、%

年度	積極的支援						動機づけ支援					
	実施者	改善者※	改善率※	集団の平均値			実施者	改善者	改善率※	集団の平均値		
				初回	最終	有意差※				初回	最終	有意差※
H26	9	0	0.0	97.6±7.0	97.0±7.4	なし	64	3	4.3	93.5±5.9	92.8±6.4	なし
H27	14	2	11.1	94.9±6.2	95.1±7.6	なし	104	12	11.5	93.6±6.7	93.0±7.7	なし
H28	18	4	57.1	97.1±9.0	97.7±7.9	なし	63	25	39.7	91.9±6.7	91.3±7.1	なし
H29	15	10	66.7	94.9±6.2	95.1±7.6	なし	78	39	50.0	93.6±6.7	93.0±7.7	なし
H30	8	3	37.5	93.8±8.4	93.4±9.7	なし	57	27	47.4	94.6±8.1	94.4±8.1	なし
R元	8	5	62.5	97.1±7.5	95.9±6.5	なし	86	31	36.0	94.2±9.0	94.6±8.3	なし
R2	0	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
R3	2	1	50.0	95.2±10.2	91.0±4.0	なし	6	4	66.7	91.9±3.7	91.6±4.6	なし
R4	4	2	50.0	106.8±5.0	106.1±6.7	なし	40	22	55.0	91.9±7.0	91.0±6.7	あり

※改善者：保健指導の前後で数値の改善がみられた者

※改善率：年度内の資格異動者も含んだ率

※有意差：T検定 P<0.05

事業の方向性

対象者自身が「生活習慣改善が必要」と自覚し、参加してもらえるように案内の工夫や実施体制の検討が必要です。

Ⅱ 保健事業の報告－１

２ 成人保健事業

(６) 生活習慣病重症化予防

生活習慣病重症化予防事業

関連する行動計画	第２期紫波町国民健康保険データヘルス計画
評価項目	受診勧奨割合
目標値（Ｒ５）	90.0%
当該年度実績値	76.8%

紫波町国民健康保険データヘルス計画と保険者努力支援制度の糖尿病性腎症重症化予防に基づき、適切な受診や保健指導利用で健診有所見者を減少、脳血管疾患の発症率減少、人工透析患者の増加抑制を目的に取り組んでいます。

事業の内容

目 的	① 糖尿病合併症や脳血管疾患等への重症化を予防する ② 血糖・血圧の有所見率を減少させる
対 象 者	下記該当者（③は令和3年度から追加） ①特定健康診査受診者のうち、血糖・血圧・脂質の内服なしでHbA1c6.5%以上の者 ②特定健康診査受診者のうち、血糖・血圧・脂質の内服なしで収縮期血圧160mmHg以上の者 ③特定健康診査未受診者のうち、過去に糖尿病と診断され、現在は受診状況がレセプト上確認できない65～74歳の者
実施期間	通年
内 容	・特定健康診査結果の再通知（受診勧奨） ・医療機関未受診者への訪問 ・訪問後の受診状況確認（レセプト確認）

事業の結果

- 訪問して受診勧奨を行い、対象者の７割以上に対して保健指導を行うことができました。
- 受診勧奨後、医療機関を受診した者は約５割でした。

実施状況（令和４年度）

		①血糖未受診者 (HbA1c6.5以上)		②血圧未受診者 (収縮期血圧160mmHg以上)		③血糖治療中断者	
		人数	%	人数	%	人数	%
対象者数		26		67		6	
結果再通知者数		26	100	67	100	-	-
訪 問	受診勧奨	21	80.8	50	74.6	5	83.3
	保健指導	16	61.5	44	65.7	5	83.3
医療機関受診者数		15	57.7	33	49.3	2	33.3

事業の分析

過去4年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 特定健康診査受診者全員へ結果の再通知を行い、血糖、血圧、脂質について本人の状態がどのようになっているのかお伝えしています。該当者には受診勧奨を併せて行っています。
- 2 過去4年を平均すると、8割に訪問して受診勧奨、6割へ保健指導を実施し、受診につながったのは3割です。
- 3 訪問時の聞き取りから、健診結果を持参して病院を受診しても治療不要になるケースがあり、その後は受診が継続していないようでした。

年度	対象者数	訪問				医療機関 受診者数	
		受診勧奨	%	保健指導	%	人数	%
R元	94	84	89.4	53	56.4	45	47.9
R2	51	44	86.3	42	82.4	7	13.7
R3	86	81	94.2	68	79.1	29	33.7
R4	99	76	76.8	65	65.7	50	50.5
平均	82.5	71.3	86.6	57	70.9	32.8	36.5

※R2は総合検診の延期に伴い、R元の事業対象者のうち令和2年3月時点で医療機関未受診者へ対し、事業を実施。

事業の方向性

- 1 対象者自身が「受診が必要」と自覚してもらえるような働きかけが重要であり、受診勧奨や保健指導方法を検討する必要があります。
- 2 受診後、治療不要となったケースはその後病院を受診することがないため、その後のフォローが課題となります。医師会と連携を図るなど受診後のフォロー体制を検討していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

2 成人保健事業

(7) 肝炎対策

肝炎ウイルス検査	
関連する行動計画	なし

肝炎ウイルス陽性者を早期に発見し、病態にあった適切な治療や経過観察を続けることで肝炎の進行を遅らせ、肝硬変や肝がんを予防します。

事業の内容

目 的	① 肝炎の正しい知識を普及させ、誤った情報による偏見を無くし、肝炎ウイルス検査の早期受診を促すこと ② 肝炎ウイルス陽性者を適正な受診行動につなげること
対 象 者	① 一般住民 ② 肝炎ウイルス陽性者
実施場所	はつらつホール
実施期間	5～6月(15日間)、11月(4日間)
内 容	① 肝炎ウイルス検査 ② 正しい知識の周知 ③ 肝炎ウイルスキャリア台帳の整備

事業の結果

- 1 肝炎ウイルス検査は99人が受診しました。受診者のうち、B型肝炎ウイルス陽性者が発見されております。
- 2 新たに40歳になる人に対し、個別の受診勧奨を行い、無料で検診が受けられる体制をとりました。
385人中34人が受診しています。(受診率8.8%)

事業の分析

過去20年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 肝炎ウイルス検査の受診者数は、平成14年度からの累計で、10,836人となりました。近年、C型・B型肝炎ウイルスともに陽性者は、0～3人で推移しています。
- 2 ほとんどの陽性者が定期的に受診をしています、自覚症状がないために途中で中断してしまう人も存在しています。治療中断者への支援は今後も継続する必要があります。

肝炎ウイルス検査実施状況

単位：人、%

年度	受診者数	C 型			B 型		
		陽性者数	感染者率		陽性者数	感染者率	
			紫波町	全国		紫波町	全国
H14	3,189	110	3.4	1.6	36	1.1	1.3
H15	933	27	2.9	1.3	9	1.0	1.2
H16	718	20	2.8	1.0	14	1.9	1.1
H17	568	18	3.2	0.9	7	1.2	1.1
H18	460	11	2.4	0.8	8	1.7	1.0
H19	353	11	3.1	0.8	1	0.3	1.0
H20	487	4	0.8	1.0	2	0.4	1.0
H21	562	10	1.8	0.8	1	0.2	0.9
H22	573	3	0.5	0.7	3	0.5	0.9
H23	348	2	0.6	0.6	1	0.3	0.8
H24	370	4	1.1	0.6	3	0.8	0.8
H25	555	7	1.3	0.4	1	0.2	0.8
H26	270	3	1.1	0.4	2	0.7	0.7
H27	225	－	0.0	0.3	1	0.4	0.7
H28	242	－	0.0	0.3	－	0.0	0.6
H29	197	－	0.0	0.3	1	0.5	0.6
H30	230	2	0.9	0.3	2	0.8	0.6
R元	206	1	0.5	0.3	3	1.5	0.5
R2	57	－	0.0	0.3	－	0.0	0.5
R3	194	1	0.5		1	0.5	
R4	99	－	0.0		1	1.0	
合計	10,836	233	2.2		97	0.9	

事業の方向性

- 1 肝炎ウイルス検査の受診勧奨を徹底し、肝炎ウイルスの感染の有無について確認することが対策の第一歩となります。
- 2 肝炎に対する誤った知識による偏見をなくすために、正しい知識を周知していくことが大切です。
- 3 様々な事業を通じ、適切な受診行動につなげるための支援を継続していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

3 栄養改善事業

栄養教室

関連する行動計画	元気はつらつ紫波計画
評価項目	なし

栄養教室

食を通じた健康づくりボランティアとして健全な食生活を実践し、町民の健康づくりを推進する食生活改善推進員を養成します。

事業の内容

目 的	食生活改善推進員を養成すること
対 象 者	地域で食生活改善推進員として活動できる人
実施場所	古館公民館
実施期間	令和4年8月～10月
内 容	① 回数 5 回 ② 講座内容 ア 紫波町の健康づくり活動 イ 食生活改善推進員と地区組織活動 ウ 食中毒予防と食品衛生 エ 食生活の現状と課題、生活習慣病予防 オ 年代別の食育（離乳食と介護食） カ 栄養の基礎知識 キ 軽運動（筋力アップ） ク 試飲～塩分濃度の違いを知る～

事業の結果

令和4年度は受講者3名中2名が修了し、1名が食生活改善推進員となりました。

栄養教室実施結果	
栄養教室参加者数	3人
栄養教室修了者数	2名
栄養教室修了率	67%
食生活改善推進員加入率	50%

事業の分析

過去10年間の事業結果から、次のように分析します。

- 1 参加者数は減少傾向にあり、平成29年度以降10人を下回っています。
- 2 近年の食生活改善推進員協議会への加入率は、8割以上で推移しています。

栄養教室実施状況

単位：人、％

年度	参加者数	修了者数	修了率	食改協(※) 加入者数	加入率
H25	6	4	66.7	4	100.0
H26	15	13	86.7	12	92.3
H27	7	7	100.0	7	100.0
H28	15	12	80.0	11	91.7
H29	7	7	100.0	7	100.0
H30	8	8	100.0	6	75.0
R元	6	5	83.3	5	100.0
R2	—	—	—	—	—
R3	—	—	—	—	—
R4	3	2	66.7	1	50.0
計	64	56	88.1	52	94.1

※開催中止

※開催中止

※食生活改善推進員協議会

事業の方向性

- 1 今年度の受講者は少なかったが、栄養教室の修了率と食生活改善推進員協議会への加入率は向上しています。
- 2 今年度まで見合わせていた調理実習は、来年度から実施する予定としカリキュラムの見直しを行う。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

4 元気づくり事業

(1) ウォーキング事業

関連する行動計画	第三次元気はつらつ計画
評価項目	歩行または同等の身体活動（仕事、家事、農作業を含む）を1日に合計1時間以上している人の割合
目標値（R ）	90%
当該年度実績値	他のアンケートで実績値を確認するため調査対象外

令和4年度は荒天のため、ウォーキング事業の開催は中止しました。

【参考】

ウォーキング事業実施状況

単位：回、人

年度	事業の種類	参加者数
H23	元気はつらつウォーク（5）、冬季ウォーキング教室（2） まんず歩こうデイ（11）、初心者ウォーキング教室（1）	517
H24	元気はつらつウォーク（5）、冬季ウォーキング教室（2） まんず歩こうデイ（7）、初心者ウォーキング教室（1）	520
H25	元気はつらつウォーク（5）、冬季ウォーキング教室（2） お散歩ウォーキング（8）、正しい歩き方教室（1）	537
H26	元気はつらつウォーク（5）、冬季ウォーキング教室（2） 正しい歩き方教室（1）	382
H27	元気はつらつウォーク（5）、冬季ウォーキング教室（2） 正しい歩き方教室（1）	309
H28	元気はつらつウォーク（5）、冬季ウォーキング教室（1） 正しい歩き方教室（1）	237
H29	元気はつらつウォーク（5）、正しい歩き方教室（1）	252
H30	元気はつらつウォーク（3）、正しい歩き方教室（1）	115
R元	元気はつらつウォーク（4）、正しい歩き方教室（1）	97
R2	元気はつらつウォーク（1）、正しい歩き方教室（1）	39
R3	開催中止	－
R4	開催中止	－

※（）内は実施回数

事業の分析

令和4年度は事業を中止しましたが、今までの事業結果から、次のように分析します。

近年は、ウォーキング事業への参加者が固定化している状況です。

事業の方向性

- 1 手軽にできる運動としてウォーキングの楽しさと、自主的に運動をすることの大切さを伝えることを目的として、事業を展開していきます。
- 2 健康アプリを活用し、新規参加者を増やし、他の健康づくり事業についても周知していきます。



Ⅱ 保健事業の報告－１

４ 元気づくり事業

(２) 元気はつらつメンバーズ講座

関連する行動計画	第８期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	参加実人数
目標値（R4）	20人
当該年度実績値	5人

元気はつらつメンバーズ講座

「自分の健康は、自分で作り、維持する」という意識をもった『元気はつらつメンバー』を養成し、主体的に健康づくりができる人やその家族を増やしていきます。令和３年度はコロナ禍のため、開催を中止しましたが、令和４年度から再開しました。

【参考】

元気はつらつメンバーズ講座実施状況

年度	事業の種類	実施回数	受講人数	延受講人数
H30	総合コース	6	23	113
	エクササイズコース	10	52	254
R元	総合コース	6	34	171
	エクササイズコース	10	82	145
R2	総合コース	4	17	55
	エクササイズコース	2	14	14
R3	開催中止※	－	－	－
R4	総合コース	5	5	15

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止

事業の分析

今までの事業結果から、次のように分析します。

- 1 参加者の多くは60～70代の女性です。コロナ禍で、不安が多い現状に鑑み、令和2年度に初めて坐禅を取り入れました。心の健康を見つめる機会を設けることができ、参加者から好評を得ました。
- 2 令和4年度は、コロナ禍の状況で講座を再開しましたが、参加人数は非常に少ない結果となりました。
- 3 健康づくりの知識の普及や楽しい仲間づくりを通し、介護予防にも繋がる主要な講座です。



事業の方向性

- 1 健康づくりのための専門的な知識を、総合的に学べる講座として、広く町民に周知していきます。
- 2 介護予防も含む、第二次元気はつらつ紫波計画の7つの領域に基づいた講座内容を、引き続き計画していきます。
- 3 参加者の自主活動を促し、健康づくりへの意識の高まりが、家庭や地域に広がることを目指します。
- 4 習慣的な運動の機会に加え、心の健康の大切さも講座を通して周知していきます。

Ⅱ 保健事業の報告－１

５ 予防接種事業

(１) 定期予防接種

関連する行動計画	なし
----------	----

①定期予防接種（A類疾病）

定期予防接種は、予防接種法に基づき実施するものです。感染症の蔓延予防のためには、地域内の接種率を一定レベル以上に保ち、免疫水準を維持することが重要です。

事業の内容

目 的	感染症の蔓延を防ぐとともに、感染症の発症や重篤化を予防すること		
実施場所	契約医療機関（個別接種）		
実施期間	通年実施		
内 容 (対象者)	種 類		望ましい接種時期
	ロタ	(ロタリックス)	(２回接種) 生後６週以上24週未満
		(ロタテック)	(３回接種) 生後６週以上32週未満
	ヒブ		(初回) 生後２カ月以上７カ月未満 (追加) 初回終了後７カ月以上13カ月未満
	小児用肺炎球菌		(初回) 生後２カ月以上７カ月未満 (追加) 生後12カ月以上15カ月未満
	B型肝炎		生後２カ月以上９カ月未満
	四種混合		(初回) 生後３カ月以上12カ月未満
	不活化ポリオ		(追加) 初回終了後12カ月以上18カ月未満
	B C G		生後５カ月以上８カ月未満
	麻しん・風しん混合		(１期) 生後12カ月以上24カ月未満 (２期) 小学校就学前の１年間(５歳～６歳)
	水痘		(１回目) 生後12カ月以上15カ月未満 (２回目) １回目終了後６カ月以上12カ月未満
	日本脳炎		(１期初回) ３歳～４歳(１期追加) ４歳～５歳(２期) 小学４年生
	二種混合		小学６年生

事業の結果

- 日本脳炎の特例対象者について、平成19年４月２日～平成21年10月１日生の対象者は令和４年９月末で定期接種終了となりました。平成７年４月２日～平成19年４月１日生の対象者については、20歳未満まで引き続き継続となります。
- 子宮頸がんワクチンが令和４年４月１日から積極的勧奨が再開されました。対象者には個別通知にて周知し、結果、約１割の方が接種しています。
- 令和３～４年度の接種率は、新型コロナウイルスワクチン接種や感染のため、大きく低下しました。

事業の分析

過去5年間の予防接種事業結果から、次のように分析します。

- 1 1歳児を対象とする麻しん風しん混合ワクチン1期接種率、就学前に接種する2期の接種率ともに、90%以上の高い接種率で推移していますが、令和4年度は1期が82.9%に落ち込みました。
- 2 麻しん風しん混合ワクチンが高い接種率を維持している理由として、平成24年度までの「麻しん排除計画（5年間）」や平成25年度からの「麻しんに関する特定感染症予防指針」に基づく接種勧奨の強化が挙げられます。
また、成人の風しんが流行し、保護者に予防接種の重要性や関心が高まっていることが高い接種率の維持と考えられます。

単位：％

年度	麻しん風しん混合ワクチン接種率	
	1期	2期
H30	110.7	97.3
R元	100.0	91.5
R2	111.9	97.8
R3	84.8	100.4
R4	82.9	98.0

※ 接種率が100%を超える理由

対象者は各種類毎に定めており、ほぼ標準的接種期間としているが、接種者は、予防接種法の定められた年齢までとしている。また、通年接種である。

事業の方向性

- 1 予防接種の種類が増加と共に、子宮頸がんワクチン接種においては、接種間隔が複雑となり、対象者への分かりやすい丁寧な周知が必要です。また、協力医療機関においては、今後も安全な実施、接種率向上のために、適切な情報提供を行っていきます。
- 2 令和6年度は、風しんの追加的対策の最終年度の予定です。抗体検査及び接種率向上に向けて取り組んでいきます。
- 3 令和3～4年度にかけて、様々なワクチンの接種率が低下していましたが、接種率向上に向けて、今後も町内の保育施設等と連携し、予防接種の必要性を周知していきます。

【子宮頸がん予防ワクチンの勧奨再開】

ヒトパピローマウイルス（HPV）による子宮頸がん等の病気を予防する子宮頸がんワクチン接種は、副反応の問題等から平成25年度から令和3年度まで積極的な接種勧奨は差し控えされていました。

他方、子宮頸がんワクチン接種による副反応等への調査も進み、性能の高い子宮頸がんワクチンの新型ワクチンが開発され、世界においてワクチン接種は推進されてきました。

これらを受け、国では子宮頸がんワクチン接種の有益性と安全性の検討を行い、令和4年度から積極的勧奨が再開されました。

また、積極的勧奨の差し控えにより、定期種の対象年齢期間内において子宮頸がん接ワクチン予防接種の接種機会を逃した平成9年度から平成18年度生まれの対し、令和4年度から令和6年度まで接種を受けることができるキャッチアップまでの女性に接種が開始されました。

その他、平成9年度から平成18年度生まれまでの女性が対象年齢を過ぎてから自費で接種した際にその分の予防接種費を支給する取り組みも合わせて開始されました。

【子宮頸がん予防接種接種状況の推移】

年度	対象者		接種者			備考
	人数	対象学年（出生年度）	1回目	2回目	3回目	
H30	153	中1	5	5	2	
R元	184	中1	7	5	4	
R2	144	中1	25	17	14	
R3	558	中1～高校1年生	38	41	33	
R4	943	中1～平成9年度生まれ	221	188	130	積極的勧奨の再開、 キャッチアップ接種 実施

※ 対象者は女性に限る。

Ⅱ 保健事業の報告－１

５ 予防接種事業

(１) 定期予防接種

関連する行動計画	なし
----------	----

②定期予防接種（Ｂ類疾病）

Ｂ類の定期予防接種は、個人の感染症予防に重点をおいている予防接種で、接種を受ける法律上の義務がなく、接種者自らの意思で希望する者が対象となっている予防接種です。

事業の内容

目 的	感染症の発症や重篤化を予防すること
実施場所	契約医療機関（個別接種）
実施期間	① 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種 令和４年７月～令和５年３月 ② 高齢者インフルエンザ予防接種 令和４年１０月～令和５年１月
内 容 (対象者)	① 高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種 助成額：５,０００円（生活保護世帯は 全額公費負担） 対象※１： （１）年度内に６５歳・７０歳・７５歳・８０歳・８５歳・９０歳・ ９５歳・１００歳になる人 （２）６０歳以上６５歳未満で身体障害者手帳１級に該当する人※２ ② 高齢者インフルエンザ予防接種 助成額：２,２００円（生活保護世帯は、全額公費負担） 対象： （１）６５歳以上の高齢者 （２）６０歳以上６５歳未満で身体障害者手帳１級に該当する人※２

※１ 過去に接種歴のある者は、対象外となります。

※２ 心臓、じん臓、若しくは呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障がいをする者及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいをする者。

事業の結果

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種は、接種者３０２人（接種率２０．４％）でした。

高齢者インフルエンザ予防接種は、接種者数５,９４１人（接種率５６．６％）でした。

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種は、全体では2割強の接種率となりました。

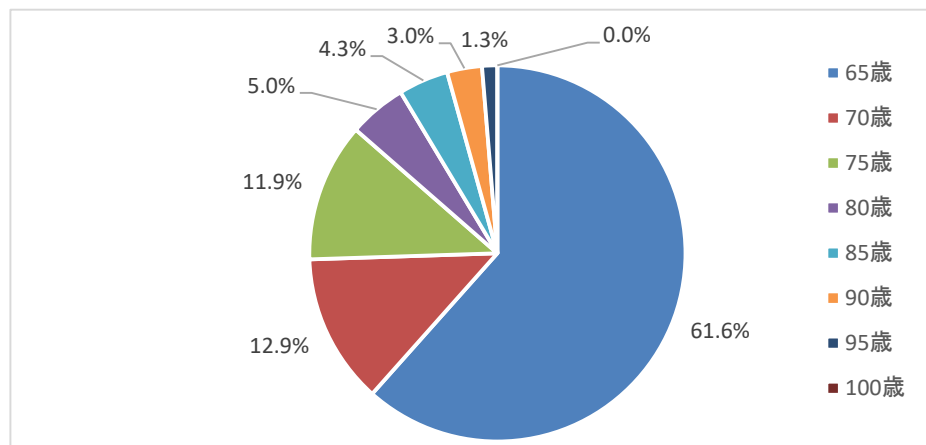
高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種年齢別接種率

単位：％

年度	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳	全体
R2	52.9	22.7	27.5	8.3	12.5	11.9	7.4	16.7	27.2
R3	51.8	27.6	19.6	12.4	7.4	9.9	16.7	25.0	25.6
R4	41.2	17.8	16.0	10.0	6.1	5.4	7.8	0.0	20.4

接種率内訳（年齢別）

年齢	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳
接種率内訳	61.6%	12.9%	11.9%	5.0%	4.3%	3.0%	1.3%	0.0%



事業の方向性

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種との接種期間を確保するため、例年よりも高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種の開始時期を遅くしましたが、協力医療機関との情報共有や丁寧な周知により大きな混乱もなく実施することができました。
今後も安全な実施、接種率向上のために、適切な情報提供を行っていきます。
- 2 平成30年度から広域的予防接種事業が開始となり、県内にある広域的予防接種事業参加医療機関でも予防接種が可能となっています。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

5 予防接種事業

(2) 任意予防接種

関連する行動計画	なし
----------	----

任意予防接種

小児の感染症の重症化や合併症を予防するため、接種費用の一部を助成しています。

事業の内容

目 的	感染症の発症や重篤化を予防すること
実施場所	契約医療機関（個別接種）
実施期間	① 小児インフルエンザ予防接種 令和4年10月～令和5年1月 ② おたふくかぜワクチン予防接種 令和5年4月～令和5年3月
内 容 (対象者)	① 小児インフルエンザ予防接種 助成額：1回 2,200円（生活保護世帯は、全額公費負担） 対 象：6カ月～中学校3年生相当年齢 ② おたふくかぜワクチン予防接種 助成額：1回 4,000円（生活保護世帯は、全額公費負担） 対 象※：1歳～2歳未満

※ 過去に接種歴のある者、過去に罹患したことのある者は対象外となります。

事業の結果

- 1 小児インフルエンザ予防接種は、延べ接種者数3,400人（うち1回目接種率50.1%）でした。
- 2 おたふくかぜワクチン予防接種者数は217人でした。

事業の分析

過去の事業結果から、次のように分析します。

小児インフルエンザワクチン予防接種とおたふくかぜワクチン予防接種は、引き続き委託事業として接種料金の助成を行いました。

任意予防接種の接種件数

単位：件

年度	小児インフルエンザ		おたふくかぜ
	1回目	2回目	
R2	2,744	1,919	205
R3	2,243	1,695	160
R4	1,966	1,434	217

事業の方向性

- 1 感染症対策として住民のニーズが増大していることから、小児インフルエンザ予防接種、おたふくかぜワクチン予防接種以外の任意予防接種についても適切な情報提供を行います。
- 2 任意予防接種の影響で定期予防接種の接種が遅れることのないように、個々の状況にあわせた適切な支援が必要となります。

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

6 町民医療事業

献血推進事業

関連する行動計画	なし
----------	----

献血推進事業

岩手県内で必要とされる輸血用血液を医療機関に安定的に供給できるよう、関係機関と連携し、効率的な献血の実施を行います。

また、献血の正しい知識や必要性について、理解していただくための普及啓発を行います。

事業の内容

目 的	①効率的な献血を行うこと
	②献血に関する正しい知識、必要性の普及を図ること
対 象 者	一般住民
実施場所	5 か所
実施期間	令和4年4月～令和5年3月

事業の結果

501人の方から献血協力の申し出があり、うち438人に献血をしていただきました。

事業の分析

献血への協力者数は少しずつ増えていますが、若い世代の献血協力者が少なく、今後の安定供給に支障をきたすおそれがあります。

事業の方向性

町内の各種団体と協力し、献血の必要性の周知を図っていき、献血を呼びかけていきます。

1 令和4年度の献血実績

(1) 献血者数

単位：人

No.	実施日	受付	200cc	400cc	献血者	不適
1	4月28日	41	0	36	36	5
2	5月13日	33	0	28	28	5
3	6月19日	51	1	40	41	10
4	7月15日	38	1	32	33	5
5	8月11日	34	0	33	33	1
6	9月28日	45	0	43	43	2
7	10月22日	42	0	36	36	6
8	11月18日	31	0	24	24	7
9	1月8日	48	0	41	41	7
10	1月19日	48	1	49	50	4
11	2月19日	58	1	47	48	10
12	3月19日	32	2	23	25	7
	実績	501	6	432	438	69

※年間実施回数 12回

(2) 献血実施会場

No.	会場
1	紫波町役場
2	盛岡南ショッピングセンター ナックス
3	紫波警察署
4	日詰商店街
5	紫波町情報交流館

2 献血実績の推移

No.	年度	受付	200cc	400cc	献血者	不適
1	H30	448	4	386	390	58
2	R元	357	6	308	314	43
3	R2	478	8	409	417	61
4	R3	497	9	418	427	70
5	R4	501	6	432	438	69

Ⅱ 保健事業の報告－1

7 後期高齢者保健事業

(1) 後期高齢者健康診査事業

① 後期高齢者健康診査

関連する行動計画	なし
----------	----

後期高齢者健康診査の結果をもとに、自分の生活習慣を見直し改善していくことが生活習慣病の予防につながります。

事業の内容

目 的	① 生活習慣病の早期発見による重症化予防、健康の保持増進をすること
対 象 者	75歳以上の後期高齢者医療保険加入者
実施場所	＜集団＞はつらつホール
実施期間	＜集団＞5～6月（15日間）、11月（4日間）
内 容	＜必須項目＞ ① 服薬歴・喫煙習慣の状況等 ② 理学的検査（身体診察） ③ 身体計測（身長・体重・BMI） ④ 血圧測定 ⑤ 肝機能（AST・ALT・γ-GTP） ⑥ 脂質検査（中性脂肪・HDL-C・LDL-C） ⑦ 血糖検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c） ⑧ 尿検査（尿糖・尿タンパク） ⑨ 高齢者の質問票

事業の結果

令和4年度における受診者数は1,100人で、令和3年度（947人）より153人増えています。

年度	後期高齢者健康診査受診状況者						
	被保険者 (A)	対象者数 (B)	受診者数 (C)	男	女	受診率(C/A)	受診率(C/B)
H30	5,004	2,047	1,156	524	632	23.1	56.5
R元	5,115	2,398	1,216	558	658	23.8	50.7
R2	5,162	4,691	444	217	227	8.6	9.5
R3	5,137	4,504	947	452	495	18.4	21
R4	5,276	4,663	1,100	538	532	20.9	23.6

【出典】岩手県後期高齢者医療広域連合保健事業概要報告より

令和2年度から対象除外者が改定。対象者（B）は被保険者から対象除外者を差し引いた人数

事業の分析

コロナ禍において、一時受診者数が減少しましたが、昨年度はコロナ禍前の受診者数に戻りつつあります

事業の方向性

できるだけ長く健康で自立した生活を送るため年1回の、健康診査を勧奨し、生活習慣病の早期発見や、重症化予防につなげていく必要があります。

※ 本事業には行動計画は策定されていませんが、県の策定した岩手県後期高齢者保健事業計画に各市町村の目標値等が定められています。

町の目標値等は次のとおりです。

評価項目	後期高齢者健康診査受診率
目標値（R4）	50%（岩手県後期高齢者保健事業計画）
当該年度実績値	23.1%（岩手県後期高齢者医療広域連合R4実績報告より）

Ⅱ 保健事業の報告－ 1

7 後期高齢者保健事業

(2) 後期高齢者歯科健康診査

関連する行動計画	第8期元気はつらつ高齢者計画
評価項目	後期高齢者歯科健康診査受診者数
目標値（R4）	60人
当該年度実績値	56人

後期高者歯科健康診査

健康で丈夫な歯を1本でも多く保つためには、定期的な健康診査が重要です。

事業の内容

目 的	① 歯周疾患を予防すること ② 口腔内清掃の習慣化を図ること
対 象 者	前年度75歳になる町民
実施場所	県内歯科医療機関
実施期間	令和4年6月～令和4年12月
内 容	① 歯科健康診査 ② う歯及び歯周疾患予防に関する歯科保健指導

事業の結果

令和4年度の受診者数は56人（前年度は35人）でした。

事業の分析

コロナ禍においても受診者数は増えており、歯の健康に対する意識の高さが考えられます。

事業の方向性

歯の健康を保つためには、若い年齢のうちから自分の口腔衛生に関心を持ち、正しい行動が身に付くことが必要です。

Ⅲ 保健事業の報告－2【事業統計】

Ⅲ 保健事業の報告－2

1 母子保健事業

(1) 妊娠届

① 年度別妊娠届出

単位：人、％

年度	日 詰	古 館	水 分	志 和	赤 石	彦 部	佐比内	赤 沢	長 岡	合 計	11週以内 の届出(再掲)	
H25	46	53	8	26	53	9	3	4	8	210	178	84.8
H26	41	61	5	14	53	8	7	2	7	198	167	84.3
H27	33	51	5	27	53	9	5	6	5	194	178	91.8
H28	41	52	5	17	59	6	2	5	5	192	179	93.2
H29	36	50	5	10	55	5	5	6	9	181	171	94.5
H30	45	47	5	16	55	8	2	4	4	186	185	99.5
R元	37	45	6	15	56	3	3	5	5	175	165	94.3
R2	35	41	2	9	71	4	5	4	3	174	161	92.5
R3	36	48	3	10	83	9	2	1	8	200	185	92.5
R4	39	47	6	6	70	4	2	1	2	177	168	94.9

② 年齢区分別・地区別・初産経産別妊娠届数

単位：人、％

年度	年齢	区分	日 詰	古 館	水 分	志 和	赤 石	彦 部	佐比内	赤 沢	長 岡	小計	合計	割合	
R2	19歳以下	初産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
		経産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	20～29歳	初産	7	6	1	2	15	1	0	1	1	34	69	39.7	
		経産	3	10	0	3	15	0	3	1	0	35			
	30歳以上	初産	10	4	1	1	12	0	1	1	1	31	105	60.3	
		経産	15	21	0	3	29	3	1	1	1	74			
	計			35	41	2	9	71	4	5	4	3	174	174	100
	R3	19歳以下	初産	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1.0
経産			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
20～29歳		初産	9	10	0	1	17	3	0	0	2	42	80	40.0	
		経産	4	10	1	1	22	0	0	0	0	38			
30歳以上		初産	8	10	1	4	13	4	0	0	2	42	118	59.0	
		経産	13	18	1	4	31	2	2	1	4	76			
計			36	48	3	10	83	9	2	1	8	200	200	100	
R4		19歳以下	初産	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1.7
	経産		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	20～29歳	初産	9	10	0	1	13	2	1	0	0	36	70	39.5	
		経産	2	10	0	1	17	0	1	1	2	34			
	30歳以上	初産	14	7	2	2	13	0	0	0	0	38	104	58.8	
		経産	13	18	4	2	27	2	0	0	0	66			
	計			39	47	6	6	70	4	2	1	2	177	177	100

(2) ぴよこちゃん教室（幼児教室）

① 実施状況

実施日	会 場	内 容	参加者(人)		スタッフ(人)
			子	親	
8月10日	はつらつホール	開校式・ママカフェ	2	2	4
9月21日	〃	散歩	2	2	3
10月12日	〃	ボウリング大会	2	2	4
11月30日	〃	ミニ運動会	1	1	4
12月21日	〃	製作・クリスマス会	3	3	4
1月27日	〃	お正月あそび	4	4	4
2月8日	〃	鬼退治・ママカフェ	3	3	4
3月3日	〃	製作・卒業式	3	3	4
計8回			20	20	31

- ・年間4組、延べ40人の親子が参加（令和3年度 4組 延べ22人）
- ・教室1回あたりの子どもの参加人数 2.5人 （令和3年度 2.8人）

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

1 母子保健事業

(3) 妊婦歯科健康診査

年 齢	受診者数	歯磨きの回数/日				自覚症状											
		1 回	2 回	3 回	未 記入	出 血		し み る	割 合	物 が は さ ま り や す い	割 合	か み に く い	割 合	歯 が 動 く	割 合	口 臭 が あ る	割 合
						常 時 あ る	時 々 あ る										
20歳以下	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21～25歳	12	0	9	3	0	0	6	3	25	6	50	2	17	2	17	1	8
26～30歳	39	1	21	17	0	2	14	17	44	24	62	1	3	0	0	11	28
31～35歳	29	1	20	8	0	1	18	9	31	11	38	2	7	1	3	10	34
36～40歳	13	2	8	3	0	0	5	4	31	8	62	2	15	0	0	6	46
41歳以上	1	0	1	0	0	0	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	97	4	60	33	0	3	44	34		49		7		3		28	
割合		4.1	61.9	34.0		3.1	45.4	35.1		50.5		7.2		3.1		28.9	

前年度分（参考）

合計	92	9	49	34	0	6	36	33		45		6		0		35	
割合		9.8	53.3	37.0		6.5	39.1	35.9		48.9		6.5		0.0		38.0	

単位：人、本、%

歯の状況 (平均本数)					歯周疾患の状況 ※新C P I 基準による判定(H29以降)									結 果					
					歯肉出血(BOP)				歯周ポケット(PD)										
現存歯数	健全歯数	処置歯数	未処置歯数	喪失歯数	0	1	9	X	0	1	2	9	X	健康	定期健康診査の勧め	要受診	う歯あり	歯槽膿漏あり	その他
					健全	出血あり	除外歯	該当する歯なし	健全	4〜5mmに達するポケット	6mmを越えるポケット	除外歯	該当する歯なし						
28	23	2	3	0.0	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	1	2	2	2	0
28	21	5	3	0.3	3	9	0	0	5	7	0	0	0	2	4	6	6	5	0
29	22	5	2	0.8	10	29	0	0	11	20	8	0	0	3	9	27	17	18	0
28	17	10	1	0.2	6	23	0	0	15	11	3	0	0	1	12	16	11	9	0
28	15	11	1	0.3	6	7	0	0	3	8	2	0	0	0	5	8	6	6	0
28	8	16	4	0.0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0
29	20	7	2	0.3	27	70	0	0	35	49	13	0	0	7	32	60	43	41	0
					27.8	72.2	0	0	36.1	50.5	13.4	0	0	7.2	33.0	61.9	44.3	42.3	0.0

29	20	7	2	0.3	25	66	0	0	33	53	5	0	0	8	20	62	52	53	0	0
						27.2	71.7	0	0	35.9	57.6	5.4	0.0	0.0	8.7	21.7	67.4	56.5	34.8	0.0

Ⅲ 保健事業の報告－2

1 母子保健事業

(4) 1歳6カ月児健康診査

① 内科診察

項目 地区	対象者	受診者	受診率	発育状況					結果						身体所見		
				肥満度					異常なし	要指導	要観察	要精密	要医療	管理中	肢体不自由	運動発達の遅れ	眼
				+20%以上	+15%～+20%未満	-15%～+15%未満	-15%～-20%未満	-20%以下									
日 詰	32	31	96.9	1	1	28	0	0	22	0	4	1	0	4	0	1	0
古 館	55	54	98.2	1	4	50	0	0	37	2	9	1	0	5	0	0	0
水 分	1	1	100.0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
志 和	10	10	100.0	0	0	10	0	0	8	0	2	0	0	0	0	0	0
赤 石	101	96	95.0	2	7	87	0	0	63	3	14	4	0	12	1	0	3
彦 部	6	5	83.3	0	1	4	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0
佐比内	4	4	100.0	0	0	4	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0
赤 沢	5	5	100.0	1	1	3	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0
長 岡	3	3	100.0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	217	209	96.3	5	14	190	0	0	144	6	31	6	0	22	1	1	3
											再掲	要観察			0	1	0
												要精密			0	0	0
												要医療			0	0	0
												管理中			0	0	2
R3	204	195	95.6	5	7	182	1	0	143	0	24	1	0	17	0	1	2
R2	236	233	98.7	3	8	221	1	0	168	1	31	10	0	23	0	2	4

② 歯科診察

単位：人、％

項目 地区	対象者	受診者	むし歯のある者					むし歯の数					不正咬合	口腔軟組織異常
			むし歯有病者数	むし歯有病者率	型別			むし歯総数	一人平均	処置者数	処置率	処置歯数		
					A	B	C							
日 詰	32	24	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	4	0
古 館	55	54	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	16	0
水 分	1	1	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	1	0
志 和	10	7	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	2	0
赤 石	101	82	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	21	0
彦 部	6	3	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	1	0
佐比内	4	4	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
赤 沢	5	5	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
長 岡	3	3	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
合計	217	183	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	45	0
R3	204	178	1	0.6	1	0	0	1	0.01	1	0	16	23	1
R2	236	212	8	3.8	7	1	0	20	0.09	0	0	0	24	2

単位：人・％

身体所見												精神面所見					育児・生活環境				
耳鼻科	泌尿器	心臓	整形外科	栄養	皮膚	アレルギー	内訳			けいれん	その他	計	言語の遅れ	自閉的傾向	精神発達の遅れ	その他	計	生活習慣	母の心理状態	その他	計
							喘息	アトピー	食物アレルギー												
0	0	2	1	0	0	4	2	0	1	0	0	8	0	0	1	0	1	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	5	1	1	3	0	3	9	7	0	1	0	8	0	1	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
0	0	1	3	1	2	5	0	1	4	0	10	26	3	0	0	0	3	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	3	4	2	3	14	3	2	8	0	14	46	12	0	2	0	14	0	1	0	1
0	0	0	0	4	0	0				0	3	8	11	0	3	2	16				
0	0	0	1	0	0	0				0	1	0	0	0	0						
0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0						
1	1	0	0	0	3	2				0	5	14	0	0	0	0					
1	1	0	1	4	3	2	0	0	2	0	11	26	11	0	3	2	16	0	6	0	6
0	1	1	6	1	0	10	5	1	3	0	14	39	20	0	2	3	25	0	1	0	1

※実人数

Ⅲ 保健事業の報告－２

１ 母子保健事業

（５）３歳児健康診査

① 内科診察

項目 地区	対象者数	受診者数	受診率	発育状況 (肥満度)					健康管理上注意すべきもの									
				-20 % 以下	-15 ～ -20 % 未満	-15 ～ 15 % 未満	15 ～ 20 % 未満	20 % 以上	1 肢 体 不 自 由	2 眼 疾 患	3 耳 鼻 科 疾 患	内訳		4 泌 尿 器 疾 患	5 心 臓 疾 患	6 栄 養 疾 患	7 皮 膚 疾 患	8 ア レ ル ギ ー 疾 患
												先天性難聴	滲出性中耳炎					
日 詰	60	55	91.7	0	0	54	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2
古 館	61	59	96.7	0	0	55	1	3	0	1	0	0	0	1	0	2	1	5
水 分	15	15	100.0	0	0	13	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
志 和	18	17	94.4	0	1	15	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤 石	93	83	89.2	0	0	78	5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5
彦 部	10	9	90.0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
佐比内	3	2	66.7	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
赤 沢	6	6	100.0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長 岡	5	5	100.0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	271	251	92.6	0	1	236	10	4	0	2	0	0	0	3	0	3	4	16
要観察									0	1	0			0	0	3	0	2
要精密									0	1	0			3	0	0	1	0
要治療									0	0	0			0	0	0	0	0
治療中									0	0	0			0	0	0	3	14
紹介状									0	1	0			3	0	0	0	0
R3	275	262	95.3	0	1	249	8	3	0	9	3	0	2	1	1	0	2	14
R2	274	261	95.3	0	2	237	12	9	4	9	7	0	1	3	0	1	6	13

② 歯科診察

項目 地区	対象者数	受診者数	受診率	むし歯のある者						むし歯の数							
				むし 歯 有 病 者 数	むし 歯 有 病 者 率	A	B	C1	C2	むし 歯 総 数	未 処 置 歯 数					処置歯	
												C1	C2	C3	C4	処置 歯 数	処置 率
日 詰	60	42	70.0	3	7.1	2	1	0	0	15	12	12	0	0	0	3	2.4
古 館	61	52	85.2	5	9.6	4	1	0	0	16	16	6	10	0	0	0	0.0
水 分	15	12	80.0	2	16.7	2	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0.0
志 和	18	17	94.4	3	17.6	1	1	0	1	16	14	3	11	0	0	2	5.9
赤 石	93	73	78.5	6	8.2	5	1	0	0	12	9	5	4	0	0	3	4.1
彦 部	10	9	90.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
佐比内	3	3	100.0	2	66.7	1	1	0	0	11	7	5	2	0	0	4	33.3
赤 沢	6	4	66.7	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
長 岡	5	3	60.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	271	215	79.3	21	9.8	15	5	0	1	73	58	31	30	0	0	12	2.8
R3	275	219	79.6	23	10.5	15	6	0	2	71	55	21	15	0	0	16	2.7
R2	274	233	85.0	24	10.3	20	4	0	0	78	59	28	16	0	0	19	2.1

※むし歯の進行度、不正咬合の区分について受診票に記入されていないものは集計に含まれない

単位：人、％

(身体面)					健康管理上注意すべきもの（精神面）								合 計
内訳			9 その他	有所見者実数	10 言語障害	11 情緒面	内訳			12 養育環境等	13 その他	有所見者実数	
気管支喘息	食物アレルギー	アトピー性皮膚					自閉的傾向	精神機能発達異常	多動				
0	1	1	6	11	1	1	0	0	1	0	2	4	15
3	1	0	4	14	1	3	0	0	3	0	5	9	23
0	0	0	1	4	2	0	0	0	0	0	0	2	6
0	0	0	2	2	0	1	0	0	1	0	0	1	3
2	2	0	3	11	3	4	0	0	3	0	5	12	23
0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	3
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5	4	1	17	45	8	10	0	0	8	0	12	30	75
			5	11	5	8				0	7	20	31
			0	5	2	1				0	0	3	8
			0	0	0	0				0	0	0	0
			12	29	1	1				0	5	7	36
			0	5	2	1				0	0	3	8
3	1	2	25	55	12	14	1	0	12	0	14	40	95
2	3	0	25	68	9	18	2	4	12	0	4	99	151

単位：人、％

一人平均	不正咬合のある者										口腔軟組織疾患				事故（手術）	フッ素塗布者数
	総数		区分													
	実数	出現率	a	b	c	d	e	f	g	h	L	率	S	率		
0.4	4	9.5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	39
0.3	12	23.1	1	7	1	1	0	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	51
0.3	5	41.7	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	11
0.9	6	35.3	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	16
0.2	13	17.8	3	4	4	2	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	69
0.0	3	33.3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	9
3.7	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	2
0.0	1	25.0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	4
0.0	1	33.3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	3
0.3	45	20.9	9	21	7	4	0	0	4	0	0	0.0	0	0.0	0	204
0.3	33	15.1	7	15	2	3	0	3	2	0	0	0.0	0	0.0	0	214
0.3	37	15.9	6	12	6	7	0	3	2	0	0	0.0	0	0.0	0	224

Ⅲ 保健事業の報告－2

1 母子保健事業

(6) 2歳6カ月児歯科健康診査

単位：人、%

項目 地区	対象者	受診者	むし歯のある者					むし歯の数					不正咬合	口腔軟組織異常
			むし歯有病者数	むし歯有病者率	型別			むし歯総数	一人平均	処置者数	処置率	処置歯数		
					A	B	C							
日 詰	37	24	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	7	0
古 館	50	49	2	4.1	1	1	0	7	0.14	1	0.02	1	15	0
水 分	7	7	2	28.6	2	0	0	3	0.43	0	0.00	0	1	0
志 和	17	13	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	3	0
赤 石	88	78	1	1.3	0	1	0	5	0.06	1	0.01	1	20	0
彦 部	5	4	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	2	0
佐比内	3	3	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
赤 沢	2	2	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	1	0
長 岡	5	3	0	0.0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0
合計	214	183	5	2.7	3	2	0	15	0.08	2	0.01	2	49	0
R2	236	212	14	6.6	11	2	0	35	0.17	0	0.00	0	29	0

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(2) 特定健康診査-2

① 地区別

項目 地区	LDL-コレステロール				中性脂肪				肝機能検査									ヘモグロビン（貧血）			
	正常	境界値	%低値	%高値	正常	境界値	低値	%高値	AST			ALT			γ-GTP			正常	境界値	高値	%低値
									正常	境界値	%高値	正常	境界値	%高値	正常	境界値	%高値				
日 詰	185	108	1.0 4	22.0 84	277	81	0	6.0 23	331	40	2.6 10	339	27	3.9 15	322	38	5.5 21	308	60	3	2.6 10
古 館	289	154	1.0 6	25.2 151	441	123	1	5.8 35	527	65	1.3 8	523	53	4.0 24	508	71	3.5 21	470	110	1	3.2 19
水 分	89	31	1.4 2	16.4 24	109	29	0	5.5 8	115	28	2.1 3	122	20	2.7 4	126	15	3.4 5	118	20	1	4.8 7
志 和	148	61	1.4 4	22.8 63	172	84	1	6.9 19	234	36	2.2 6	227	39	3.6 10	232	33	4.0 11	224	46	1	1.8 5
赤 石	223	103	1.2 5	21.4 90	311	83	0	6.4 27	367	38	3.8 16	358	41	5.2 22	347	56	4.3 18	347	63	3	1.9 8
彦 部	78	36	0.7 1	15.4 21	105	26	0	3.7 5	121	13	1.5 2	119	15	1.5 2	117	16	2.2 3	110	24	2	0.0 0
佐比内	71	22	2.5 3	19.3 23	93	20	0	5.0 6	100	19	0.0 0	109	9	0.8 1	102	12	4.2 5	94	19	0	5.0 6
赤 沢	71	31	4.5 6	19.4 26	98	22	0	10.4 14	113	17	3.0 4	113	14	5.2 7	116	11	5.2 7	104	24	0	4.5 6
長 岡	75	23	1.6 2	20.6 26	100	20	0	4.8 6	103	20	2.4 3	107	14	4.0 5	104	13	7.1 9	94	27	1	3.2 4
合計	1,229	569	1.4 33	21.7 508	1,706	488	2	6.1 143	2,011	276	2.2 52	2,017	232	3.8 90	1,974	265	4.3 100	1,869	393	12	2.8 65

② 年齢階級別

40～44歳	43	16	2.7 2	16.4 12	53	15	0	6.8 5	58	12	4.1 3	53	11	12.3 9	55	11	9.6 7	60	8	0	6.8 5
45～49歳	46	15	0.0 0	24.7 20	59	13	0	11.1 9	70	7	4.9 4	59	14	9.9 8	62	10	11.1 9	57	22	0	2.5 2
50～54歳	33	28	0.0 0	25.6 21	60	16	0	7.3 6	72	8	2.4 2	67	8	8.5 7	69	6	8.5 7	59	16	0	8.5 7
55～59歳	46	18	5.3 5	27.4 26	73	15	0	7.4 7	81	10	4.2 4	78	11	6.3 6	78	9	8.4 8	79	13	2	1.1 1
60～64歳	125	57	0.4 1	29.6 77	198	46	0	6.2 16	231	21	3.1 8	227	25	3.1 8	210	39	4.2 11	212	43	0	1.9 5
65～69歳	319	143	1.1 7	24.0 148	437	141	1	6.2 38	525	79	2.1 13	533	61	3.7 23	514	76	4.4 27	500	106	5	1.0 6
70～74歳	617	292	1.6 18	18.0 204	826	242	1	5.5 62	974	139	1.6 18	1,000	102	2.6 29	986	114	2.9 31	902	185	5	3.4 39
合計	1,229	569	1.4 33	21.7 508	1,706	488	2	6.1 143	2,011	276	2.2 52	2,017	232	3.8 90	1,974	265	4.3 100	1,869	393	12	2.8 65

※年齢基準日：令和5年3月31日

※集団検診を受けた者の集計である。

※対象者は令和5年3月末現在での国保加入者。

※判定基準は、岩手県予防医学協会の基準値によるものである。

心電図			眼底				クレアチニン			項目	検査総数			C判定者の数			
正常	軽度所見	%高度所見	正常	軽度所見	%高度所見	判定不能	正常	境界値	%高値		男	女	合計	男	女	合計	
226	121	8.7 33	329	26	5.0 19	5	293	84	1.0 4	血圧	1,004	1,335	2,339	38.1 383	38.7 516	38.4 899	
375	181	7.2 43	533	35	3.5 21	4	425	169	1.0 6	糖代謝	血糖	1,004	1,335	2,339	4.8 48	1.4 19	2.9 67
90	47	6.2 9	115	26	2.8 4	0	110	33	2.1 3		尿糖	1,003	1,334	2,337	107.0 107	2.8 38	6.2 145
172	83	6.9 19	233	21	6.6 18	0	197	72	2.5 7		ヘモグロビンA1c	1,004	1,335	2,339	11.9 119	6.5 87	8.8 206
259	133	6.4 27	359	29	5.8 24	4	308	97	3.8 16	尿蛋白	1,003	1,334	2,337	5.1 51	1.3 17	2.9 68	
86	41	6.6 9	114	13	5.2 7	0	97	37	1.5 2	脂質	HDL	1,004	1,335	2,339	1.6 16	0.4 5	0.9 21
60	49	8.4 10	103	10	4.2 5	1	88	27	3.4 4		LDL	1,004	1,335	2,339	18.8 189	26.4 352	23.1 541
91	33	7.5 10	104	18	5.3 7	2	95	37	1.5 2		中性脂肪	1,004	1,335	2,339	8.6 86	4.4 59	6.2 145
75	41	7.2 9	97	16	7.2 9	3	92	27	5.6 7	貧血	1,004	1,335	2,339	3.8 38	2.9 39	3.3 77	
1,434	729	7.2 169	1,987	194	4.9 114	19	1,705	583	2.2 51	心電図	1,003	1,329	2,332	10.4 104	4.9 65	7.2 169	

58	14	1.4 1	71	1	0.0 0	0	58	15	0.0 0	肝機能	AST	1,004	1,335	2,339	3.2 32	1.5 20	2.2 52
58	18	6.2 5	77	3	1.2 1	0	67	12	2.5 2		ALT	1,004	1,335	2,339	6.3 63	2.0 27	3.8 90
61	19	1.2 1	80	1	1.2 1	0	64	17	1.2 1		r - GTP	1,004	1,335	2,339	7.7 77	1.7 23	4.3 100
65	26	4.2 4	85	7	2.1 2	0	73	22	0.0 0	眼底検査	998	1,316	2,314	5.0 50	4.9 64	4.9 114	
177	64	6.9 18	227	15	5.4 14	2	177	77	2.3 6	B M I	低値	1,004	1,335	2,339	3.0 30	7.3 97	5.4 127
396	180	6.3 39	521	49	5.6 34	6	449	157	1.8 11		高値				40.4 406	28.2 377	33.5 783
619	408	8.9 101	926	118	5.5 62	11	817	283	3.1 31	腹囲	1,004	1,335	2,339	53.4 536	18.4 245	33.4 781	
1,434	729	7.2 169	1,987	194	4.9 114	19	1,705	583	2.2 51	クレアチニン	1,004	1,335	2,339	3.3 33	1.3 18	2.2 51	

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(3) 若年者健康診査-1

① 若年者健康診査（35～39歳）

項目 地区	対象者	受診者			総合判定				BMI			腹囲		血圧		
		男	女	計	%				正常	低値	%高値	正常	%高値	正常	境界値	%高値
					A1	A2	B	C								
日 誌	367	6	19	25	24.0 6	4.0 1	40.0 10	32.0 8	8	2	60.0 15	16	36.0 9	21	3	4.0 1
古 館	497	6	8	14	28.6 4	21.4 3	35.7 5	14.3 2	11	1	14.3 2	11	21.4 3	13	1	0.0 0
水 分	57	0	2	2	50.0 1	50.0 1	0.0 0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0.0 0	2	0	0.0 0
志 和	168	3	2	5	20.0 1	0.0 0	20.0 1	60.0 3	2	0	60.0 3	2	60.0 3	4	0	20.0 1
赤 石	534	3	13	16	18.8 3	0.0 0	62.5 10	18.8 3	9	2	31.3 5	14	12.5 2	15	0	6.3 1
彦 部	65	3	1	4	25.0 1	0.0 0	25.0 1	50.0 2	2	0	50.0 2	3	25.0 1	3	1	0.0 0
佐比内	34	1	0	1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0	0	100.0 1	0	100.0 1	0	1	0.0 0
赤 沢	47	1	4	5	20.0 1	0.0 0	80.0 4	0.0 0	3	0	40.0 2	3	40.0 2	4	0	20.0 1
長 岡	55	1	1	2	0.0 0	0.0 0	50.0 1	50.0 1	1	0	50.0 1	1	50.0 1	2	0	0.0 0
合計	1,824	24	50	74	23.0 17	6.8 5	43.2 32	27.0 20	38	5	41.9 31	52	29.7 22	64	6	5.4 4

② 健康診査（生保等）年齢階級別

40～44歳	0	1	1	0.0 0	0.0 0	100.0 1	0.0 0	0	0	100.0 1	0	100.0 1	0	1	0.0 0
45～49歳	0	0	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0.0 0	0	0	0.0 0
50～54歳	0	1	1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 1	1	0	0.0 0	1	0.0 0	1	0	0.0 0
55～59歳	0	0	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0.0 0	0	0	0.0 0
60～64歳	2	1	3	0.0 0	0.0 0	100.0 3	0.0 0	3	0	0.0 0	3	0.0 0	2	1	0.0 0
65～69歳	4	4	8	0.0 0	12.5 1	62.5 5	25.0 2	4	0	42.9 3	3	57.1 4	2	2	42.9 3
70～74歳	4	4	8	0.0 0	0.0 0	50.0 4	50.0 4	7	0	12.5 1	5	37.5 3	2	3	37.5 3
75～79歳	0	2	2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	100.0 2	0	0	100.0 2	0	100.0 1	0	0	100.0 2
80歳以上	0	0	0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0.0 0	0	0	0.0 0
合計	10	13	23	0.0 0	4.3 1	56.5 13	39.1 9	15	0	31.8 7	12	42.9 9	7	7	36.4 8

※年齢基準日：令和5年3月31日

血糖				尿糖			ヘモグロビンA1c			尿蛋白			
正常	境界値	低値	%高値	正常	弱陽性	%陽性	正常	境界値	%高値	正常	弱陽性	%陽性	判定保留
25	0	0	0.0 0	25	0	0.0 0	19	6	0.0 0	25	0	0.0 0	0
14	0	0	0.0 0	14	0	0.0 0	13	1	0.0 0	13	0	7.1 1	0
2	0	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0	0.0 0	0
5	0	0	0.0 0	4	0	20.0 1	3	2	0.0 0	5	0	0.0 0	0
16	0	0	0.0 0	15	1	0.0 0	15	1	0.0 0	16	0	0.0 0	0
4	0	0	0.0 0	4	0	0.0 0	4	0	0.0 0	4	0	0.0 0	0
1	0	0	0.0 0	1	0	0.0 0	1	0	0.0 0	1	0	0.0 0	0
5	0	0	0.0 0	5	0	0.0 0	5	0	0.0 0	5	0	0.0 0	0
2	0	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0	0.0 0	0
74	0	0	0.0 0	72	1	1.4 1	64	10	0.0 0	73	0	1.4 1	0

1	0	0	0.0 0	1	0	0.0 0	0	1	0.0 0	1	0	0.0 0	0
0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0
0	1	0	0.0 0	0	0	0.0 0	1	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0
0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0
3	0	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	1	0.0 0	2	0	0.0 0	0
8	0	0	0.0 0	7	0	0.0 0	4	4	0.0 0	7	0	0.0 0	0
7	1	0	0.0 0	5	0	0.0 0	1	6	12.5 1	4	1	0.0 0	0
2	0	0	0.0 0	2	0	0.0 0	0	2	0.0 0	1	0	50.0 1	0
0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0
21	2	0	0.0 0	17	0	0.0 0	8	14	4.3 1	15	1	0.0 1	0

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(3) 若年者健康診査-2

① 若年者健康診査 (35～39歳)

項目 地区	HDL-コレステロール			LDL-コレステロール				中性脂肪				肝機能検査								
	正常	境界値	%低値	正常	境界値	%低値	%高値	正常	境界値	低値	%高値	AST			ALT			γ-GTP		
												正常	境界値	%高値	正常	境界値	%高値	正常	境界値	%高値
日 詰	25	0	0.0 0	12	6	4.0 1	24.0 6	17	5	1	8.0 2	19	4	8.0 2	16	2	28.0 7	20	3	8.0 2
古 館	12	1	7.1 1	9	1	0.0 0	28.6 4	10	3	0	7.1 1	12	2	0.0 0	12	1	7.1 1	13	1	0.0 0
水 分	2	0	0.0 0	1	1	0.0 0	0.0 0	2	0	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0	0.0 0
志 和	4	1	0.0 0	3	1	0.0 0	20.0 1	3	1	0	20.0 1	4	1	0.0 0	3	1	20.0 1	4	0	20.0 1
赤 石	16	0	0.0 0	12	2	0.0 0	12.5 2	15	1	0	0.0 0	14	1	6.3 1	14	0	12.5 2	13	2	6.3 1
彦 部	3	0	25.0 1	3	0	0.0 0	25.0 1	1	2	0	25.0 1	3	1	0.0 0	2	2	0.0 0	3	0	25.0 1
佐比内	0	1	0.0 0	0	1	0.0 0	0.0 0	0	1	0	0.0 0	0	0	100.0 1	0	0	100.0 1	0	1	0.0 0
赤 沢	5	0	0.0 0	3	1	0.0 0	20.0 1	4	1	0	0.0 0	5	0	0.0 0	4	1	0.0 0	5	0	0.0 0
長 岡	1	0	50.0 1	0	0	0.0 0	100.0 2	1	0	0	50.0 1	2	0	0.0 0	1	1	0.0 0	1	1	0.0 0
合計	68	3	4.1 3	43	13	1.4 1	23.0 17	53	14	1	8.1 6	61	9	5.4 4	54	8	16.2 12	61	8	6.8 5

② 健康診査(生保等)年齢階級別

40～44歳	1	0	0.0 0	0	1	0.0 0	0.0 0	0	1	0	0.0 0	1	0	0.0 0	1	0	0.0 0	1	0	0.0 0
45～49歳	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0.0 0	0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0
50～54歳	1	0	0.0 0	0	0	0.0 0	100.0 1	1	0	0	0.0 0	1	0	0.0 0	1	0	0.0 0	1	0	0.0 0
55～59歳	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0.0 0	0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0
60～64歳	3	0	0.0 0	1	1	0.0 0	33.3 1	2	1	0	0.0 0	3	0	0.0 0	3	0	0.0 0	3	0	0.0 0
65～69歳	8	0	0.0 0	7	1	0.0 0	0.0 0	7	0	0	12.5 1	7	1	0.0 0	6	2	0.0 0	6	2	0.0 0
70～74歳	7	0	12.5 1	4	1	0.0 0	37.5 3	7	1	0	0.0 0	8	0	0.0 0	7	1	0.0 0	6	1	12.5 1
75～79歳	2	0	0.0 0	1	0	0.0 0	50.0 1	1	1	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0	0.0 0	2	0	0.0 0
80歳以上	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0.0 0	0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0	0	0	0.0 0
	22	0	4.3 1	13	4	0.0 0	26.1 6	18	4	0	4.3 1	22	1	0.0 0	20	3	0.0 0	19	3	4.3 1

※年齢基準日：令和5年3月31日

項目		検査総数			C判定者の数		
		男	女	合計	男	女	合計
血圧		24	50	74	12.5 3	2.0 1	5.4 4
糖代謝	血糖	24	50	74	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	尿糖	24	50	74	0.0 0	2.0 1	1.4 1
	ヘモグロビンA1c	24	50	74	0.0 0	0.0 0	0.0 0
尿蛋白		24	50	74	4.2 1	0.0 0	1.4 1
HDL-コレステロール		24	50	74	12.5 3	0.0 0	4.1 3
LDL-コレステロール		24	50	74	33.3 8	0.0 0	24.3 18
中性脂肪		24	50	74	12.5 3	8.0 4	9.5 7
肝機能	AST	24	50	74	4.2 1	6.0 3	5.4 4
	ALT	24	50	74	29.2 7	10.0 5	16.2 12
	γ-GTP	24	50	74	12.5 3	4.0 2	6.8 5
BMI	低値	24	50	74	0.0 0	10.0 5	6.8 5
	高値	24	50	74	50.0 12	38.0 19	41.9 31
腹囲	高値	24	50	74	45.8 11	22.0 11	29.7 22

Ⅲ 保健事業の報告－２

２ 成人検診事業

（４）成人歯科健康診査

単位：人、本、％

年 齢	受診者数	歯磨きの回数/日				歯の状況 (平均本数)					歯周疾患の状況 ※新C P I 基準による判定(H29以降の基準)										結 果					
		1 回	2 回	3 回	磨 か な い	現 存 歯 数				喪 失 歯 数	歯肉出血(BOP)				歯周ポケット(PD)											
						健全 歯 数	処 置 歯 数	未 処 置 歯 数	0 健 全		1 出 血 あ り	9 除 外 歯	X 該 当 す る 歯 な し	0 健 全	1 4 ～ 5 mm に 達 す る ポ ケ ット	2 6 mm を 超 え る ポ ケ ット	9 除 外 歯	X 該 当 す る 歯 な し	健康	定期的な健康診査の勧め	要 受 診	う 歯 あ り	歯 槽 膿 漏 あ り	欠 損 歯 あ り	義 歯 不 調	
40～49歳	37	9	21	5	0	28.6	14.6	12.8	1.2	0.5	10	27	0	0	11	24	2	0	0	4	7	26	15	21	0	0
50～59歳	17	5	10	1	0	28.1	13.9	13.1	1.1	0.7	5	12	0	0	5	6	1	0	0	1	3	13	9	0	0	0
60～70歳	37	10	25	2	0	26.0	8.7	15.8	1.5	2.6	8	28	0	0	6	24	5	0	0	0	10	27	18	20	1	0
合計	91	24	56	8	0	27.4	12.1	14.1	1.3	1.4	23	67	0	0	22	54	8	0	0	5	20	66	42	41	1	0
割合		26.4	61.5	8.8	0.0						25.3	73.6	0.0	0.0	24.2	59.3	8.8	0.0	0.0	5.5	22.0	72.5	46.2	45.1	1.1	0.0

※重複あり

前年度分（参考）

合計	53	2	29	22	0	27.5	15.6	11.3	1.2	1.0	12	41	0	0	20	30	3	0	0	5	15	33	23	19	1	0
割合		3.8	54.7	41.5	0.0						22.6	77.4	0.0	0.0	37.7	56.6	5.7	0.0	0.0	9.4	28.3	62.3	43.4	35.8	1.9	0.0

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(5) 胃がん検診

① 地区別

単位：人、％

項目 地区	対象者 計	一次検診												精密検査結果								
		受診者	検診結果												精密検査受診者	精密検査受診率	診断名			精密検査未受診者		
			異常なし	要経過観察	要精密検査	その他	異常なし	胃がん	その他													
日 詰	2,150	199	78	121	125	49	76	66	27	39	8	2	6	0	0	0	8	100.0	0	0	8	0
古 館	3,001	312	137	175	217	95	122	82	35	47	13	7	6	0	0	0	11	84.6	4	0	7	2
水 分	662	76	32	44	43	18	25	27	10	17	6	4	2	0	0	0	5	83.3	2	1	2	1
志 和	1,341	124	52	72	76	30	46	39	18	21	8	4	4	1	0	1	3	37.5	0	0	3	5
赤 石	2,276	223	100	123	142	61	81	72	36	36	9	3	6	0	0	0	9	100.0	0	1	8	0
彦 部	676	66	35	31	39	20	19	25	14	11	2	1	1	0	0	0	2	100.0	1	0	1	0
佐比内	373	43	22	21	20	11	9	20	10	10	3	1	2	0	0	0	3	100.0	1	0	2	0
赤 沢	409	37	16	21	19	9	10	13	6	7	5	1	4	0	0	0	5	100.0	3	0	2	0
長 岡	523	38	23	15	20	10	10	15	10	5	3	3	0	0	0	0	3	100.0	0	0	3	0
合計	11,411	1,118	495	623	701	303	398	359	166	193	57	26	31	1	0	1	49	86.0	11	2	36	8

※精密検査者は、胃内視鏡の精密に限る。その他の精密検査は含まない。

② 年齢別

40～44歳	195	48	13	35	37	12	25	10	1	9	1	0	1	0	0	0	1	100.0	1	0	0	0
45～49歳	566	52	17	35	37	14	23	13	3	10	2	0	2	0	0	0	2	100.0	1	0	1	0
50～54歳	447	60	16	44	49	15	34	7	1	6	4	0	4	0	0	0	3	75.0	1	0	2	1
55～59歳	528	73	20	53	52	15	37	17	4	13	4	1	3	0	0	0	3	75.0	2	0	1	1
60～64歳	956	126	38	88	88	26	62	32	10	22	6	2	4	0	0	0	4	66.7	0	0	4	2
65～69歳	1,644	205	95	110	130	61	69	68	31	37	6	3	3	1	0	1	5	83.3	1	1	3	1
70～74歳	2,414	292	144	148	159	78	81	113	55	58	20	11	9	0	0	0	18	90.0	2	1	15	2
75～79歳	1,641	208	117	91	112	59	53	84	50	34	12	8	4	0	0	0	11	91.7	3	0	8	1
80歳以上	3,020	54	35	19	37	23	14	15	11	4	2	1	1	0	0	0	2	100.0	0	0	2	0
合計	11,411	1,118	495	623	701	303	398	359	166	193	57	26	31	1	0	1	49		11	2	36	8
割合		9.8			62.7	61.2	63.9	32.1	33.5	31.0	5.1	5.3	5.0				86.0		22.4	4.1	73.5	16.3
前年度合計	11,402	691	262	429	478	177	301	186	72	114	27	13	14				18		4	0	14	9
前年度割合		6.1	5.7	6.3	69.2	67.6	70.2	26.9	27.5	26.6	3.9	5.0	3.3				66.7		22.2	0.0	77.8	50.0

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(6) 肺がん検診

① 地区別

項目	対象者	胸部X線検査																	
		受診者	判定																
			A			B			C			D			E				
			再検査			異常なし			精密検査不要			精密検査			がんの疑い				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
日 詰	2,150	584	213	371	0	0	0	526	182	344	35	19	16	6	3	3	17	9	8
古 館	3,001	870	353	517	0	0	0	800	312	488	44	27	17	5	3	2	21	11	10
水 分	662	193	71	122	0	0	0	179	64	115	8	3	5	1	1	0	5	3	2
志 和	1,341	373	166	207	0	0	0	333	140	193	19	16	3	7	5	2	14	5	9
赤 石	2,276	664	250	414	0	0	0	613	221	392	33	21	12	5	3	2	13	5	8
彦 部	676	205	84	121	0	0	0	194	77	117	9	5	4	0	0	0	2	2	0
佐比内	373	157	67	90	0	0	0	135	57	78	11	5	6	2	1	1	9	4	5
赤 沢	409	155	63	92	0	0	0	142	54	88	7	6	1	0	0	0	6	3	3
長 岡	523	171	65	106	0	0	0	158	59	99	8	4	4	0	0	0	5	2	3
合計	11,411	3,372	1,332	2,040	0	0	0	3,080	1,166	1,914	174	106	68	26	16	10	92	44	48

② 年齢階級別

40～44歳	195	99	34	65	0	0	0	96	33	63	0	0	0	0	0	0	3	1	2
45～49歳	566	108	37	71	0	0	0	104	36	68	2	1	1	1	0	1	1	0	1
50～54歳	447	99	23	76	0	0	0	96	21	75	2	1	1	0	0	0	1	1	0
55～59歳	528	140	31	109	0	0	0	132	28	104	5	1	4	1	0	1	2	2	0
60～64歳	956	281	82	199	0	0	0	263	74	189	7	2	5	2	1	1	9	5	4
65～69歳	1,644	569	202	367	0	0	0	532	185	347	16	6	10	3	1	2	18	10	8
70～74歳	2,414	961	394	567	0	0	0	877	344	533	51	35	16	8	4	4	25	11	14
75～79歳	1,641	639	298	341	0	0	0	571	255	316	42	29	13	4	4	0	22	10	12
80歳以上	3,020	476	231	245	0	0	0	409	190	219	49	31	18	7	6	1	11	4	7
合計	11,411	3,372	1,332	2,040	0	0	0	3,080	1,166	1,914	174	106	68	26	16	10	92	44	48
割合		29.6			0.0	0.0	0.0	91.3	87.5	93.8	5.2	8.0	3.3	0.8	1.2	0.5	2.7	3.3	2.4
前年度合計	2,766	855	295	560	0	0	0	807	272	535	21	11	10	10	3	7	17	9	8
前年度割合		30.9			0.0	0.0	0.0	94.4	92.2	95.5	2.5	3.7	1.8	1.2	1.0	1.3	2.0	3.1	1.4

胸部X線検査	区分	所 見	指導区分
	A	読影不能	再撮影
	B	異常所見を認めない	定期検診
	C	異常所見を認めるが精査を必要としない	
	D	異常所見を認めるが肺がん以外の疾患が考えられる	精密検査
	E	肺がんの疑い	

※令和4年度から対象者を40歳以上すべてに拡大

單位：人

喀痰検査															精密検査(対象者D、E)										
受診者			判定												受診者	判定					未把握者	未受診者			
			A			B			C			D				E			異常なし	肺がん			肺がん(疑)	結核	その他
男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女									
6	6	0				6	6	0										22	9	0	0	0	13	1	0
10	9	1	1	1	0	9	8	1										25	11	1	0	0	13	1	0
0	0	0																5	3	0	0	0	2	0	1
2	1	1				2	1	1										20	5	1	0	0	14	0	1
5	5	0				5	5	0										16	5	1	0	0	10	0	2
3	3	0				3	3	0										1	1	0	0	0	0	0	1
1	0	1				1	0	1										11	5	0	0	0	6	0	0
0	0	0																5	1	1	1	0	2	0	1
3	3	0	1	1	0	2	2	0										5	2	0	0	0	3	0	0
30	27	3	2	2	0	28	25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	42	4	1	0	63	2	6

單位：人、%

0						対象外																	3	3	0	0	0	0	0	0	0	
0						対象外																		2	1	0	0	0	1	0	0	0
0	0	0																	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0				
0	0	0																	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0				
5	5	0	0	0	0	5	5	0											10	5	0	1	0	4	0	1	0	0				
10	9	1	1	1	0	9	8	1											19	7	0	0	0	12	0	2	0	0				
9	9	0	0	0	0	9	9	0											32	11	1	0	0	20	0	1	0	0				
3	1	2	1	1	0	2	0	2											24	7	2	0	0	15	0	2	0	0				
3	3	0	0	0	0	3	3	0											17	6	1	0	0	10	1	0	0	0				
5	27	3	2	2	0	28	25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	42	4	1	0	63	2	6	0	0				
0.1	2.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.9	2.1	0.2											93.2	35.6	3.4	0.8	0.0	53.4	1.7	5.1	0	0				
																			26	12	0	0	0	14	0	1						
3	2	1	0	0	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	12	0	0	0	14	0	1						
0.4	0.7	0.2				0.4	0.7	0.2											96.3	44.4	0.0	0.0	0.0	51.9	0.0	3.7						

	区分	所 見	指導区分
喀 痰 検 査	A	喀痰中に組織球を認めない	材料不適・再検査
	B	正常上皮細胞のみ、基底細胞増生、纖毛円柱上皮増生、細胞異形軽度の扁平上皮化生	定期検診
	C	細胞異形中程度の扁平上皮化生または核の増大や膿染を伴う円形上皮化生	3～6カ月後に再検査
	D	細胞異形高程度の扁平上皮化生または悪性腫瘍の疑いのある細胞を認める	ただちに精密検査
	E	悪性腫瘍細胞を認める	

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(7) 大腸がん検診

① 地区別

単位：人

項目 地区	対象者	受診者				一次検診結果						精密検査結果						
						異常なし			要精密検査			判定不能	受診者	所見			未把握	未受診者
														異常なし	大腸がん	その他		
			男	女		男	女		男	女								
日 詰	2,150	503	180	323	479	166	313	24	14	10		22	4	2	16	1	1	
古 館	3,001	722	304	418	687	283	404	35	21	14		27	7	6	14	5	3	
水 分	662	177	65	112	167	60	107	10	5	5		10	4	0	6	0	0	
志 和	1,341	318	136	182	289	118	171	29	18	11		24	4	1	19	4	1	
赤 石	2,276	551	230	321	521	215	306	29	15	14	1	26	7	4	15	0	3	
彦 部	676	198	95	103	189	91	98	9	4	5		9	2	1	6	0	0	
佐比内	373	122	50	72	115	48	67	7	2	5		6	1	0	5	0	1	
赤 沢	409	117	45	72	113	44	69	4	1	3		1	0	0	1	0	3	
長 岡	523	138	51	87	128	45	83	10	6	4		10	4	1	5	0	0	
合計	11,411	2,846	1,156	1,690	2,688	1,070	1,618	157	86	71	1	135	33	15	87	10	12	

② 年齢階級別

単位：人、%

40～44歳	195	90	30	60	87	27	60	3	3	0		2	1	0	1	1	0
45～49歳	566	93	37	56	91	36	55	2	1	1		2	1	0	1	0	0
50～54歳	447	100	25	75	96	25	71	4	0	4		2	1	0	1	1	1
55～59歳	528	153	36	117	149	35	114	4	1	3		4	3	0	1	0	0
60～64歳	956	254	86	168	240	82	158	13	4	9	1	8	1	1	6	1	4
65～69歳	1,644	467	166	301	450	158	292	17	8	9		13	3	1	9	2	2
70～74歳	2,414	725	320	405	675	289	386	50	31	19		48	9	8	31	0	2
75～79歳	1,641	558	268	290	525	244	281	33	24	9		29	3	2	24	3	1
80歳以上	3,020	406	188	218	375	174	201	31	14	17		27	11	3	13	2	2
合計	11,411	2,846	1,156	1,690	2,688	1,070	1,618	157	86	71	1	135	33	15	87	10	12
割合		24.9			94.4	92.6	95.7	5.5	7.4	4.2	0.0	86.0	24.4	11.1	64.4	7.4	7.6

前年度合計	11,402	2,824	1,152	1,672	2,663	1,064	1,599	155	84	71	6	124	39	11	74	15	16
前年度割合		24.8			94.3	92.4	95.6	5.5	7.3	4.2	0.2	80.0	31.5	8.9	59.7	12.1	10.3

※1 判定不能：便潜血検査は2日分の検便により結果が出る。判定不能者は検便一日分のみ提出した者。

※2 未把握：医療受診はしたが、本人の意思または医師の判断で精密検査を行わない場合。
又は、受診状況が確認できなかった場合。

③ 大腸がん検診(40歳個別受診勧奨)無料対象者受診状況

	対象者	受診者数	受診率(%)
40歳	385	33	8.6

(8) 前立腺がん検診

① 地区別

単位：人・位：人

項目 地区	対象者	一次検診				精密検査						
		受診者	判定			精密検査受診者	判定				未把握者	未受診者
			a 異常なし	b 軽度上昇	c 高値 (精密検査)		異常なし	所見あり				
								前立腺がん	前立腺肥大症	その他		
日 詰	733	99	91	3	5	3	1			2	1	1
古 館	1,132	169	152	6	11	6	1		2	3	4	1
水 分	242	36	31	2	3	3			1	2		
志 和	511	89	87	1	1	0					1	
赤 石	787	113	105	6	2	1	1				1	
彦 部	296	55	51	3	1	0					1	
佐比内	150	32	26	5	1	1				1		
赤 沢	172	29	27	2	0	0						
長 岡	200	39	38	1	0	0						
合計	4,223	661	608	29	24	14	3	0	3	8	8	2

② 年齢階級別

単位：人、% 人、%

50～54歳	141	15	15	0	0	0						
55～59歳	149	27	27	0	0	0						
60～64歳	370	49	48	1	0	0						
65～69歳	709	129	119	3	7	4			2	2	2	1
70～74歳	1,098	203	186	11	6	4	1			3	1	1
75～79歳	718	149	135	9	5	3				3	2	
80歳以上	1,038	89	78	5	6	3	2		1		3	
合 計	4,223	661	608	29	24	14	3	0	3	8	8	2
割合		15.7	92.0	4.4	3.6	58.3	21.4	0.0	21.4	57.1	33.3	8.3
前年度合計	4,201	652	590	33	29	21	4	2	9	6	5	3
前年度割合		15.5	90.5	5.1	4.4	72.4	19.0	9.5	42.9	28.6	17.2	10.3

※対象者は50歳以上の男性

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

2 成人検診事業

(9) 子宮頸がん検診

① 地区別

単位：人

項目 地区	対象者	奇数歳受診者	一次検診											精密検査結果				精密検査未受診者	
			総受診者	細胞診検査結果（ベセスダシステム）										異常なし	がん	異形成	その他		
				異常なし	要精密検査														
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨						計
				N I L M	A S C - U S	A S C - H	L S I L	H S I L	S C C	A G C	A I S	A d e n o C a	O t h e r						
日 詰	737	197	202	198	1		3							4	2		2		
古 館	987	279	285	280	1		4							5	2		2	1	
水 分	204	68	68	68										0					
志 和	414	108	108	106	1		1							2			2		
赤 石	840	241	244	244										0					
彦 部	204	56	56	54	2									2	1				1
佐比内	111	23	23	23										0					
赤 沢	120	35	35	34	1									1			1		
長 岡	160	31	32	32										0					
合計	3, 777	1, 038	1, 053	1, 039	6	0	8	0	0	0	0	0	0	14	5	0	7	1	1

② 年齢階級別

単位：人、％

20～24歳	96	19	19	16	1		2						3			3		
25～29歳	62	35	37	35	2								2	1				1
30～34歳	116	60	60	60									0					
35～39歳	68	76	76	75			1						1	1				
40～44歳	62	100	104	101	1		2						3	2		1		
45～49歳	158	125	128	125	1		2						3			2	1	
50～54歳	153	78	79	79									0					
55～59歳	190	139	140	139			1						1			1		
60～64歳	293	98	99	99									0					
65～69歳	468	140	141	141									0					
70～74歳	658	98	99	98	1								1	1				
75～79歳	462	70	71	71									0					
80歳以上	991	0	0	0									0					
合計	3,777	1,038	1,053	1,039	6	0	8	0	0	0	0	0	14	5	0	7	1	1
割合		27.5		98.7									1.3	35.7	0.0	50.0	7.1	7.1

前年度合計	3,764	1,031	1,055	1,041	6	0	7	1	0	0	0	0	14	1	0	6	4	3
前年度割合		27.4		98.7									1.3	7.1	0.0	42.9	28.6	21.4

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(10) 乳がん検診

① 地区別

項目 地区	対象者	奇数歳受診者	一次検診				精密検査結果				
			総受診者	乳房検診			受診者	乳房検診 所見			未受診者
				異常なし	要経過観察	要精密検査		異常なし	乳がん	その他	
日 詰	657	198	201	196		5	5	1	1	3	
古 館	897	269	275	271		4	3	2		1	1
水 分	206	67	67	66		1	0				1
志 和	402	108	108	104		4	4	1	2	1	
赤 石	688	198	199	195		4	4	1		3	
彦 部	198	53	53	51		2	2		1	1	
佐比内	110	19	19	19			0				
赤 沢	117	30	30	30			0				
長 岡	160	33	34	32		2	2			2	
合計	3,435	975	986	964	0	22	20	5	4	11	2

② 年齢階級別

40～44歳	62	115	118	114		4	4			4	
45～49歳	158	138	141	138		3	3			3	
50～54歳	153	148	94	89		5	4	2	2		1
55～59歳	190	101	155	152		3	3	1		2	
60～64歳	293	109	109	106		3	3	1		2	
65～69歳	468	162	163	160		3	2	1	1		1
70～74歳	658	109	111	111			0				
75～79歳	462	93	94	93		1	1		1		
80歳以上	991	0	1	1			0				
合計	3,435	975	986	964	0	22	20	5	4	11	2
割合		28.4		97.8	0.0	2.2	90.9	25.0	20.0	55.0	9.1
前年度合計	3,420	924	946	922	0	24	21	4	4	13	3
前年度割合		27.0		97.5	0.0	2.5	87.5	19.0	19.0	61.9	12.5

※乳房X線検査の判定は、乳房所見による。

Ⅲ 保健事業の報告－2

2 成人検診事業

(11) 骨粗鬆症検診

① 地区別

単位：人

項目 地区	対象者	一次検診				精密検査（※１）						
		受診者	判定			精密検査受診者	判定				未把握	未受診
			a 異常なし	b 日常生活に注意	c 要受診		異常なし	所見				
								骨粗鬆症	骨粗鬆症疑い	その他		
日 詰	657	60	34	25	1	0						1
古 館	897	89	46	35	8	7		3	4			
水 分	206	29	13	15	1	1		1				
志 和	402	45	22	19	4	2		1	1			1
赤 石	688	63	27	28	8	5	1	3	1			
彦 部	198	19	10	7	2	1			1		1	
佐比内	110	7	3	4		0						
赤 沢	117	5	4	1		0						
長 岡	160	11	8	2	1	1		1				
合計	3,435	328	167	136	25	17	1	9	7	0	1	2

② 年齢階級別

単位：人、%

40～44歳	62	27	24	3		0						
45～49歳	158	36	29	7		0						
50～54歳	153	29	18	11		0						
55～59歳	190	55	32	20	3	3	1	2				
60～64歳	293	41	16	23	2	1			1			
65～69歳	468	60	24	30	6	3		2	1		1	
70歳以上	2,111	80	24	42	14	10		5	5			2
合計	3,435	328	167	136	25	17	1	9	7	0	1	2
割合		9.5	50.9	41.5	7.6	68.0	5.9	52.9	41.2	0.0	－	－

前年度合計	1,354	421	213	169	39	17	2	12	3	0	9	6
前年度割合		31.1	50.6	40.1	9.3	43.6	11.8	70.6	17.6	0.0	－	－

※R4年度から対象者の年齢上限を設けず、40以上の女性（奇数歳）に拡大した。

※1 精密検査人数は、紹介状が出た人のみ計上。（紹介状は初回のみしか出ず、今まで紹介状が出た人は、要受診者の対象だとしても紹介状は出ない。）

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

3 栄養改善事業

(1) 食生活改善事業

① 栄養教室（食生活改善推進員養成講座）

実施日	場所	参加人数	内容
8月24日（水）	古館公民館	2	①講義・紫波町における健康づくり ・食生活改善推進員と地区組織活動
9月9日（金）		3	①講義・食生活の現状と課題 ・生活習慣病予防 ・食事バランスとは？～主食・主菜・副菜～
9月30日（金）		3	①実技・身体活動と運動実技 ②講義・食品衛生と食中毒予防
10月13日（木）		2	①講義・栄養の基礎知識 ・ちょい足し野菜で350 g
10月27日（木）		2	①講義・年代別の食育 ・離乳食と介護食 ②試飲・塩分濃度の違いを知る～だし汁・味噌汁～
計		12	

② 地区栄養改善教室（普及講習会）

〈年度毎の比較〉

年度	回数	参加者数
H25	24	460
H26	29	561
H27	29	524
H28	26	486
H29	25	461
H30	15	289
R元	17	295
R2	0	0
R3	6	103
R4	5	93

〈令和4年度地区別実施状況〉

地区	回数	参加者数
日 詰	1	15
古 館	0	0
水 分	0	0
志 和	5	41
赤 石	0	0
彦 部	0	0
佐比内	0	0
赤 沢	2	37
長 岡	0	0
合計	8	93

③ 食べ方相談室（栄養相談）

実施日	参加者
令和4年7月28日	2
令和4年10月11日	6
令和5年1月23日	0



Ⅲ 保健事業の報告－2

3 栄養改善事業

(1) 食生活改善事業

④ 食育支援教室

ア 学童期の食教育（日詰小学校3年生）

実施日	内容	場所	参加人数
11月16日	資料提供のみ ①「卵の栄養について」 ②「調理上の注意点と衛生面について」 (橋本善太と卵に関することは授業で学ぶ機会を設けた)	日詰小学校	67人

イ 離乳食教室

実施日	内容	場所	参加人数
年12回 (月1回)	1 月齢に合った離乳食について説明 ①7～8ヵ月頃の進め方 ②発達に合わせた食材（固さ、大きさ等） 2 試食 ①昆布&かつおだし、野菜だし、減塩味噌汁 3 離乳食実物展示 4 離乳食相談・情報交換	役場 はつらつ ホール	延37人

ウ おやこの食育教室（幼児教室）

実施日	内容	場所	参加人数
中止		はつらつホール	

エ 離乳食講座（子育て応援センターしわっせ）

実施日	内容	場所	参加人数
中止		しわっせ	

オ 栄養教室（学童/ヤンチャークラブ）

実施日	内容	場所	参加人数
3月27日	講話「からだをつくる食べ物のお話」 ～3色の栄養について～	古館公民館	21

カ 子育て支援講座（ファミリーサポートセンター）

実施日	内容	場所	参加人数
7月、2月	講話「子どもの栄養と食生活」 試食「だし汁、味噌汁の飲み比べ」	情報交流館 大スタジオ	21

キ 学んで実践！かいご講座（長寿介護課）

実施日	内容	場所	参加人数
3月10日	講話「高齢者の栄養について」	情報交流館 大スタジオ	8

ク 高齢者の栄養管理について（母子寡婦福祉協会）

実施日	内容	場所	参加人数
12月14日	講話「高齢者の栄養～いきいきとした暮らしを続けるために～」	ラ・フランス温泉館 ホテル「湯楽々」	15

Ⅲ 保健事業の報告－2

3 栄養改善事業

(2) 地区組織活動支援事業

① 食生活改善推進員の活動支援

ア 健康食の普及（町広報誌、ホームページに掲載）

月	地区	献立	月	地区	献立
4	健康福祉課	サバ缶とキャベツのスープ	10	日詰	フルーツ甘酒
5	長岡	よもぎ大福	11	健康福祉課	旬の食材を使った副菜メニュー
6	佐比内	からだに優しい！塩こうじのヘルシーサラダ	12	長岡	ねぎの中華まん
7	赤沢	揚げ魚と夏野菜の甘酢あんかけ	1	志和	けんちん汁
8	古館	からしばつとの夏野菜添え	2	彦部	黒豆ゆべし
9	水分	月見団子	3	赤石	ひじきと根菜のさつま揚げ

イ いわて減塩・適塩の日キャンペーン事業

	内容	実施方法	場所	配布数
11～2月	①減塩のポイントとレシピの配布 ②啓発ティッシュの配布	産直、公民館への来場者に配布及び公民館に設置	産直、公民館等	500

ウ 生涯骨太クッキング

実施日	内容	場所	参加者
10～2月	・公民館等に参集した成人～高齢者に対して、低栄養・フレイル予防の講話と資料及びレシピの配布	日詰、水分 志和、赤沢	51

エ 全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト（高齢世代）

実施日	内容	場所	参加者
10～2月	地区健康相談に参集した高齢者に、フレイル、低栄養予防についての講話と家庭の味噌汁塩分測定、受講前後のアンケートによる意識調査を実施	佐比内、長岡	21
	高齢者宅へ家庭訪問をして、フレイル、低栄養予防についてのお話と味噌汁塩分測定、受講前後のアンケートによる意識調査を実施	古館、佐比内	9

Ⅲ 保健事業の報告-2

3 栄養改善事業

(2) 地区組織活動支援

② 食生活改善推進員の研修

ア 町

実施日	事業名	内容	場所	食改会員
中止	リーダー研修会			
11月25日	会員研修会	在宅栄養ステップアップ研修会 1 講話「高齢者の健康を支える嚥下調整食」 講師/岩手県栄養士会 会長 澤口真規子 氏 2 調理動画・試食「家庭で作る嚥下調整食」 講師/岩手医科大学付属病院 主任管理栄養士 俵 万里子 氏	情報交流館 大スタジオ	会員14 (会員外5)
年間	地区会員研修	広報掲載レシピのメニュー検討会、ウォーキング、災害時の食事（パッキング）の実習など	各地区	64

イ 盛岡支部

実施日	事業名	内容	場所	食改会員
中止	リーダー研修会			
中止	食生活改善推進員 リーダー研修会			

ウ 岩手県

実施日	事業名	内容	場所	食改会員
6月10日	市町村協議会長等 研修会	1 特別講話「『今こそ、食改さんパワーを発揮しましょう！』～在宅ケアにおける活動のすすめ～」 講師/岩手県栄養士会長 澤口 真規子 氏 2 講話「～突撃シリーズ第2弾～1日食塩摂取調査による減塩ステップアップ事業の結果から」 講師/岩手県健康国保課 主任主査 小野 償子 氏	プラザおでって	1
中止	岩手県食生活改善 研究会			

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

5 予防接種事業

(1) 定期予防接種

種 別			対象者(人)		接種者(人)		接種率(%)
結核 (BCG)			232		213		91.8
麻しん・風しん		第1期	251		209(2)		83.3
		第2期	247		242		98.0
急性灰白髄炎 (不活化ポリオ)		1回目	0		0		
		2回目	0		0		
		3回目	0		0		
		追加	0		0		
百日咳、ジフテリア、 破傷風、急性灰白髄炎 (四種混合)		第1期初回	193		1回目	188	97.4
					2回目	204	105.7
					3回目	211	109.3
		追加	194		200		103.1
ジフテリア、破傷風 (二種混合)		第2期	292		246		84.2
日本脳炎 (※1)		第1期初回	269		1回目	246	91.4
					2回目	250	92.9
		追加	235		314		133.6
		第2期	小4	278	472		56.5
高3	307						
子宮頸がん (※2)		1回目	中1～高1：548 キャッチアップ：943 合計1,491		220		14.8
		2回目			189		12.7
		3回目			130		8.7
ヒブ		初回	193		1回目	196	101.6
					2回目	188	97.4
					3回目	203	105.2
		追加	194		211		108.8
小児用肺炎球菌		初回	193		1回目	196	101.6
					2回目	189	97.9
					3回目	203	105.2
		追加	194		212		109.3
水痘		初回	251		212(1)		84.5
		追加	251		191(1)		76.1
B型肝炎		1回目	193		170(1)		88.1
		2回目			161(1)		83.4
		3回目			176		91.2
ロタ	ロタリックス	1回目	193		23		11.9
		2回目			21		10.9
	ロタテック	1回目			171		88.6
		2回目			168		87.0
		3回目			176		91.2
高齢者インフルエンザ			10,491		5,941		56.6
高齢者用肺炎球菌			1,482		302		20.4
成人男性風しん第5期 (※3)		抗体検査	2,175		179		8.2
		予防接種	147		43		29.3

※1 日本脳炎2期：平成29年度から小学校4年生と高校3年生相当年齢の者に積極的勧奨通知している。
接種者数は2期として接種した人数の合計とする。

※2 子宮頸がん：平成25年6月14日より積極的勧奨を控えていたが、令和4年度から積極的勧奨を再開した。また、令和4年度から令和6年度までをキャッチアップ接種期間とし、積極的勧奨を控えていた期間に接種対象年齢を迎えていた対象者に対し、接種期間を再開し、接種を行っている。

※3 成人男性風しん第5期：抗体検査対象者は、令和元年度～令和3年度の未検査者合計。また、予防接種対象者数は、令和元年度～令和3年度に検査し要接種者と判定され未接種者だった者に、令和4年度に検査し要接種者と判定された者の合計（二重計上の者は除く）。

※4 () は長期に渡り療養を必要とする疾病に罹った者の接種者数である。

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

5 予防接種事業

(2) 任意予防接種

事業名	対象者	接種者(人)
小児インフルエンザワクチン予防接種事業	0歳～中学3年生相当年齢	延3,400
おたふくかぜワクチン予防接種事業	1歳以上2歳未満	217

Ⅲ 保健事業の報告－２

７ 後期高齢者保健事業

(１) 後期高齢者健康診査事業

① 地区別

項目 地区	対象者	受診者			総合判定				BMI			血圧		
		男	女	計	% A1	% A2	% B	% C	正常	低 値	% 高 値	正常	境 界 値	% 高 値
日 詰	935	97	115	212	1.9 4	9.4 20	53.3 113	35.4 75	150	10	24.5 52	62	42	50.9 108
古 館	1246	156	125	281	1.8 5	13.5 38	52.3 147	32.4 91	179	11	32.4 91	75	75	46.6 131
水 分	406	23	35	58	1.7 1	13.8 8	60.3 35	24.1 14	36	2	34.5 20	18	12	48.3 28
志 和	801	65	52	117	3.4 4	10.3 12	46.2 54	40.2 47	76	5	30.8 36	41	26	42.7 50
赤 石	986	108	124	232	3.4 8	10.8 25	51.7 120	34.1 79	136	17	34.1 79	76	47	47.0 109
彦 部	389	29	39	68	1.5 1	13.2 9	55.9 38	29.4 20	40	0	41.2 28	19	17	47.1 32
佐比内	231	26	35	61	3.3 2	3.3 2	65.6 40	27.9 17	32	5	39.3 24	17	11	54.1 33
赤 沢	229	18	14	32	0.0 0	12.5 4	56.3 18	31.3 10	21	1	31.3 10	6	7	59.4 19
長 岡	323	16	23	39	2.6 1	20.5 8	59.0 23	17.9 7	28	2	23.1 9	14	10	38.5 15
合計	5,546	538	562	1,100	2.4 26	11.5 126	53.5 588	32.7 360	698	53	31.7 349	328	247	47.7 525

② 年齢階級別

65～69歳	23	4	1	5	0.0 0	20.0 1	0.0 0	80.0 4	3	0	40.0 2	1	1	60.0 3
70～74歳	188	2	4	6	0.0 0	16.7 1	83.3 5	0.0 0	3	0	50.0 3	3	2	16.7 1
75～79歳	1,911	278	292	570	2.3 13	11.6 66	53.7 306	32.5 185	361	28	31.8 181	177	136	45.1 257
80歳以上	3,424	254	265	519	2.5 13	11.2 58	53.4 277	32.9 171	331	25	31.4 163	147	108	50.9 264
合計	5,546	538	562	1,100	2.4 26	11.5 126	53.5 588	32.7 360	698	53	31.7 349	328	247	47.7 525

前年度合計	5,388	452	495	947	1.1 10	11.5 109	55.2 523	32.2 305	593	56	31.5 298	245	226	50.3 476
-------	-------	-----	-----	-----	-----------	-------------	-------------	-------------	-----	----	-------------	-----	-----	-------------

※年齢基準日：令和5年3月31日

血糖				尿糖			ヘモグロビンA1c			尿蛋白			
正常	境界値	低値	%高値	正常	弱陽性	%陽性	正常	境界値	%高値	正常	弱陽性	%陽性	判定保留
168	37	0	2.8 6	197	4	4.7 10	78	111	10.4 22	195	10	2.8 6	
219	51	0	3.9 11	267	1	3.9 11	118	140	8.2 23	251	8	7.2 20	
46	8	0	6.9 4	52	2	6.9 4	17	35	10.3 6	55	2	1.7 1	
99	15	0	2.6 3	111	2	3.4 4	50	57	8.5 10	105	5	6.0 7	
196	32	0	1.7 4	215	5	5.2 12	90	117	10.8 25	204	14	6.0 14	
59	9	0	0.0 0	61	3	5.9 4	24	39	7.4 5	65	3	0.0 0	
53	7	0	1.6 1	58	0	4.9 3	19	37	8.2 5	51	7	4.9 3	
27	5	0	0.0 0	31	0	3.1 1	19	11	6.3 2	29	1	6.3 2	
36	3	0	0.0 0	38	0	0.0 0	13	25	2.6 1	35	2	2.6 1	
903	167	0	2.6 29	1030	17	4.5 49	428	572	9.0 99	990	52	4.9 54	0

2	3	0	0.0 0	2	0	60.0 3	0	2	60.0 3	4	1	0.0 0	
6	0	0	0.0 0	6	0	0.0 0	3	3	0.0 0	6	0	0.0 0	
468	84	0	3.0 17	532	9	4.9 28	208	309	9.1 52	522	22	4.4 25	
427	80	0	2.3 12	490	8	3.5 18	217	258	8.5 44	458	29	5.6 29	
903	167	0	2.6 29	1,030	17	4.5 49	428	572	9.0 99	990	52	4.9 54	0

767	151	0	3.1 29	883	21	4.2 40	318	539	9.5 90	794	94	5.9 56	0
-----	-----	---	-----------	-----	----	-----------	-----	-----	-----------	-----	----	-----------	---

Ⅲ 保健事業の報告－2

7 後期高齢者保健事業

(1) 後期高齢者健康診査事業

① 地区別

項目 地区	HDL-コレステロール			LDL-コレステロール				中性脂肪				肝機能検査								
	正常	境界値	%低値	正常	境界値	%低値	%高値	正常	境界値	低値	%高値	AST			ALT			γ-GTP		
												正常	境界値	%高値	正常	境界値	%高値	正常	境界値	%高値
日 詰	203	4	1.9 4	116	59	0.9 2	16.1 34	155	46	0	4.7 10	178	32	0.5 1	197	11	1.4 3	192	14	2.4 5
古 館	265	13	1.1 3	163	60	2.1 6	18.5 52	196	65	0	7.1 20	238	40	1.1 3	259	21	0.4 1	245	29	2.5 7
水 分	55	2	1.7 1	39	10	3.4 2	12.1 7	52	4	0	3.4 2	49	9	0.0 0	53	4	1.7 1	50	6	3.4 2
志 和	109	7	0.9 1	77	25	3.4 4	9.4 11	95	15	0	6.0 7	97	17	2.6 3	105	10	1.7 2	107	7	2.6 3
赤 石	221	11	0.0 0	143	51	3.0 7	13.4 31	177	48	0	3.0 7	188	39	2.2 5	211	17	1.7 4	201	24	3.0 7
彦 部	67	1	0.0 0	45	13	1.5 1	13.2 9	53	13	0	2.9 2	53	14	1.5 1	64	3	1.5 1	56	9	4.4 3
佐比内	60	1	0.0 0	37	14	0.0 0	16.4 10	49	10	0	3.3 2	52	7	3.3 2	58	2	1.6 1	58	2	1.6 1
赤 沢	32	0	0.0 0	21	7	0.0 0	12.5 4	26	6	0	0.0 0	24	7	3.1 1	28	2	6.3 2	28	3	3.1 1
長 岡	38	1	0.0 0	21	11	0.0 0	17.9 7	34	4	0	2.6 1	31	7	2.6 1	37	2	0.0 0	35	3	2.6 1
合計	1,050	40	0.8 9	662	250	2.0 22	15.0 165	837	211	0	4.6 51	910	172	1.5 17	1012	72	1.4 15	972	97	2.7 30

② 年齢階級別

65～69歳	5	0	0.0 0	4	0	0.0 0	20.0 1	4	1	0	0.0 0	4	1	0.0 0	4	1	0.0 0	4	0	20.0 1
70～74歳	6	0	0.0 0	1	4	0.0 0	16.7 1	2	3	0	16.7 1	5	1	0.0 0	4	2	0.0 0	5	1	0.0 0
75～79歳	551	15	0.5 3	333	136	1.8 10	15.8 90	433	112	0	4.2 24	469	89	1.9 11	516	44	1.6 9	489	62	3.2 18
80歳以上	488	25	1.2 6	324	110	2.3 12	14.1 73	398	95	0	5.0 26	432	81	1.2 6	488	25	1.2 6	474	34	2.1 11
合計	1,050	40	0.8 9	662	250	2.0 22	15.0 165	837	211	0	4.6 51	910	172	1.5 17	1,012	72	1.4 15	972	97	2.7 30

前年度合計	918	23	0.6 6	595	211	1.9 18	13.0 123	741	168	0	4.0 38	775	156	1.7 16	862	68	1.8 17	833	73	4.3 41
-------	-----	----	----------	-----	-----	-----------	-------------	-----	-----	---	-----------	-----	-----	-----------	-----	----	-----------	-----	----	-----------

※年齢基準日：令和5年3月31日

項目		検査総数			C判定者の数		
		男	女	合計	男	女	合計
血圧		538	562	1,100	42.4 228	52.8 297	47.7 525
糖代謝	血糖	537	562	1,099	3.5 19	1.8 10	2.6 29
					尿糖	535	561
	ヘモグロビンA1c	537	562	1,099			
					尿蛋白		535
脂質	HDL	537	562	1,099	1.3 7	0.4 2	0.8 9
					LDL	537	562
	中性脂肪	537	562	1,099			
					肝機能	AST	537
ALT	537	562	1,099	1.3 7			
				r-GTP		537	562
BMI	低値	538	562				
				高値	36.1 194	27.6 155	31.7 349

Ⅲ 保健事業の報告－ 2

7 後期高齢者保健事業

(2) 後期高齢者歯科健康診査

単位：人、本、%

受診者数	歯磨きの回数	歯間ブラシ等を使っている	入れ歯を使っている	かかりつけの歯科医院がある	年1回以上歯科健診を受けている	歯の状況	口腔清掃の状況			結 果 ※重複あり					
	1日2回以上					現存歯数（平均本数）	良好	普通	不良	良好	詳しい検査が必要	むし歯、歯ぐきの治療が必要	入れ歯、ブリッジの治療が必要	体重減少等の低栄養のおそれ	病気治療を中断中
56	39	28	29	46	33	18.8	11	37	1	16	8	31	16	0	0

IV 保健活動の参考資料【事業資料】

【資料】

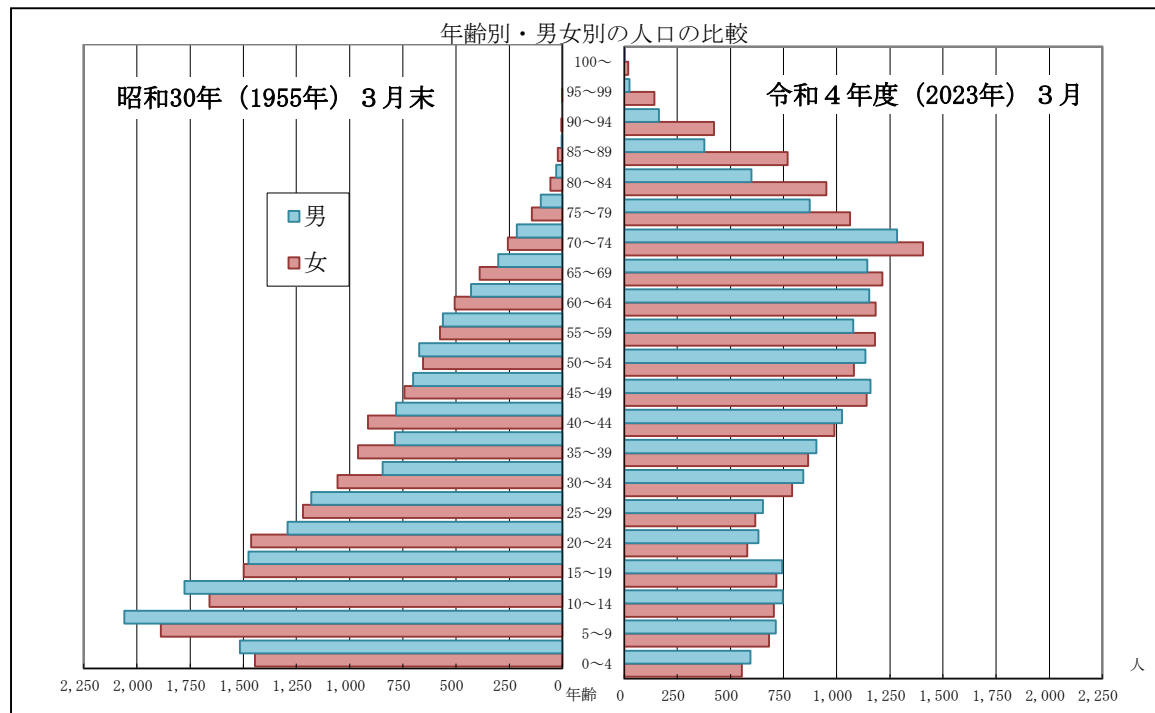
1 人口動態

(1) 人口

① 人口の推移（各年度3月末）

単位：人

	昭和				平成		令和
	30	40	50	60	7	17	4
0～14歳	10,346	6,042	5,581	5,582	5,587	5,159	3,994
15～64歳	18,328	18,422	18,476	19,092	20,586	22,096	18,469
65歳～	1,525	1,968	2,663	3,750	5,439	7,397	10,452
計	30,199	26,432	26,720	28,424	31,612	34,652	32,915
高齢化率（%）	5.05	7.45	9.97	13.19	17.21	21.35	31.75



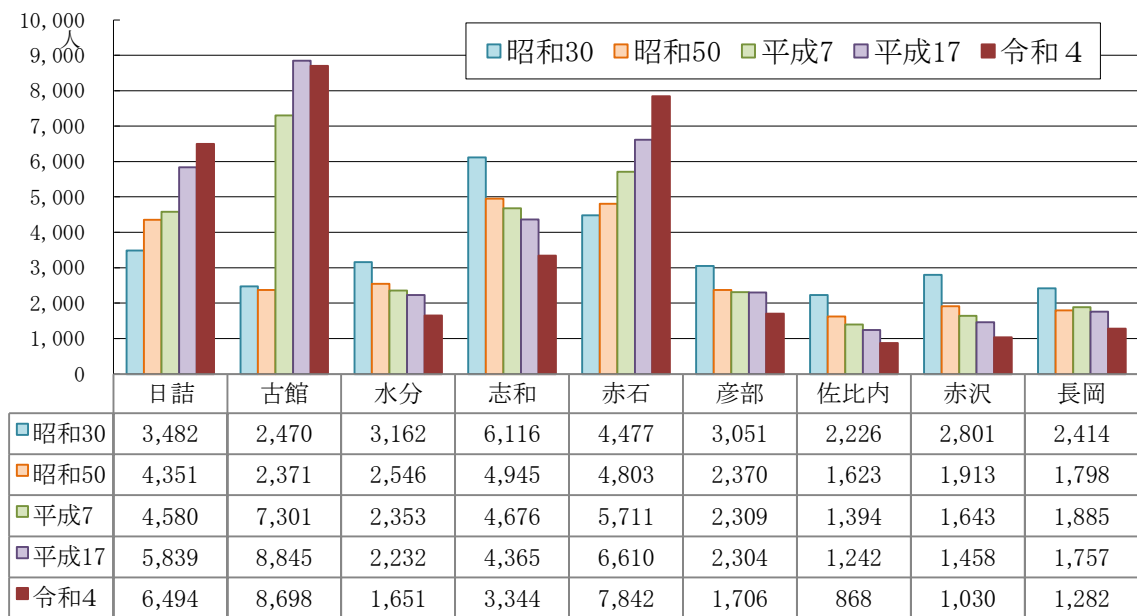
（紫波町住民基本台帳）

② 地区別・年齢区分別人口（令和5年3月末）

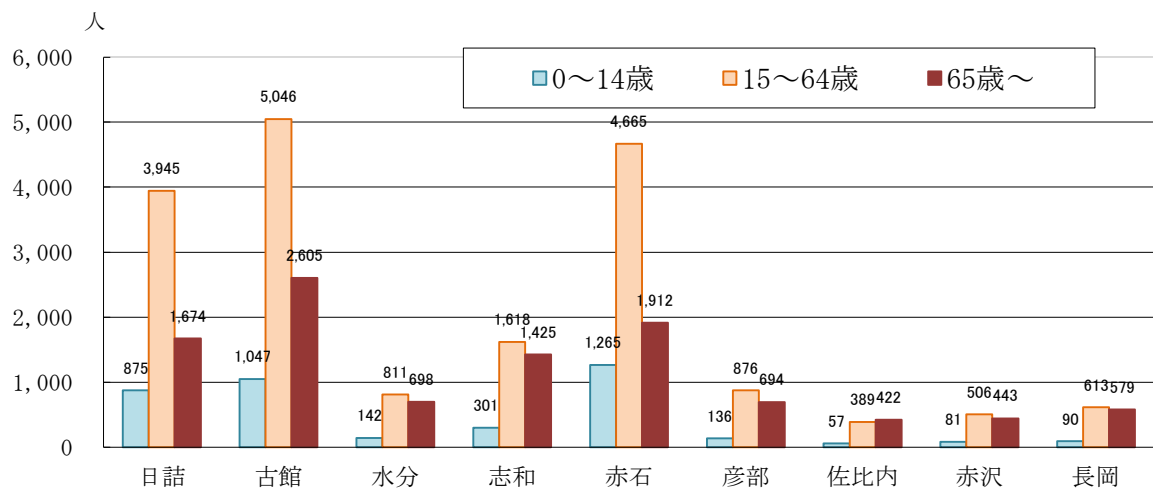
単位：人

	日詰	古館	水分	志和	赤石	彦部	佐比内	赤沢	長岡	計			
										男	女	区分計	
0～ 4	211	274	33	64	473	34	15	21	23	1,148	594	554	3,994
5～ 9	309	367	43	109	444	43	17	27	36	1,395	714	681	
10～14	355	406	66	128	348	59	25	33	31	1,451	746	705	
15～19	366	391	68	94	361	61	23	29	66	1,459	743	716	
20～24	312	299	52	109	283	54	26	43	32	1,210	631	579	
25～29	244	342	42	78	426	48	23	28	38	1,269	652	617	18,469
30～34	290	412	59	111	603	66	21	38	34	1,634	844	790	
35～39	346	509	53	146	526	65	27	46	53	1,771	905	866	
40～44	445	506	85	211	535	90	47	39	57	2,015	1025	990	
45～49	555	576	117	215	525	112	50	65	85	2,300	1159	1141	
50～54	512	600	108	202	494	103	50	59	88	2,216	1136	1080	
55～59	467	698	101	209	451	125	46	80	81	2,258	1077	1181	
60～64	408	713	126	243	461	152	76	79	79	2,337	1153	1184	
65～69	338	697	124	309	448	129	81	106	128	2,360	1145	1215	
70～74	423	707	174	338	491	188	115	115	139	2,690	1284	1406	
75～79	341	499	128	270	340	115	77	73	92	1,935	873	1062	10,452
80～84	286	353	107	199	262	123	67	69	82	1,548	598	950	
85～89	157	232	90	186	231	80	40	50	79	1,145	376	769	
90～94	100	86	60	86	106	39	34	24	50	585	163	422	
95～99	25	27	15	30	29	20	8	6	8	168	25	143	
100～	4	4		7	5				1	21	2	19	
計	6,494	8,698	1,651	3,344	7,842	1,706	868	1,030	1,282	32,915	15,845	17,070	
高齢化率	25.78%	29.95%	42.28%	42.61%	24.38%	40.68%	48.62%	43.01%	45.16%	31.75%	28.19%	35.07%	

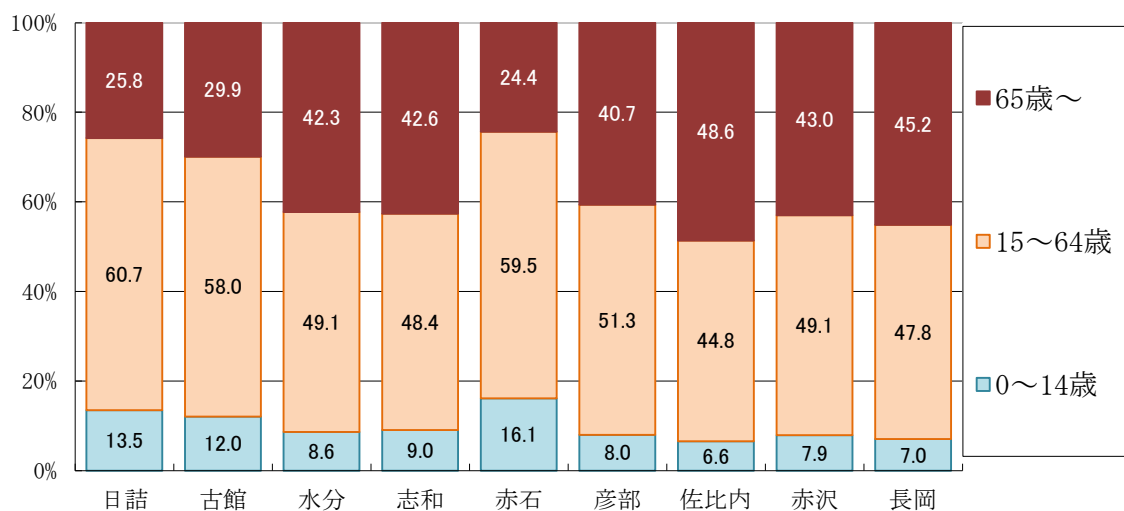
③ 地区別人口の推移（各年度3月末）



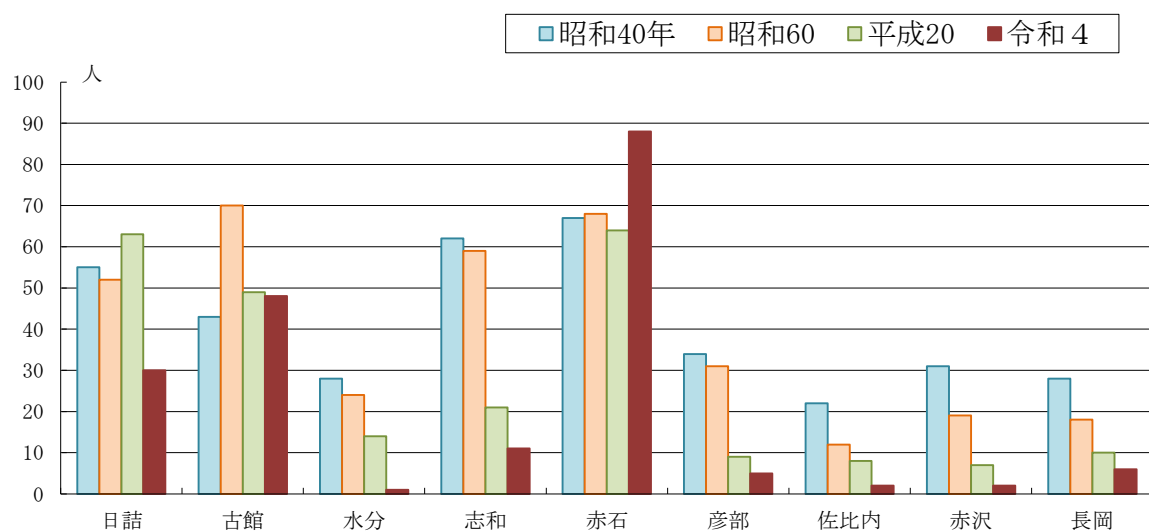
④ 地区別・年齢3区分別人口（令和4年度3月末）



⑤ 地区別・年齢3区分別人口の構成比（令和4年度3月末）



③ 年次別地区別出生数の推移

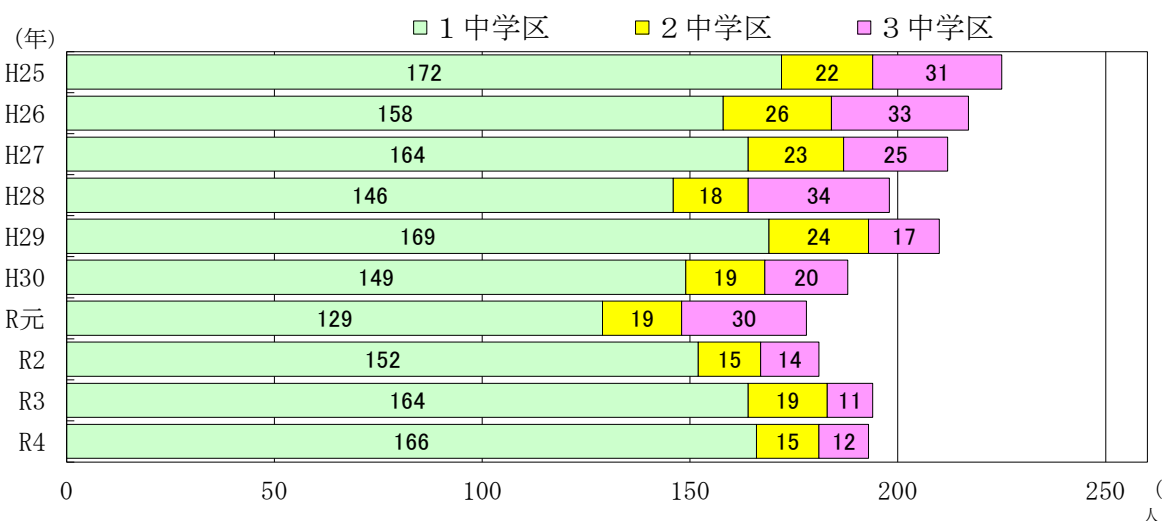


(紫波町出生死亡調査)

④ 年次別地区別出生数

単位：人/()乳児死亡数

年	日詰	古館	水分	志和	赤石	彦部	佐比内	赤沢	長岡	合計
H23	63(1)	53	15	17	53	10(1)	6	3	7	227(2)
H24	52	58	8	19	49	11	5(1)	9	7	218(1)
H25	51	58	12	19	63	5	4	4(1)	9	225(1)
H26	46	59	9	24	53	10	3	7	6	217
H27	40	67(1)	8	17(1)	57	5	6	3	9	212(2)
H28	33	53	6	28	60	7	5	3	3	198
H29	48	59	7	10	62	7	3	5	9	210
H30	42	54	8	12	53	4	5	6	4	188
R元	39	34	10	20	56	7	2	4	6	178
R 2	36	45	5	9	71	3	3	4	5	181
R 3	36(1)	46	3	8(1)	82(1)	8	4	2	5	194(3)
R 4	30	48	1	11	88	5	2	2	6	193



【資料】

1 人口動態

(3) 死亡

① 年次別・地区別死亡数

単位：人

年	日 詰	古 館	水 分	志 和	赤 石	彦 部	佐比内	赤 沢	長 岡	合計
H22	51	52	27	67	73	32	12	24	32	370
H23	51	58	25	62	85	27	19	22	24	373
H24	60	73	33	64	67	33	26	21	32	409
H25	47	62	29	76	66	27	14	22	28	371
H26	46	66	28	66	89	19	17	19	17	367
H27	55	58	32	51	87	21	19	24	20	367
H28	47	76	31	66	73	25	19	26	22	385
H29	55	86	27	66	58	26	15	22	19	374
H30	58	78	36	61	75	28	13	19	24	392
R元	56	67	38	42	86	30	9	17	26	371
R2	73	58	26	73	74	37	12	23	26	402
R3	56	87	31	71	78	24	15	24	22	408
R4	68	85	27	64	100	31	29	20	26	450

(紫波町住民基本台帳)

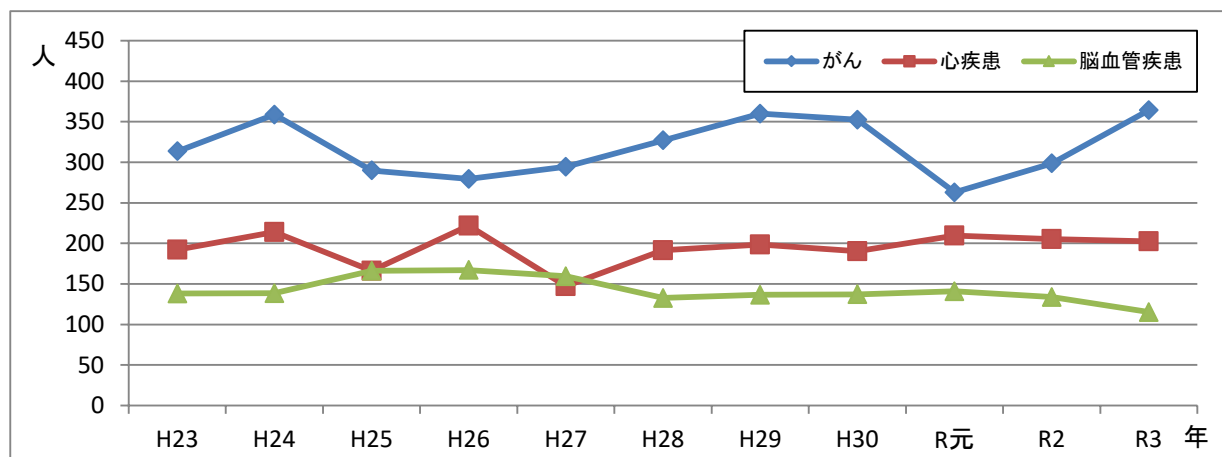
② 年次別・死因別死亡数

単位：人

年	総数	結核	がん（悪性新生物）										糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患					肺炎	慢性閉塞性肺疾患	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	交通事故	自殺	その他全死因
			全体	胃	気管・気管支・肺	肝及び肝内管	胆のう及び胆道	大腸	乳房	子宮	その他	全体				くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	その他										
H24	409	0	119	16	23	13	1	20	4	3	39	2	3	71	46	5	11	29	1	30	6	4	11	11	16	9	10	80	
H25	370	0	96	8	20	12	2	11	1	2	40	6	4	55	55	7	14	32	2	32	1	8	8	21	6	2	11	67	
H26	367	0	92	15	11	9	5	17	1	2	32	2	3	73	55	5	21	27	2	27	2	6	7	18	13	3	9	60	
H27	366	0	96	18	12	9	1	13	2	1	39	6	3	48	52	6	15	27	4	27	3	3	10	21	9	1	9	79	
H28	385	0	106	16	23	7	10	11	3	1	35	5	7	62	43	5	14	22	2	27	4	4	4	33	15	2	11	64	
H29	373	1	116	13	12	12	9	15	2	2	51	3	4	64	44	3	18	23	0	12	8	3	3	19	12	1	5	79	
H30	392	0	113	13	17	14	8	18	3	2	38	6	3	61	44	7	11	25	1	26	1	8	7	20	15	1	9	79	
R元	371	0	84	10	7	9	4	14	4	4	32	5	1	67	45	5	10	28	2	16	3	3	10	25	13	0	7	92	
R2	403	0	96	10	17	5	9	13	2	4	36	12	7	66	43	4	13	24	2	10	4	8	7	35	14	1	8	92	
R3	408	0	117	10	22	7	4	22	6	3	43	5	9	65	37	3	9	25	0	11	9	2	8	23	15	1	6	100	

(岩手県保健福祉年報)

③ 3大死因粗死亡率の変化（人口10万対）



(岩手県保健福祉年報)

2 関係組織の資料

(1) 紫波町保健推進員に関する要綱

(目的)

第1 この要綱は、町民一人ひとりの健康の保持及び推進を図るため、保健推進員の委嘱、活動等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(委嘱)

第2 推進員は、町内に住所を有する者で、次の各号に掲げるもののうちから町長が委嘱する。

- (1) 行政区長（紫波行政区長に関する要綱（令和2年紫波町告示第135号）に定める行政区長をいう。）から推薦のあった者
 - (2) 地区婦人会長又は副会長の職にある者
 - (3) 紫波町連合婦人会長の職にある者
- 2 前項の推薦は、紫波町保健推進員推薦書（別記様式）により行うものとする。
- 3 委嘱の期間は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 欠員のため新たに委嘱された保健推進員の委嘱の期間は、前任者の残任期間とする。
- 5 前項の規定にかかわらず、任期中において、当該行政区に住所を有しなくなったとき、又は第1項第2号若しくは第3号に掲げる職を離れたときは、その職を失う。
- 6 第1項及び第2項の規定は、令和2年4月1日において保健推進員を委嘱する者には、適用しない。

(活動)

第3 保健推進員は、次に掲げる活動を行うものとする。

- (1) 健康診査、がん検診等の受診の勧奨、啓蒙及び普及に関すること。
 - (2) 健康相談、健康教育等の連絡及び協力に関すること。
 - (3) 健康上の問題点の把握に関すること。
 - (4) その他健康及び保健に係る事業の普及啓発に関すること。
- 2 推進員が活動を行う区域は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める区域とする。
- (1) 第2第1項第1号の規定により委嘱された保健推進員 紫波町行政区設置規則別表に掲げる行政区
 - (2) 第2第1項第2号の規定により委嘱された保健推進員 紫波町行政区設置規則別表に掲げる地区
 - (3) 第2第1項第3号の規定により委嘱された保健推進員 町内全地域

(謝金等の支給)

第4 町長は、保健推進員に謝金を支給するものとし、その額は、次に掲げる額の合計額とする。

- (1) 基本額（年額） アからウまでに掲げる区分に応じ、当該各号に定める額
- ア 第2第1項第1号の規定により委嘱された保健推進員 10,500円
- イ 第2第1項第2号の規定により委嘱された保健推進員 13,000円
- ウ 第2第1項第3号の規定により委嘱された保健推進員 14,000円
- (2) 世帯割額（年額。ただし、第2第1項第1号の規定により委嘱された保健推進員に限る。）
会計年度の初日における世帯数に160円を乗じて得た額の合計額
- 2 前項の謝金は、3月に支給するものとし、会計年度の途中において保健推進員となり、又は保健推進員でなくなった場合の謝金の額は、月割によって計算する。この場合において、1月未満の端数は、1月として計算する。

(秘密の保持)

第5 保健推進員は、第3の活動を行う上で知り得た秘密を漏らしてはならない。委嘱の期間が終了した後も、同様とする。

(補則)

第6 この要綱に定めるもののほか、保健推進員に関し必要な事項は、町長が別に定める。

2 関係組織の資料

(2) 紫波町食生活改善推進員協議会会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 この会は、紫波町食生活改善推進員協議会という。

(目的)

第2条 この会は、会員相互の連絡を密にし、その活動の振興を図ることにより、食生活改善運動を推進し、町民の健康増進に寄与することを目的とする。

(事務局)

第3条 この会の事務局は、紫波町生活部健康福祉課内に置く。

(事業)

第4条 この会は、第2条の目的を達成するための次の事業を行うものとする。

- (1) 会員の研修に関すること。
- (2) 食生活に関する調査研究に関する事項
- (3) 食生活改善の実践活動に関すること。
- (4) 町及び保健所の行う食生活改善施策に対する協力に関すること。
- (5) その他この会の目的の達成に必要な事業

第2章 会員及び役員

(会員)

第5条 この会は、栄養教室を修了した食生活改善推進員をもって組織する。

(役員)

第6条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
 - (2) 副会長 2名
 - (3) 理 事 9名 (各地区から1名)
 - (4) 監 事 2名
- 2 理事は各地区で選出された者をもってあてる。
- 3 監事は総会において選出する。
- 4 会長及び副会長は、理事会において互選する。

(役員の職務)

第7条 会長は、この会を代表し、会務を統轄する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長の職務を代理する。
- 3 理事は、理事会を組織し、この会則に定める事項を審議する。
- 4 監事は、この会の経理を監査する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠の役員の任期は、その前任者の残任期間とする。
- 3 役員は、その任期が満了しても、後任の役員が就任するまでは、なおその職務を行うものとする。

第3章 会 議

(会議及び種類及び招集)

第9条 この会の会議は、総会及び理事会とする。

- 2 総会及び理事会は、会長が招集する。
- 3 理事の3分の1以上の者から請求があったときは、会長は理事会を招集しなければならない。

(総会)

第10条 総会は毎年1回開催する。

- 2 総会の議長は、出席者の中からその都度選出する。
- 3 総会の議事は、出席した会員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会の議決事項)

第11条 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 会則の制定又は改廃に関する事項
- (2) 事業計画、予算及び決算に関する事項
- (3) 理事及び監事の選任に関する事項
- (4) 会費の額の決定に関する事項
- (5) その他理事会が必要と認めた事項

(理事会)

第12条 理事会は、会長、副会長及び理事をもって構成し、必要に応じて開催するものとし、会長が議長となる。

- 2 理事会は、理事の半数以上が出席しなければ開催することができない。
- 3 理事会の議事は、出席した理事の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(理事会の議決事項)

第13条 理事会は、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会を開催するいとまのない緊急な事項
- (3) その他会長が必要と認めた事項

第4章 会 計

(経費)

第14条 この会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってあてる。

(会計年度)

第15条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

附則

- 1 この会則は、昭和54年12月4日から施行する。
- 2 この会の設立当初の役員の任期は第8条第1項の規定にかかわらず、昭和57年3月31日までとする。
- 3 この会則は、昭和59年6月13日から施行する。(第6条2,3を加える。)
- 4 この会則は、昭和61年6月16日から施行する。(第1条変更、第5条改正)
- 5 この会則は、平成29年4月24日から施行する。(第3条改正)
- 6 この会則は、平成30年4月23日から施行する。(第3条改正)

3 保健活動のあゆみ

(人口：住民基本台帳 毎年度3月末の数値)

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
昭和 S30	6	30,199	1町8村合併 重点事業：結核予防事業・母子健康事業 赤ちゃんコンクール（～S43）／家族計画指導実施 山王海・峠地区のへき地医療対策 母子衛生指導のため10人の助産婦を嘱託（S31. 1. 1）	保険課
S31	6		在宅助産婦15人全員を嘱託（～H元） 定例妊婦相談・乳児相談を各地区で開催 3日間コースの家庭看護講習会開催（～S36） 救急法講習会開催（～S37） 各地区で部落健康相談及び座談会実施	保険課
S32	6	30,110	保健補導員制度制定（S36. 6. 1） 任期1年で120人を委嘱 第1回保健補導員会議全体会議開催 離乳食講習会・栄養改善事業開始 寄生虫検査及び駆除実施（～S34）／衛生講演会各地区で開催 乳児死亡10カ年計画発足	保険課
S33	6		母親学級・幼児相談開始 くる病検診実施（～S49） キッチンカーによる栄養指導開始 県下乳児死亡実態調査実施（地域医療） 小児マヒ1名発生	保険課
S34	6	30,244	小児マヒ予防の啓蒙活動／30年以降の医療統計作成 町民年金として80歳以上に2,000円支給開始 日詰保育所開設／水分小学校の給食開始 アンマ講習会各地区で実施	保険課
S35	6	29,331	保健補導員の任期2年とする 嘱託助産婦の名称を母子衛生指導員と改める 県下寄生虫検査実施（地域医療）／小児マヒ予防ワクチンの投与 健康優良家庭の表彰	保険課
S36	6	29,327	子宮がん予防・精神衛生・歯科保健について衛生教育開始 3歳児健康診査開始 赤痢・日本脳炎、水分地区に発生 水分地区に衛生組合発足 全国民皆保険制度発足／国民年金拠出年金開始 小児マヒ1名発生 世帯番号制の採用 食生活改善で古館地区が表彰 結核予防優良市町村として岩手県結核予防会長表彰受賞	町民課
S37	8	28,778	ヘリコプターによる農薬空中散布に救護班として協力 長岡地区で血液型検査実施（直診） 保健婦の活動用にバイク2台購入 乳児健康診査開始	町民課
S38	8	28,669	子宮がん検診開始（岩手医大産婦人科に委託） 世帯主の医療費7割給付開始／全町に老人クラブ誕生 胃腸病検診を宮城県対ガン協会に委託（～S43） ＊国保乳児死亡半減で母子衛生優良町表彰	保険課

3 保健活動のあゆみ

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
昭和 S39	7	28,383	母子衛生事業優良町として岩手日報社表彰受賞 役場庁舎落成、保健婦本庁勤務 赤石地区で血液型検査実施／乳児医療費10割給付開始 町内各地区に衛生組合結成 岩手県立紫波病院開設	保険課
S40	7	27,449	全地区で血液検査実施（1,546人） 赤沢2区で脳卒中死亡実態調査と予防活動実施 母子保健法制定により乳児健康診査が町の事業となる 紫波町衛生組合連合会結成	保健課
S41	7	27,150	新婚学級開始／献血の啓蒙普及／移動県民室開催（赤沢） 移動保健所開催（～S43）／志和地区で高血圧健診開始 栄養教室を7回コースで各地区において開催 彦部地区に赤痢集団発生（小学校を隔離病舎にする） ＊結核予防優良町として全国結核予防会長表彰受賞	保健課
S42	7	27,005	家族計画特別指導事業が町の事業として開始（～S51、S41まで保健所事業） 母子栄養強化事業開始（～S54） 赤沢地区が保健福祉事業の指定を受ける（～S44） 赤石地区で血圧検診開始／予防接種業務は衛生係が担当 献血推進大会開催・献血互助会結成／国保医療費7割給付開始 ＊町婦連が献血推進功績で岩手県知事並びに日赤支部より感謝状受賞	保健課
S43	7	26,707	全地区で高血圧精密検診開始（保健所～S48） 彦部・佐比内地区に赤痢発生	保健課
S44	7	26,371	新婚家庭訪問指導開始／県下脳卒中発作状況調査実施 胃腸病検診を遠山病院に委託（～S61） 村谷永一郎町長逝去（12月）	保健課
S45	7	26,459	出稼ぎ者の健康調査に協力（～S46） 岩手国体自転車競技救護要員として協力／ホームヘルパー誕生 霊柩車が配車され事業開始	保健課
S46	7	26,211	山屋へき地診療（～S48） 県下糖尿病実態調査実施（水分・佐比内・赤石・赤沢） ＊献血推進の功績で厚生大臣より感謝状受賞	保健課
S47	8	26,107	保健栄養学級開催 老人・妊婦・身障者医療費10割給付開始（県単事業） 精神障害者家族会「紫幸会」結成 町内に初の救急車配車	保健課
S48	9	26,208	保健活動協力会結成／循環器系検診に補助金制度発足 県下糖尿病実態調査実施（古館・長岡・志和） 給食センター落成	保健課
S49	9	26,007	健康管理センター落成（S49.7）健康管理センター運営委員委嘱 循環器系検診を予防医学協会に委託 高額医療給付制度開始（S49.7～）／紫波町献血協議会の組織変更	健康管理 センター
S50	11	26,719	高血圧予防食講習会・貧血予防食講習会開始 胃腸病検診業務が保健係に移行 保健係に母子・成人・老人福祉の業務分担を導入	健康管理 センター

3 保健活動のあゆみ

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
昭和 S51	11	26,869	幼児・一般を対象に日詰地区で医学生（日大）による歯科健康診査を実施 その後保育施設を中心に全地区で実施 脳卒中予防10カ年計画発足（地域医療） 長岡の直診廃止	健康管理 センター
S52	10	26,919	糖尿病予防食講習会開始／操体法講習会開始 90歳以上の老人調査 20人中7人精検（全国地域医療研究会の課題） 糖尿病実態調査（S46以降の尿糖陽性者） 志和・赤石・東部農協と共催で多項目検診実施 B型肝炎ウイルス検査開始（予防医学協会） 母親教室開始／脳卒中発作・死亡調査（県下国保）	健康管理 センター
S53	10	27,013	全町の農協と共催で多項目検診開始 国民の健康づくり事業開始・国保保健婦が市町村保健婦になる 健康管理センター運営委員に健康づくり推進協議会の兼務辞令交付 リハビリテーション事業開始 乳児死亡ゼロ達成 精神障害者の会「さくら会」結成 若年者（～64歳）脳卒中予防対策を重点事業として事業強化 1歳6カ月児健康診査開始	健康管理 センター
S54	10	27,312	健康管理センターに栄養士配属 栄養教室の受講を保健補導員とし中央公民館で開始 栄養教室終了者の会結成（S54.12） ＊熊谷 ムメ姉（元町母子衛生指導員）叙勲 ＊ガン制圧対策の業績で対ガン協会長表彰受賞	健康管理 センター
S55	9	27,788	第1回健康まつり開催（～H12） 健康づくりモデル事業開始（～H7） 日赤（田中ツハヤ）の家庭介護講習会始まる	健康管理 センター
S56	9	28,062	婦人の健康づくり事業開始 第1回県民健康講座開催／保健センター落成（3月） 糖尿病教室（S56.4～）糖尿病教室の会「はちまる会」結成（11月） 紫波町断酒友の会結成（6月）	健康管理 センター
S57	9	28,199	第1回町民健康講座開催／循環器系検診データ電算化導入 老人保健法制定（2月）／乳房検診開始（対ガン協会） ＊紫波町衛生組合連合会が公衆衛生事業功労で厚生大臣表彰受賞	保健 センター
S58	9	28,392	脳卒中後遺症者等の会「さつき会」結成（5月） 健康まつりで歯科相談とフッ素塗布開始 保健所の所外相談として1歳～1歳6カ月児の歯科健康診査とフッ素塗布開始 在宅寝たきり者等訪問診査開始 ＊保健活動の功績により（財）岩手県予防医学協会会長表彰受賞	保健 センター
S59	10	28,520	肝臓等超音波検診開始（対ガン協会）ハイリスク者に実施（～S61）	保健 センター
S60	10	28,892	大腸ガン検診開始（対ガン協会）3ブロックに分け3年毎に実施 1歳6カ月児健康診査でフッ素塗布開始 データバンクシステム導入（NEC5200） ＊精神衛生事業功労で紫幸会が岩手県精神衛生協会を会長表彰受賞	保健 センター
S61	9	29,130	老人家庭看護教室開催／幼児訓練教室実施 患者輸送車すこやか号運行開始（H15年4月からコミュニティバスに移行） ＊保健事業推進の功労により厚生大臣表彰受賞 ＊精神衛生事業功労により紫幸会が日本精神衛生連盟会長表彰受賞	保健 センター

3 保健活動のあゆみ

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
昭和 S62	9	29,214	肝臓等超音波検診（対ガン協会）3ブロックに分け3年毎に実施 保健補導員制度制定30周年記念・永年勤続保健補導員表彰状授与 個別胃腸病検診開始（～H10）/胃がん検診を対ガン協会に委託変更 大腸検診を県立紫波病院に委託変更	保健課
S63	9	29,572	特別養護老人ホーム「にいやま荘」開所（H元. 2） 家庭看護講習基礎コースを保健補導員対象に開始 紫波町国民健康保険佐比内診療所廃止	保健課
平成H元	9	29,772	重点事業に歯科保健対策を加える 2歳児歯科相談開始 健康まつりで「虫歯のない元気な子」を表彰（4歳児） デイサービスセンター開所（H元. 4） 在宅介護支援の関係者で個別検討会開始（H2. 3～） 県立紫波病院が桜町に新築移転 ＊岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会長表彰受賞	保健衛生課
H2	9	29,856	肺がん検診を開始（予防協会）3ブロックに分け3年毎に実施 早朝複数検診を「総合検診」として町内1/3ブロック毎に開始 個別子宮がん検診開始（横川産婦人科）（～H16） 精神障害者家族会「紫幸会」が精神障害者の小規模作業所「さくら製作所」の職親として運営にあたる（H2. 11～）	保健衛生課
H3	9	30,153	1歳児歯科健康診査開始／乳房検診の委託先を盛岡赤十字病院に変更 リハビリ車送迎車を購入、病院リハビリ事業開始（県立紫波病院委託） 「にいやま荘」に介護支援センター開所（11月） ＊保健補導員協議会が保健活動支援の功績より厚生大臣表彰受賞 ＊「紫幸会」が永年家族会活動を推進した功績により岩手県家族会連合会長表彰受賞	保健衛生課
H4	9	30,317	2歳6カ月歯科健康診査並びにフッ素塗布開始 人間ドックの助成対象を40歳と50歳の節目年齢とする 高齢者のニーズ調査と高齢者の実態調査実施	保健衛生課
H5	9	30,480	健康問題対策会議を発足／MMR（新三種混合ワクチン）予防接種中止 地域保健推進特別事業実施（HCV抗体検査と肝臓病教室） 「紫幸会」設立20周年並びに小規模作業所開設3周年記念式典挙行 健康まつりと福祉大会を合同開催、「健康福祉まつり」として継続	保健衛生課
H6	9	31,143	地域保健推進事業実施（HCV抗体検査と肝臓病教室） ＊関文姉（元町母子衛生指導員）黄綬褒章授章	保健衛生課
H7	10	31,539	保健婦1名衛生係に配属（保健婦2名採用）	保健衛生課
H8	10	31,852	第1回ふれあいコンサート（障害者交流）開催（～H13、H14以降は福祉課所管事業に移行） 骨粗しょう症検診を開始（～H10） 紫波町母子保健計画策定 保健補導員を保健推進員と改称 ＊保健推進員協議会が県国民健康保険団体連合会理事長表彰受賞	保健衛生課
H9	10	32,259	地域保健法施行／母子保健事業が市町村に移譲される 佐比内公害訴訟／老人保健施設「白鷺」開設 結核検診を（財）岩手県予防協会に委託 成人歯科検診を岩手医大の協力で実施（赤石・志和地区） 8020データ構築事業（対象者80歳：残存歯数平均5.6本） 精神保健福祉ボランティア養成講座実施 精神保健福祉ボランティアグループ「ゆいっこの会」結成 ＊食生活改善推進員協議会が県知事表彰と日本公衆衛生協会会長表彰受賞	保健衛生課

3 保健活動のあゆみ

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
平成 H10	11	32,646	第1回介護支援専門員（ケアマネジャー）試験実施される 福祉国保課高齢対策係に保健婦配置 健康福祉まつりが隔年開催となる（H13で終了） 家庭介護講習会を県長寿社会事業団にて実施（～H17） ＊鈴木 タカエ姉（元町母子衛生指導員）叙勲 ＊食生活改善推進員協議会が厚生大臣表彰受賞	保健衛生課
H11	12	33,172	機構改革：長寿健康課（保健係・長寿社会係・介護保険係） 矢巾町との保健婦の人事交流開始（～H13）/訪問リハビリ事業廃止 大腸がん検診を全町実施/乳房検診委託先を日赤から対ガン協会に変更 子宮がん検診の委託を岩手医大から対ガン協会に変更 紫波町健康づくり栄養改善指導指針策定 乳幼児相談を保健センターでの一括開催とする 老人保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第1次） 地域参加型（B型）機能訓練事業開始（～H17）	長寿健康課
H12	12	33,638	介護保険制度施行/総合住民健康情報支援システム導入 特別養護老人ホーム「百寿の郷」開所/在宅介護支援センターが平次会 「さくら製作所」10周年記念事業 胎教コンサート開催（野村故堂あらえびす記念館） 食生活改善推進員を対象に介護食講習会実施 全地区が総合検診となり32日間で実施/個別健康教育開始 長寿社会づくりソフト事業で若返りセミナー開催 2歳児歯科相談を2歳児歯科健康診査に改称	長寿健康課
H13	12	34,048	機構改革で長寿健康課に健康推進主幹配属（～H17） 元気はつらつ紫波計画策定/第二次紫波町母子保健計画策定 ウォーク大会開催開始/水中運動開始（昼・夜） 21世紀に伝える健康づくり体験発表大会開催、発表集録発刊 元気はつらつ新聞発行/乳幼児保護者歯科健康診査開始（～H17） 高齢者インフルエンザ予防接種開始 大腸がん検診の委託を県立紫波病院から岩手県予防医学協会に変更	長寿健康課
H14	12 (1)	34,297	機構改革により精神保健業務が福祉課へ移行し保健師1人配置 老人保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第2次） 元気はつらつパイロット事業（日詰地区・志和地区） 肝炎（B型・C型）ウイルス検査/前立腺検査を開始 絵本と出会う親子ふれあいモデル事業 育児セミナー開始/3～4か月健診のみ集団で実施（グループ相談開始） 6～7か月健診は個別健診へ C型肝炎対策事業開始/A型機能訓練事業を介護予防事業へ全面移行 8020データ構築追跡事業（対象者85歳）	長寿健康課
H15	12 (1)	34,357	機構改革により室制となる（健康推進室・介護保険室・長寿社会室） 元気はつらつメンバーズ養成事業開始 成人歯科健康診査を開始（委託先は紫波町歯科医師団） 3歳児健康診査医2人従事体制となる	長寿健康課
H16	12 (1)	34,490	健康推進室に事務職1名配置 肝炎治療費助成事業開始/妊産婦歯科健康診査開始 高血圧ストップ作戦事業を開始（～H18） 元気はつらつメンバーズ養成事業を4コースで開催 元気はつらつアンケート実施/認知症予防教室開始（～H17） ＊瀬川 智子姉（保健推進員協議会長）日本公衆衛生協会会長表彰 ＊畠山 ヤイコ姉（食生活改善推進員）公衆衛生事業功労者岩手県知事表彰	長寿健康課

3 保健活動のあゆみ

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
平成 H17	12 (1)	34,564	児童福祉相談援助業務に支援 育児セミナー事業「双子サークル」結成 子育て支援「ハッピー子育てファイル」を作成 元気はつらつ高齢者計画策定（第3次） 結核検診対象年齢65歳以上に変更 ツベルクリン反応検査廃止しBCG直接接種となる 婦人検診見直し （隔年検診／マンモグラフィ検査全員実施/対象年齢、子宮頸がん：20才以上 乳がん：40歳以上） 地域参加型機能訓練事業廃止/脳卒中後遺症者の会「さつき会」解散 日本脳炎予防接種第3期廃止、積極的勧奨の見合わせ ＊内村 マサ姉（元町母子衛生指導員）厚生労働大臣表彰	長寿健康課
H18	12 (1)	34,469	機構改革により長寿社会室が高齢者支援室となる 地域包括支援センター（保健センター内）開所 介護予防拠点施設新築／受変電設備設置／太陽光発電開始（H18.10～） 地域支援事業の介護予防事業開始（口腔機能向上・筋トレ・栄養改善） 元気はつらつアンケート実施 エジンバラ産後うつ病質問票を活用したスクリーニング事業開始 ＊阿部 愛子姉（元町保健師）秋の叙勲（旭日単光章） さくら製作所、赤石 平沢地内に移転し、就労継続支援事業所となる 県立紫波病院診療所化（→県立中央病院附属紫波地域診療センター）	長寿健康課
H19	13 (1)	34,456	国保ヘルスアップ事業（志和・赤石地区）／ダイエットセミナー実施 元気はつらつ紫波計画中間見直し 第三次紫波町母子保健計画策定 特定健康診査等実施計画策定 8020データ構築追跡事業（対象者90歳） 超音波検診の委託を予防医学協会から紫波地域診療センターに変更 筋力アップシニア講座開始／元気はつらつ館施設開放開始	長寿健康課
H20	15 (1)	34,306	特定健康診査・特定保健指導、後期高齢者健康診査スタート 妊婦委託健康診査公費負担回数2回（ハイリスクは3回）から5回に拡大 麻しん予防接種対象を中学1年・高校3年相当年齢まで拡大（～H24） 元気はつらつアンケート実施 元気はつらつ高齢者計画策定（第4次） ＊瀬川 智子姉（保健推進員協議会会長）厚生労働大臣表彰 県立中央病院附属紫波地域診療センターの無床化計画案公表される （住民組織が病床継続を要望する運動を展開）	長寿健康課
H21	15 (1)	34,158	妊婦委託健康診査公費負担回数を14回＋子宮頸がん検診1回に拡大 新型インフルエンザ流行、低所得者を対象にワクチン接種費用を全額公費負担 新型インフルエンザ対策行動マニュアル／新型インフルエンザ事業継続計画策定 「女性に特有のがん検診推進事業」スタート（H21～25年度） （節目年齢女性に子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券とがん手帳を配布） 食生活改善推進員協議会結成30周年、記念誌発行 日本脳炎の新ワクチン使用が開始となるが、流通量が少ないことを 理由に積極的勧奨見合わせ継続 ＊伊藤 美佐子課長 恩賜財団母子愛育会会長表彰 県立中央病院附属紫波地域診療センター病床休止（H21.4～）	長寿健康課

3 保健活動のあゆみ

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
平成 H22	14 (1)	34,092	元気はつらつアンケート実施／不妊治療費補助金事業開始 婦人検診で希望者のみHPV検査実施（岩手県対がん協会モデル事業） 人間ドック補助金事業開始（～H25） 日本脳炎、積極的接種勧奨開始（3歳児）、未接種者の救済措置開始 地域医療体制推進のため、地域医療対策専門嘱託員配置（7月～H25.3） 高齢者肺炎球菌ワクチン（23価）接種補助金事業 新型インフルエンザワクチン接種補助金事業／小児等インフルエンザワクチン補助金事業 子宮頸がんワクチン等接種事業（H23.3～子宮頸がん予防ワクチンのみ先行実施） 猛暑による熱中症対策強化 3.11東日本大震災発生（保健師等被災地支援派遣、町内避難所健康相談対応）	長寿健康課
H23	15 (1)	34,067	第二次元気はつらつ計画策定 第四次母子保健計画策定 第五次元気はつらつ高齢者計画策定 子宮頸がんワクチン等接種事業本格スタート （子宮頸がん予防、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン接種にかかる費用を全額公費負担） 小児等インフルエンザワクチン接種事業（補助金→委託事業に変更） がん検診推進事業（女性特有のがん検診推進事業に大腸がん無料クーポン事業を追加） 被災地支援活動（保健師等派遣10回、栄養士派遣1回） 「紫波町における地域医療の現状と展望」作成（H24.3） ＊阿部 郁代姉（食生活改善推進員）公衆衛生事業功労者岩手県知事表彰	長寿健康課
H24	15 (1)	33,983	元気はつらつアンケート実施／元気はつらつ計画概要版配布 特定健康診査の検査項目に血清クレアチニン検査を追加 骨粗しょう症検診開始（婦人検診 岩手県予防医学協会委託） ポリオ予防接種生ワクチンから不活化ワクチンに移行（H24.9～） 四種混合ワクチン接種開始（H24.11～） 被災地支援活動（保健師派遣4回） 第二次特定健康診査等実施計画策定 新型インフルエンザ等対策本部条例制定（3月）	長寿健康課
H25	15 (1)	33,830	3～4カ月児健診廃止し乳児期の健康診査をすべて個別健診に移行 乳児一般健康診査受診票を3枚から5枚に増やして交付 BabyCome☆4～5月広場を開始（相談事業） ハッピー子育てファイル→BirthBookに変更（予防接種予診票綴と一体化） 子宮頸がん予防、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチンが定期接種に移行 （子宮頸がん予防ワクチンは、副反応問題のため6月から積極的接種勧奨見合わせ） 風しんが大流行、7月から成人風しんワクチン接種補助金事業開始（単年度事業） 日本脳炎第二期接種について、高校3年生（相当年齢者）を対象に積極的接種勧奨開始 乳がん検診実施方法見直し（視触診の廃止） 未熟児養育医療給付事業開始（権限移譲による） 8.9大雨災害発生、被災者の健康調査を実施 被災地支援活動（保健師派遣2回）	長寿健康課

3 保健活動のあゆみ

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
H26	15 (1)	33,696	新型インフルエンザ等対策行動計画作成 元気はつらつアンケート実施 高齢者肺炎球菌ワクチン、水痘ワクチン定期接種化（H26.10～） 「働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業」実施 第六次元気はつらつ高齢者計画策定 高齢者肺炎球菌ワクチン（23価）接種補助金事業終了 被災地支援活動（保健師派遣1回）	長寿健康課
平成 H27	15 (1)	33,538	元気はつらつ館開放事業4月27日終了 5月7日新庁舎へ引っ越し 「働く世代の女性支援のためのがん検診未受診者対策緊急支援事業」実施 肝炎治療費助成、不妊治療費助成の内容見直し 婦人検診の案内を対象者へハガキによる個別通知開始 第五次母子保健計画策定	長寿健康課
H28	15 (1)	33,314	元気はつらつアンケート実施 岩泉大雨災害被災地支援活動（保健師派遣3回） 第71回国民体育大会(岩手) 自転車競技（保健師救護） 第二次元気はつらつ紫波計画中間評価実施 B型肝炎ワクチン定期接種に移行（H28.10～） 高齢者インフルエンザ予防接種（定期）・小児インフルエンザ予防接種（任意）委託料を1回2,000円から2,200円へ引き上げ	長寿健康課
H29	16 (1)	33,170	保健センター条例廃止（29.4.1） 保健師1名採用（健康推進室に配属） おたふくかぜワクチン任意予防接種事業助成開始（初回1回に4,000円補助） 紫波中央小児科開業（29.4月） たがね小児科閉院（29.5月） ＊梅沢 葉子姉（赤沢地区保健推進委員長）岩手県保健推進員表彰 シェーンハイムと旧保健センターの賃貸借契約締結（H29.6月～H32.5月） し、デイサービス開始 C型肝炎治療費助成制度終了/肝炎個別相談会事業終了	長寿健康課
H30	15 (5)	32,958	機構改革：健康福祉課（健康推進室・福祉推進室） 新生児聴覚検査助成事業開始（2,000円補助） 助産師による授乳相談会の開始 1歳児歯科健診中止、9-10か月児歯科相談実施 元気はつらつアンケート実施 胃がん検診単独実施（11月に各地区公民館で実施） 岩手県広域的予防接種事業開始 （A類定期予防接種希望者に広域接種パスポート交付） 医療従事者等免許申請事務事業開始（権限委譲による） 作山和子姉（食生活改善推進員）公衆衛生功労賞岩手県知事表彰 婦人検診の追加検診を実施 肝炎教室終了（H14～開催）	健康福祉課
令和 R元	14 (4)	33,090	5月から新元号令和となる。 介護保険室から健康推進室に保健師1名異動 成人男性風しん抗体検査及び第5期予防接種開始（3か年の時限的措置） 乳幼児健診票見直し（1-2か月健診、1.6歳児、2歳、2.6歳児、3歳児） 胃がん検診 はつらつホール会場の実施へ（料金値上げ） 作山和子姉（食生活改善推進員）栄養関係功労賞厚生労働大臣表彰 骨粗鬆健診の自己負担額500円から1,000円へ R2.1月から新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、日本でも患者増となる。年度末の母子事業は、規模縮小して実施となる 第六次母子保健計画策定	健康福祉課

3 保健活動のあゆみ

年度	保健師数	人口	実施された主な事業	課等名
令和 R2	14 (4)	33,049	新型インフルエンザ等行動マニュアル一部改正 R2. 4. 16新型コロナウイルス感染拡大により全国に緊急事態宣言発令を受け、保健推進員総会、保健推進員協議会総会、食生活改善推進員協議会総会は書面開催とした。 春の住民検診は、延期とし11月に後期高齢者健康診査、12月に特定健康診査を実施 婦人検診の検診委託機関を対がん協会から予防医学協会へ変更（1月実施へ） 集団で実施していた各幼児歯科健診はコロナウイルス感染予防対策として9月から個別歯科健康診査（1.6歳・2.6歳・3.6歳）と変更 母子事業は、規模を縮小し実施 10月からロタウイルスワクチンが定期予防接種となる R3. 2月新型コロナワクチン接種推進担当に事務職2名人事異動	健康福祉課
R3	15 (4)	33,024	機構改革が実施され、室制から係制となる 全国民への新型コロナワクチン接種の実施に向けた準備として、健康福祉課内に「新型コロナウイルスワクチン接種推進係」設置となり保健師1名異動となる。 新型コロナウイルス感染予防対策として、保健推進員総会、保健推進員協議会総会、食生活改善推進員協議会総会は書面開催とした。 6月9日からサンビレッジ・紫波を会場に高齢者から集団接種開始 R3. 9月1日保健師新採用（健康係へ） 会議、研修会等はWEBを中心とした参加形態にシフト 産婦健康診査の助成（2回まで）を開始した。 住民検診は東部・水分地区以外、会場を役場はつらつホールとし入場制限を行い感染対策を講じ実施した。 大腸がん検診の前年度受診者には、検診案内封筒に容器を同封し配布した。 特定保健指導は、予防医学協会に委託して実施した。 11月28日保健推進員協議会研修とし、ヴァイオリニスト鎌田亜美さん、チェリスト島根朋史氏をお招きし、「心の健康」をテーマに講話と弦楽コンサートを開催した。 令和3年度末で紫波町保健推進員協議会を解散。	健康福祉課
R4	14	32,915	機構改革が実施され、健康係が、健康係、母子保健係、成人保健係に分かれ各係長が配置された。 地区担当を3つのブロック 1（日詰・志和・長岡） 2（古館・水分・彦部） 3（赤石・佐比内・赤沢）を健康と成人保健係、母子保健係から1名ずつ2人で担当する体制に変更。 HPVワクチン予防接種の積極的勧奨再開 R4. 6月1日紫波整形外科開業し、町内に整形外科が2か所となった。 R4. 10月31日足澤整形外科閉院となる。	健康福祉課

※保健師数：常勤保健師（ ）は健康福祉課以外の課に配置されている保健師数を再掲
※人口は平成23年度から外国人を含む数

昭和30年からの保健活動の変遷が10分でわかるページです。例えば・・・

○昭和32年度に乳児死亡10か年計画スタート

○昭和53年に初めて乳児死亡ゼロを達成

○昭和55年度に第1回健康まつり

○昭和33年度から「くる病検診」スタート

○昭和44年度から「新婚家庭訪問」が開始

○保健センターの落成は昭和57年3月



4 成人検診事業の変遷

年度	総合検診	健康診査			結核	腹部超音波検診	肝炎ウイルス	歯科 (歯周疾患)	骨粗鬆症	人間ドック
		基本健康診査	特定健康診査	後期高齢者健康診査						
S38					結核予防会					
S39			S43-48 高血圧精密検診 S49-51 循環器検診 S52-55 循環器検診+老人検診(65歳以上) S56-61 婦人の健康づくり検診を追加 S62～ 65歳以上を老人検診と区別せずに一体で実施 ※S53～町農協と共催で検診項目拡大(多項目検診) S61～初回受診者のみ多項目検診 H20～特定健康診査の開始により、健康診査の対象は生保受給となる。35歳から39歳の健康診査は継続。 H24～特定健康診査検査項目に血清クレアチニン検査を追加。 H30～特定健康診査検査項目に貧血検査・心電図検査・眼底検査を追加。							
S40										
S41										
S42										
S43		盛岡保健所								
S44										
S45										
S46										
S47										
S48										
S49		岩手県予防医学協会								
S50										
S51										
S52										
S53										
S54										
S55										
S56										
S57										
S58										
S59										
S60										
S61										
S62										
S63										
H元										
H2	3ブロック制で実施									
H3										
H4										
H5										
H6										厚生連 (実施機関は岩手県予防医学協)
H7										
H8										
H9										
H10										
H11										
H12	全町を対象に実施									
H13										
H14										
H15										
H16										
H17										
H18										
H19										
H20		※生保受給者と30歳代のみ	岩手県予防医学協会	岩手県予防医学協会						
H21										
H22										補助金に変更
H23										
H24										
H25										
H26										
H27										
H28										
H29										
H30										
R元		R3から検診案内(世帯宛て)を郵送で配布								
R2										
R3										
R4										

年度	胃がん		子宮頸がん			乳がん		大腸がん	肺がん	前立腺がん
	(集団検診)	(個別検診)	(集団検診)	(個別検診)	20歳代個別検診	(集団検診)	(個別検診)			
S38	宮城県 対がん協会		岩手医大産 婦人科教室							
S39										
S40										
S41			※S56まで地 区公民館会 を巡回し、 S57～保健セ ンターで実 施							
S42										
S43										
S44	遠山病院									
S45										
S46										
S47										
S48										
S49										
S50										
S51										
S52										
S53										
S54										
S55										
S56										
S57						岩手県 対がん協会				
S58										
S59										
S60								岩手県 対がん協会		
S61										
S62	岩手県 対がん協会							県立紫波病院 ※S60～11ま で町内を3ブ ロックにお け順番に実 施		
S63		町内 6医療機関								
H元										
H2		※対象は胃 切者と経過 観察者		横川産婦人科					岩手県予防 医学協会	
H3			※H3～15ま で体部検診 実施			盛岡 赤十字病院				
H4									※H2～11ま で町内を3ブ ロックにお け順番に実 施	
H5										
H6										
H7										
H8										
H9										
H10										
H11			岩手県 対がん協会			岩手県 対がん協会				
H12										
H13								岩手県予防 医学協会		
H14										
H15										岩手県予防 医学協会
H16										
H17			※対象を20 歳以上に拡 大、隔年実 施		岩手県予防 医学協会	※対象40歳 以上に引上げ マモグラフィー 導入、 隔年実施（30 歳台はエコー検 査）				
H18										
H19										
H20										
H21										
H22		無料クーポン 事業（H21～25） H26・27は、無 料クーポン事 業未受診者へ	※HPV検査	横川産婦人科・ 盛岡市医師会						
H23										
H24										
H25										
H26										
H27										
H28		H30から胃が ん検診単独実								
H29										
H30										
R元										
R2			予防医学協会			予防医学協会				
R3										
R4										

6 保健事業にかかる根拠法令

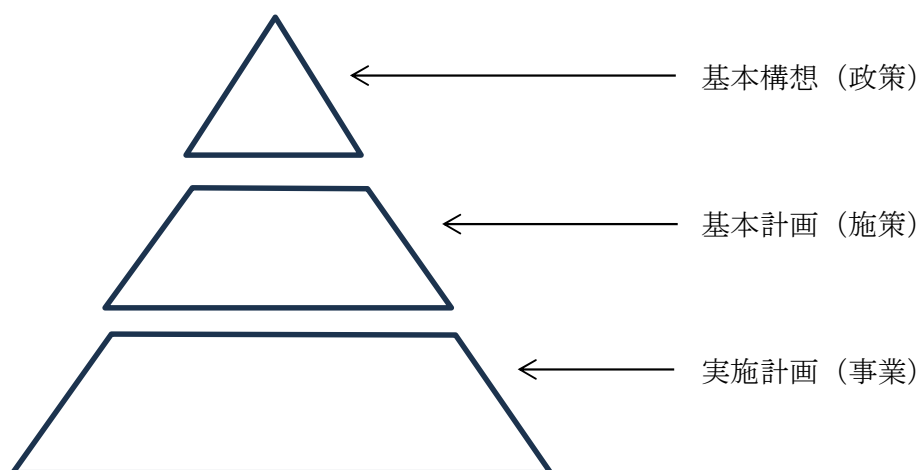
	事業名	根拠法令等	備 考
会議・組織等	元気はつらつ委員会	紫波町元気はつらつ委員会設置要綱	
	保健推進員	紫波町保健推進員に関する要綱	
	食生活改善推進員協議会	食生活改善推進員協議会会則	
母子保健事業	母子健康手帳交付	母子保健法第16条	妊娠の届出・母子健康手帳
	パパママ教室	母子保健法第10条	知識の普及・栄養の摂取に関する援助
	妊婦一般委託健康診査	母子保健法第13条	健康診査（第12条以外の健康診査）
	妊産婦相談	母子保健法第10条	保健指導
	妊産婦訪問指導	母子保健法第17条	妊産婦の訪問指導
	新生児訪問（乳児訪問）	母子保健法第11条	新生児の訪問指導
	BabyCome☆4～5ヵ月広場	母子保健法第10条	保健指導
	乳幼児相談	母子保健法第10条	保健指導
	乳児一般委託健康診査	母子保健法第13条	健康診査（第12条以外の健康診査）
	1歳6ヵ月児健康診査	母子保健法第12条	健康診査（満1歳6ヵ月を超え満2歳に達しない幼児）
	2歳児歯科健康診査	母子保健法第13条	健康診査（第12条以外の健康診査）
	2歳6ヵ月児歯科健康診査	母子保健法第13条	健康診査（第12条以外の健康診査）
	3歳児健康診査	母子保健法第12条	健康診査（満3歳を超え満4歳に達しない幼児）
	幼児教室	母子保健法第10条	保健指導
	特定不妊治療費補助金事業	特定不妊治療費助成事業要綱	特定不妊治療費の一部補助
成人保健事業	健康手帳交付	健康増進法第17条	健康手帳の交付
	健康教育	健康増進法第17条	集団健康教育、個別健康教育
	健康相談	健康増進法第17条	健康相談
	健康診査	健康増進法第17条	健康診査 肝炎ウイルス検査 歯科健康診査 骨粗しょう症検診
	訪問指導	健康増進法第17条	訪問指導
	がん検診	健康増進法第19条	胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん
	結核検診	感染症法第53条	定期の健康診断
	特定健康診査・保健指導	高齢者の医療の確保に関する法 第18条・24条	国保被保険者の特定健康診査及び保健指導
	後期高齢者健康診査	高齢者の医療の確保に関する法 第125条	後期高齢者の健康診査
予防接種事業	乳幼児等定期予防接種	予防接種法第5条	定期接種（A類疾病）
	高齢者インフルエンザ [※] 予防接種	予防接種法第5条	定期接種（B類疾病）
	高齢者肺炎球菌予防接種	予防接種法第5条	定期接種（B類疾病）
	おたふくかぜワクチン予防接種事業	おたふくかぜワクチン予防接種事業実施要領	任意接種
	小児インフルエンザ [※] ワクチン接種事業	小児インフルエンザ [※] 予防接種事業実施要領	任意接種
	成人男性風しん抗体検査及び第5期予防接種事業	予防接種法第5条	定期接種（A類疾病）
	健康づくり事業	健康増進法17条	
	栄養改善事業	健康増進法17条	（地域における行政栄養士の業務の基本指針）
	介護予防事業	介護保険法第115条	地域支援事業
	献血推進事業	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	献血受入計画

7 第三次紫波町総合計画の進捗状況

第三次紫波町総合計画は、目指すべき町の将来像やその実現に向けた取組みの方向性を示す町の最上位計画と位置付けられています。

総合計画は、次の3層で構成されています。

- 1 基本構想（政策）
まちづくりの基本的な理念として、町の将来像やあるべき姿等を示すものです。
総合計画では、「章」として区分されています。
- 2 基本計画（施策）
基本構想の実現に向けた施策や取組みの方向性を示すものです。
総合計画では、「節」「項」として区分されています。
- 3 実施計画（事業）
基本計画を実行するための具体的な取組みを示すもの
総合計画では、「主な事業」として区分されています。



「健康」については、総合計画では次のように基本構想が位置づけられ、各計画で取組むことになっています。

第1章【健康・安心】

「誰もがその人らしく健やかに暮らせるまち」

町に住む誰もが、いつまでもその人らしく健やかに暮らしていくため、
お互いを認め合い、支え合いが生まれてくるまちをつくれます。

基本計画や実施計画、達成度を確認するためのまちづくり指標等は次のとおりです。

第1章【健康・安心】

誰もがその人らしく健やかに暮らせるまち

第1節 一人ひとりが健康な生活を送れるよう支援します【健康】

第1項 妊娠・出産・育児を切れ目なく支援します（1-1-1）

（1） 主な事業

子育て世代包括支援事業（母子保健事業）

（2） 関連する行動計画

第六次母子保健計画

まちづくり指標	基準値	実績値 (R4)	目標値 (R5)	目標値 (R9)
妊娠早期(妊娠11週以下)に妊娠届出を行う人の割合	95.9%(H30)	94.9%	96.0%	98.5%
産後に助産師や保健師等からの助言を十分受けられたと感じた人の割合	90.5%(H30)	96.9%	93.0%	95.0%
乳児等訪問の満足度	92.8%(H30)	96.9%	94.0%	94.5%

第2項 三大疾病の予防に取り組みます（1-1-2）

（1） 主な事業

成人保健事業

（2） 関連する行動計画

第2期紫波町国民健康保険データヘルス計画

まちづくり指標	基準値	実績値 (R4)	目標値 (R5)	目標値 (R9)
脳血管疾患死亡率	136.5人/ 10万人(H29)	115.2人/ 10万人(R3)	130.0人/ 10万人	120.5人/ 10万人
特定保健指導該当者率	14.2%(H30)	13.1%	13.7%	13.0%

第3項 三大疾病の予防に取り組みます（1-1-3）

（1） 主な事業

健康づくり事業

（2） 関連する行動計画

第三次元気はつらつ紫波計画

まちづくり指標	基準値	実績値 (R4)	目標値 (R5)	目標値 (R9)
日常生活において歩行又は同等の身体活動を1時間以上毎日行っている人の割合 …※	42.2%(H30)	—	60.0%	80.0%

第4項 感染症から自分の身を守る人を増やします（1-1-4）

（1） 主な事業

感染症予防事業

（2） 関連する行動計画

なし

まちづくり指標	基準値	実績値 (R4)	目標値 (R5)	目標値 (R9)
麻しん風しん第2期接種率	97.3% (H30)	98.0%	98.0%	98.5%
予防接種事故報告件数	2.0件 (H30)	4	0件	0件

第4節 健全な食生活の実現や食文化の継承を進めます 【食育】

第1項 食育を通じて健全な食生活を実践する人を増やします（1-4-1）

（1） 主な事業

食育推進事業

（2） 関連する行動計画

第三次元気はつらつ紫波計画、第二次紫波町食育・地産地消推進計画

まちづくり指標	基準値	実績値 (R4)	目標値 (R5)	目標値 (R9)
3食食べている3歳児の割合	91.0% (H30)	99.2%	100%	100%
朝食を摂る人の割合…※	89.0% (H30)	－	90.0%	90.0%
食育に関心がある人の割合…※	91.0% (H30)	－	100%	100%

※ 令和7年度実施予定のはつらつアンケートにより実績値を把握するため、今回は実績値なしとした。



令和5年度版 元気はつらつ白書

紫波町 生活部 健康福祉課
健康係・母子保健係・成人保健係
令和5年9月